



take
free

ジュンク堂×丸善
美術書カタログ
2013

「defrag(デフラグ)」刊行によせて

わたしたち書店員の仕事は、みなさまにたくさんの書籍をお届けすることにあります。

日々生み出され続けていく書籍たちを、お店の棚に集めて並べ、みなさまにご紹介させていただくこと。そのために一番良い方法はどんなやり方なのか、ああでもないこうでもないと悩みつつ、日々試行錯誤を続けています。

美術書というジャンルはそんな中でも特に、独特の個性を持った書籍たちが多い世界です。持ちきれないくらい大きなサイズの画集があったかと思えば、手のひらサイズの雑貨のようなイラスト集があったり。古文書みたいに分厚い美術史の本があったかと思えば、フリーペーパーみたいにポップな読み物があったり。様々なキャラクターを持った書籍たちがひしめき合う世界を、どんな風にご紹介させていただくかが、美術書担当者たちの腕の見せどころです。

このたび、ジュンク堂書店と丸善書店の美術書担当者たちで力をあわせ、みなさまにこの美術書の世界をご紹介するきっかけとなるような、書籍カタログを作成いたしました。

タイトルの「defrag」とは、断片化した情報を最適化・再配置する、という意味を持つコンピュータ用語です。この美術書の世界に産み落とされた書籍たちを、今一度わたしたちなりに編み上げる形でご紹介し、みなさまによりたくさんの書籍たちとの出会いをご提案できれば、という気持ちを込めています。7つのテーマごとに集められた美術書たちと、それらを紹介する書店員たちのことばを、是非お楽しみいただきたいと思います。

このカタログを、みなさまが書店の棚で美術書との出会いを楽しんでいただく際のお供にさせていただけたらと、願っています。

「defrag(デフラグ)」刊行によせて

2 特別寄稿
美術の本が(営業時間中に)語るひそひそ話 福永信

74 鼎談
美術書をめぐるわくわく、今、未来
谷合正城(美術書出版会会長) ×
板橋晶子(丸善丸の内本店) ×
下田裕之(ジュンク堂池袋本店)

[書籍カタログ]

5 1 想像力
15 2 身体
25 3 コミュニケーション
35 4 物語
45 5 技術
55 6 知識
65 7 未来

[書店員コラム]

4 松岡千恵(ジュンク堂池袋本店)
14 都築高文(MARUZEN&ジュンク堂梅田店)
24 若山育代(丸善名古屋栄店)
34 大内章世(ジュンク堂吉祥寺店)
44 柏木花恵(MARUZEN&ジュンク堂札幌店)
54 石田真理(丸善日本橋店)
64 金子純子(ジュンク堂福岡店)

全国書店お問い合わせ先一覧
協力出版社一覧・奥付

美術の本が(営業時間中に)語るひそひそ話

福永 信 Shin Fukunaga

あのう美術の本の立ち読みってしづらいですよ。重いでしょう画集とか。あれねじつはわざと重くしてるんですよ。重力を感じてほしいということで。ここは地球ごと、実感してほしいというわけですね。嘘ですけどね。いや、半分は本当なんですけど。というのは美術の本がたくさん並んでるこってね宇宙みたいなものなんだから。宇宙って言ってもねえ見た目は広く感じないかもしれないけど。コミックコーナーとかに比べれば異様に狭く感じるかもしれないけれどもね。すみっこのな場所ではあるけど、でもねここで本を手にとってみるとね右手でひらく本があったかと思えば逆側からめくる本もあるし、縦書きもあれば横書きもあって視線はあっちへこっちへくるくる飛びまわって無重力状態を実感することができるんだよね頭の中で、美術コーナーってね。

そのうスポーツの本だからって別に本が走り出したりボールを蹴ったりしないよね。料理の本を食べるなんてことも基本ないんじゃないかな。映画の本が暗闇で光り出すとかないですよ。音楽の本だって音が聞こえるわけじゃないね。でも美術の本はそれ自体に物質感があってアート作品って言えるんじゃないですか。そりゃね彫刻はかなり無理していると思うよ。映像を使ったインスタレーションだって不利と言いますか負けいくさですわね本とかたちは。難しいわけねもともと本にするのが美術ってジャンルをね。絵だって、やれ色がちがうだのなんだのってね。彫刻だの絵だのと言ってもけっきょく本にしたらそれは写真と文章じゃないかなんてね本物じゃないでしょうが複製ですがなというわけなんだけどもそこをあきらめないでなんとか工夫して美術の本と呼ばれるのに相応しくあろうとしてるのよね一所懸命。なんでがらばって美術が本になっているのかっていうとね君に出逢いたかったからさ。こんなことを面と向かって言うの恥ずかしいけどね。まあ今日

ふくなが・しん

小説家。1972年生まれ。東京都出身。1998年、「読み終えて」で第一回ストリートノベル大賞受賞。代表作に『アクロバット前夜』（リトルモア）、『星座から見た地球』（新潮社）『————』（河出書房新社）、『こんにちは美術』（岩崎書店）、『三姉妹とその友達』（講談社）など。

はそういう機会なんだし言葉で言わないと伝わらないことだってあるんだもの。

でもね美術の本って肩身が狭いのよホントは。だって読まなくていいなんて言われるんですよ。美術は感じればいいので本なんかで得られる知識や言葉は二次的なものというかむしろ妨げになるとかなんとかね。美術史や美術評論の諸君はショックで夜になると泣いてるよ。案外とうふメンタルなのよあいつら。たしかにぶきっちゃで人見知りの生硬な文章だったりするかもしれないけど、でもねほんとはハートのあったかい、ナイスガイなんだよ。言葉では表現できない世界を言葉で書こうとしてるんだからね。小さい図版にも心をこめて、まだ見つけていない美術の語り方、見つけようとして国境を越えて、あいつら、いつも考えているんだぜ。

でね。私ふしぎなんで逆に質問なんですけど美術の本の読者って言っているんでしょうかね。読者って言葉がどうも相応しくないような気がするんですけどねどうなんですかね。美術の本ってどこから読んでもいいわけだね。ぱらぱらながめているだけでも、ページの向こうから飛び出してくるからね。ガツンと人間の目の前にやってくるわけで美術の本ってのは、ほら、元気がいいから。受け身ではいられないんだよね。重たさ、紙の質感、大きさ、色をそして言葉をね、全部を感じながら、ときどき第六感まで使ったりしながらね、人間と一緒に歳をとって、何十年もかけて、めくったり閉じたりする、そんな息の長い美術の本の……なんて名づけたらいいんでしょうね。友達？ そう呼ばせてもらえるならすごうれいんですけどね読者なんてよそよそしい呼びかたじゃなくてね。まあ、レジに持っていくまではお客さんなわけだけだね。

墜落してくるもの

ジュンク堂 池袋本店

松岡千恵 Chie Matsuoka

幼少期、家に自分の本があまりなかった頃、妹とよくやった原始的な遊びがあった。

祖父の持っていた、砂漠や海の載っている大型風景写真集を寝転がって読み、目のすれすれまで近づける遊びだ。いつも妹か自分のどちらかが決まってインディ・ジョーンズのテーマを口ずさみ、その遊びは私たちの中で「冒険ごっこ」として名付けられていた。

親がよく心配しなかったもの、と思う。迫ってくるラクダや珊瑚礁の色彩はぼんやりしているが、分厚く上に掲げるのも難儀だった本の重み、祖父の蔵書の黴臭さ、時々妹に本をぶつけてしまい折れたページの硬さなどは、昨日の事のように思い出せる。大きい判型の画集や、薄いグラシン紙に包まれた繊細なつくりの写真集を職場の本棚に入れるとき、重いしすぐに破れそうで面倒だな、と思うことはあっても嫌いになれないのは、昔そんなものを死ぬほど覗き込んで人や自分の顔にぶつけた経験のおかげだ。祖父には感謝してもしきれない。

リアル書店が毎日減少していく昨今、過去に自分が触れた美術書の楽しさ、美しさ、ページに目を近づけることで見えてきた世界をこれからの子供たちはどんな形で味わってゆくのかな、と思う。

福永信さんの『こんにちは美術』（岩崎書店）が刊行されたとき、一気に昔の、写真集で遊んでいた自分と妹の姿が浮かんだ。正方形の本のページをめくって見えてくる多くの色や形、まるいオモチみたいなモリカズさんの水滴、まゆ毛



書店員のオススメ

こんにちは美術

福永信文・構成

岩崎書店●定価 9,450円●2012年2月刊

●ISBN 978-4-265-10597-7

全三巻。写真、彫刻、絵画、様々な現代美術の作品を小説家である著者がわかりやすく解説。右ページをめくると、鑑賞の手助けになるポイントなどが見られる仕組み。街の中に設置された造形作品や、作品の展示してある美術館そのものに対する興味も湧くつくりになっている。解説のことばが作品の上を時に水玉のようにすべり、時にとどまり、時に探検へ誘うかのような計算された構成が美しい。大人になった子供にも必読の1冊。

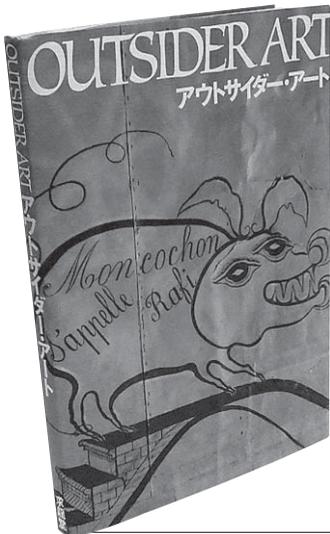
を剃って旅する鳥袋さんの目線、一直線に続いた会田誠さんの女の子の髪の毛の分け目。買って帰ってすぐ、あの頃のやり方で読んだ。激しく憤慨した。なんなんだこの目の前に迫りくる情報量は。小さかったあの時にこの本と出会っていたら。

本の持つ質感や重量が人に与える影響の凄さは計り知れない。それを日々感じられる書店員という職業に就いたことで、少しでも書店を訪れた人に新しい本の世界を知ってもらおう助けができればと思う。

1 想像力

imagination

神様のことだったり、地球や宇宙のことだったり、生きて、そして死ぬことだったり。「世界」のあらゆることがらを、人間たちはずっと昔から、「想像力」という力を使って、いろいろな形で思い描いてきました。美術が生まれるいちばん根底の部分にあるのも、もちろんこの「想像力」です。この章では、古今東西さまざまな時間・場所で生み出された、ユニークな「想像力」を感じさせる美術について書かれた書籍たちを、ご紹介しましょう。



想像力

imagination

アウトサイダー・アート

ジュヌヴィエーヴ・ルーラン監修

求龍堂●定価3,045円●2000年10月刊●ISBN978-4-7630-0036-1
 専門的な美術教育を受けていない人々が、自身の内側から湧き上がる衝動のまま表現した芸術。30作家の代表作133点を収録。
 ◎「自由」を目にした瞬間に直接心に突き刺さる衝撃。彼らの魂の叫びを読み取ることができるか。(M&J梅田・松下)

天才たちが描く至高の“狂気”

無欲越え 熊谷守一評伝

大川公一著

求龍堂●定価2,520円●2009年11月刊
 ●ISBN978-4-7630-0938-8

究極の「あるかま」に自分を生き抜いた熊谷守一。美術の枠を超え、「無欲」を越えた領域に生きた画家の謎に迫る異色の評伝。

◎「入れ歯は野蛮人のするもの」「俺は何度でも生きるよ」「守一が咀嚼し、描いたのはまざれもなく命であった。(J池袋・松岡)



ここまで格好良い歯のない男の姿

ひとりたのしむ 熊谷守一画文集

熊谷守一著

求龍堂●定価3,150円●1998年9月刊
 ●ISBN978-4-7630-9804-7

「仙人」と呼ばれ、古今の文化人が憧れた並みの尺度では測れない“自由な精神”に生きた熊谷守一。その人間像を代表作・言葉・ポートレートで描く。

◎画仙・熊谷守一の晩年を追った画文集。氏の好んだ「獨楽」の文字に人間・熊谷守一の生き方を見ることが出来る。巻末のもの語り年譜は必読。(J大分・宮田)



仙人の生き筋を読む

ヘンリー・ダーガー 非現実の王国で

ヘンリー・ダーガー著

作品社●定価6,825円●2000年5月刊
 ●ISBN978-4-87893-342-4

死後発見された15,000枚強の小説と、物語絵。7人の少女戦士と残酷な大人との闘い。代表作39点と小説抄、解説付。

◎現代アーティストに通じる非現実の世界。ダーガーの魅力を存分に堪能できる横長の装丁は、何時間も凝視することができる。(J福岡・米田)



アウトサイダーとはなにか?



サルバドール・ダリが愛した二人の女

アマンダ・リア著 北川重男訳
 西村書店●定価1,890円

●2001年6月刊
 ●ISBN978-4-89013-589-9

ダリのミュージズであり、デヴィット・ボウイの恋人だったダンシングクイーンが語る、60～70年代のセレブリティたちとの奇妙な関係。

◎妻ではないけれど、深い友情でお互いを見つめあった二人。物語感覚で読み進められる。(M&J札幌・柏木)

誰よりも自己に近い存在の2人

甲斐庄楠音画集 ロマンチック・エロチスト

甲斐庄楠音著

求龍堂●定価5,460円●2009年3月刊

●ISBN978-4-7630-0911-1



男色、女装、陶酔、妄想が作りあげた美の世界。陶酔王・甲斐庄楠音の全貌を伝える決定版画集。嗜好満載スクラップブックを初公開。
☞筆先から遡る「女」という官能の世界。美へのこだわりが感じられる芸術です。(J池袋・富塚)

女の美を追求し続けた画家

洲之内徹が盗んでも 自分のものにしたかった絵

洲之内徹著

求龍堂●定価3,150円●2008年5月刊

●ISBN978-4-7630-0732-2

著者が盗んでも自分のものにしたかったほど惚れ込み、生涯を掛けて集めたコレクション146点に、魂の言葉を名随筆より抜粋して構成。

☞絵に対する眼差しのひとつひとつが、短編の物語のように心地よく胸に響きます。読めば自分も絵に出会いたくなる一冊です。(J天満橋・木下)



審美眼、ひとそれぞれのおもしろさ

ITAMI JUN

伊丹潤著

クレオ●定価5,000円●2011年1月刊

●ISBN978-4-87736-130-3



2011年突然急逝した孤高の建築家伊丹潤。氏の全仕事を1冊に凝縮。永久保存版。第23回村野藤吾賞受賞作家。

☞「伊丹潤」建築家であり芸術家でもあった。在日韓国人二世として二つの祖国を持つ彼の作品をデビュー作から振り返る。(J福岡・金子)

奇才 伊丹潤

花人 中川幸夫の写真・ガラス・書 —いのちのかたち

中川幸夫著

求龍堂●定価4,725円

●2007年2月刊

●ISBN978-4-7630-0714-8

著者が自ら撮影したいけばな写真、花器という概念をこえたガラス作品、奔放に筆を揮った書。孤高の表現者の世界を横断する。

☞花が圧倒的な生命力を表現し、ガラスは空気との境界をつくりと表し、書は直接作家のパワーをその筆跡に残している。(J京都・関)



生命力と情熱。とにかく熱い

石元泰博—写真という思考

森山明子著

武蔵野美術大学出版局●定価4,410円

●2010年5月刊●ISBN978-4-901631-95-2

モダンアートの精神で作品＝写真を律しながら、「デザイン的過ぎる」としてそのモダンを超えようとした石元泰博の初の評伝。

☞単なる伝記にとどまらず、親交のあった写真家や芸術家たちの声も含めて、巨匠の撮影思考を丹念にひもといている。巻末年譜にも含まれる、多くの未公開写真も必見。(J三宮駅前・濱崎)



バ
ウ
ハ
ウ
ス
か
ら
桂
離
宮
へ

ジョン・ケージ 混沌ではなくアナキー

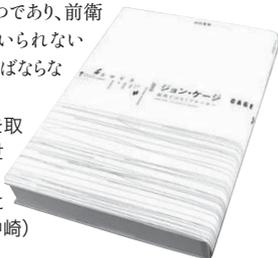
白石美雪著

武蔵野美術大学出版局●定価3,360円●2009年10月刊

●ISBN978-4-901631-89-1

アメリカの文化現象の一つであり、前衛芸術家として語らずにはいられないケージ。なぜ音楽でなければならなかったのかを探る。

ケージの個別の作品を取り上げ、演奏された音世界からその思考プロセスまで音楽活動を多角的に表現した力作。(J秋田・中崎)



ミュシャ作品集 —パリから祖国モラヴィアへ

千足伸行著

東京美術●定価2,940円

●2012年3月刊

●ISBN978-4-8087-0946-4

パリ時代の装飾性豊かな作品から、晩年の20年をかけた

描いた歴史大作「スラブ叙事詩」全20点までを迫力の大画面で掲載!

生いたち・パリ時代、そして『スラブ叙事詩』など祖国モラヴィアでの活躍までを網羅。色の強い大きめの図版で細部までじっくり鑑賞出来ます。(J鹿児島・徳田)



作品から読み解く人間、ジョン・ケージ

レオナルド・ダ・ヴィンチ 天才の素描と手稿

H・アンナ・スー編 森田義之監訳 小林もり子訳

西村書店●定価3,990円●2012年8月刊

●ISBN978-4-89013-679-7

飽くなき好奇心をもって、あらゆる分野の事物に目を向けたレオナルド。様々な観察や実験の記録、アイデアをかきとめた直筆ノート。

哲学、医学、芸術。彼がいかにか多分野に興味を持ち追究していったか。多彩な彼の真髓がのけます。(M&J札幌・柏木)



匂いたつようなミュシャの魅力満載

シャガール 天使とほくのあしあと

ダヴィッド・マクニール著

宮下規久朗監訳 惣田くみ子訳

西村書店●定価2,415円

●2009年9月刊

●ISBN978-4-89013-636-0

僕の父はシャガール。母は父の元から去り、そして「彼女」が現れた…。息子が語る素顔のシャガール。貴重なプライベート写真を多数収録。

息子しか見ることの出来ないシャガールの姿。偉大すぎて遠い画家のプライベートな一面を知ることの出来るエッセイ。(J天満橋・照井)



様々な視点のピースが巧妙に合わさった本

息子の目線でシャガールを見る

もっと知りたいパウル・クレー 生涯と作品

新藤真知著

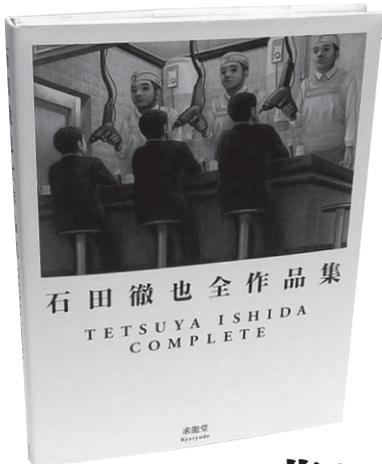
東京美術●定価1,890円●2011年5月刊●ISBN978-4-8087-0928-0

色彩と線の画家クレーの膨大な創作活動をコンパクトに紹介。モチーフの分析など、多様で謎めいたクレー作品を理解するヒントも満載!

こんなにたくさんの色と表現が、本当に一人の人間から生まれたの?と疑ったことのある方は、ぜひ。(J天満橋・照井)



頭の中をのぞいてみたい!



石田徹也全作品集

石田徹也著

求龍堂●定価8,925円●2010年5月刊 ●ISBN978-4-7630-1006-3
海外でも高い評価を集め、展覧会には全国から多くのファンが駆けつける作家となった石田徹也。ファンの熱烈な要望に応えた全作品集。
◎心にグサリと突き刺さるとても悲しい作品集。「痛み」に鈍くなったとき、「心」が乾いてしまったとき眺めていたい一冊だ。
(M八尾・大西)

悲しみの画家が紡いだもの

もっと知りたい歌川国芳 生涯と作品

恵俊彦著

東京美術●定価1,680円●2008年3月刊
●ISBN978-4-8087-0840-5

奇想天外な大判3枚組やユーモアにあふれた戯画などで昨今俄然注目を集める幕末の江戸っ子浮世絵師の作品の全貌と愛すべき素顔。

◎みずみずしい感性。絵のいきの良さ。戯画も必見。こんなアイデアがと驚かされる。西洋画をとりいれたり面白。(J京都・関)



アイデア炸裂。大人気国芳

芸術家の家 作品の生まれる場所

ジェラルール=ジョルジュ・ルメール著
ジャン=クロード・アミエル写真 矢野陽子訳
西村書店●定価3,780円●2012年1月刊
●ISBN978-4-89013-669-8

ミュシャ、マグリット、モロー、デ・キリコなど個性豊かな14人の画家と彫刻家の住まいを、美しい写真とともに紹介する。
◎芸術家にとって無意識下の表現ともいえる家。作品とは違い、不如意で自然発生的な美がそこにはある。(J吉祥寺・大内)



人が家をつくるのか、家が人をつくるのか

ロダン事典

フランス国立ロダン美術館監修
淡交社●定価10,500円●2005年3月刊
●ISBN978-4-473-03244-7

ロダン美術館の全面協力の下、その代表作と生涯を網羅するロダンの本格書。

◎古典的なものから現代的なものまで、変幻自在。でも全て厳然たるロダン風。まるで世界彫刻史のような一生。(J池袋・鈴木)



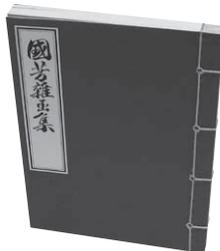
有名なのに知らない・作品の数々

国芳雑画集

歌川国芳著
芸艸堂●定価1,680円●2011年3月刊
●ISBN978-4-7538-0248-7

荒唐無稽な武者絵や世相を風刺した滑稽な戯画・狂画で一世を風靡した国芳の傑作版本を和綴じ豆本で復刻。

◎江戸浮世絵師の中でもひとときわイロのある国芳の稀有な一面。頻出する後姿は、簡素な筆致ながら情緒豊か。(M&J梅田・賣野)



背中で語る国芳

ゴッホの手紙 絵と魂の日記

H・アンナ・スー編 千足伸行監訳 富田章・藤島美菜訳
西村書店●定価3,990円●2012年7月刊
●ISBN978-4-89013-678-0

ゴッホが遺した手紙や素描を、関連作品とともに紹介。手紙を通じて、「狂気の画家」ではなく思慮深く知的なゴッホ像が浮き上がる。



膨大な手紙から見えるゴッホの内面を知ること、彼自身はもてる彼の絵の見方も変わる。画集としても秀逸。
(J三宮・小松)

超有名画家の知られざる内面

イメージの森のなかへ ゴッホの魂

利倉隆著
二玄社●定価1,995円●2008年2月刊
●ISBN978-4-544-21104-7

ゴッホの生涯の内、最後の二年間に焦点をしばり、弟テオとの心の繋がりに触れながら、激しくゆれ動く孤独な魂の軌跡をたどる。

画家フィンセント・ファン・ゴッホの最後の二年を作品とともに読み解く1冊。死に至るまでのゴッホの心情、相反する鮮やかな色彩・質感までも鮮明に見ることができる。
(J大分・宮田)



炎の画家、晩年の魂に触れる

デュシャン ミロ マツソン ラム

ミシェル・レリス著 岡谷公二編訳
人文書院●定価4,095円●2002年9月刊
●ISBN978-4-409-10016-5

四人のシュルレアリスム画家を対象に、「愛するものだけについて語る」という規則の下に綴った特異な美術論。

批評における個人と血脈がもたらした最大の分岐点。彼らが共に生きた時代はそのまま、レリスの筆跡となり蘇る。
(J池袋・松岡)



創造と批評が交差する言説のありよう

にいさん

いせひでこ作
偕成社●定価1,575円●2008年3月刊
●ISBN978-4-03-963890-8

ゴッホとテオ、ともに芸術に生涯を捧げ、つよい絆でむすばれた兄と弟。二人の足跡をたどる旅を続けてきた著者が描く感動の絵本。

青色や黄色の鮮烈さに息を飲む絵本。にいさんという日本語の響きも、ここまで美しいものであったとは。
(J池袋・松岡)



「私の大事な人」と見た風景の鮮やかさ

ファン・ゴッホの手紙を語る



ファン・ゴッホの手紙

二見史郎編訳
みすず書房●定価5,040円●2001年11月刊
●ISBN978-4-622-04426-0

読者を永遠に魅きつける、青年時から自殺までのゴッホの文章。原文によって伏せ字をおこし、画家の全貌を示す。

「親愛なテオ」で始まるゴッホの書簡集。書簡集でありながらゴッホという画家の人生の記録である。
(J福岡・金子)

ポール・セザンヌ
《サント・ヴィクトワール山》

ゴットフリート・ベーム著 岩城見一・実測洋次訳
 三元社●定価2,730円●2007年12月刊

●ISBN978-4-88303-216-7

素描と色彩、光と影、物と空間、色と形式——相反するものを同時に実現したセザンヌの視覚の革命に関する解釈学的実践の試み。

☞一枚の絵を徹底的に分析することで、従来のセザンヌ観、解釈を覆し真実を暴く、ちょっとしたアハ体験。(J三宮・小松)



セザンヌ観をひっくり返す批評

明るい部屋

ロラン・バルト著

みすず書房●定価2,940円●1997年6月刊

●ISBN978-4-622-04905-0

著者のイメージ論の総決算。亡き母を中心に据えつつ、現象学的方法によって写真の本質を探究したバルト独自の写真論＝物語。

☞子供の持つ全能感が通用しづらくなった日本において、今後も一筋の光であり続ける本。(J池袋・松岡)



母の明滅が起こす息子への轟音

クレーの日記 新版

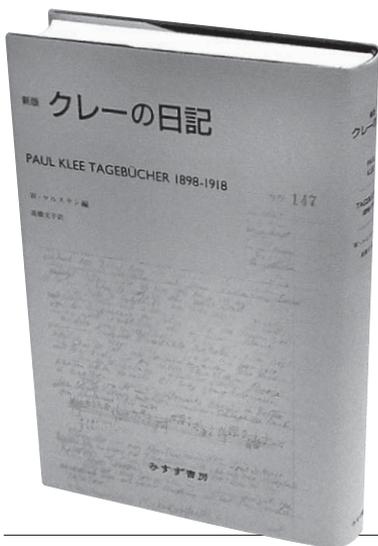
パウル・クレー著 W. ケルステン編
 高橋文字訳

みすず書房●定価8,925円●2009年3月刊

●ISBN978-4-622-07434-2

切ったり、貼ったり、押したり…、まるで作品をつくるかのように丹念に書き継がれた、いわばクレーの自叙伝ともいえる日記。

☞日記と銘打っているが、回想録や詩文も多分に含む。美しい文体は彼の画風を思い起こさせる。訳文も絶妙。(J三宮・小松)



絵画に通じる、美しく流麗な文章

美術史の7つの顔

小林康夫編

未來社●定価2,730円●2005年6月刊

●ISBN978-4-624-71088-0



絵画は顔をいかに描きうるのか。表象文化論的絵画批評。執筆＝小林康夫・平倉圭・日高優・香川檀・橋本悟・大原直久。

☞表象論の本の中でも挑発的な内容の1冊。絵画が取り逃してきた顔を追う、若手研究者達の批評の温度を体感せよ。(J池袋・松岡)

別物になれない人々が生んだ「顔」

バロックの魅力

小穴晶子編

東信堂●定価2,730円●2007年3月刊

●ISBN978-4-88713-741-7

古典的な均衡を突き崩し非合理的なものもつ真実を探究するその精神を、絵画、演劇、都市、音楽等多彩に味わい尽くす。

☞近代合理主義の対極にあるかのような、グロテスクで混沌としたエネルギー。読みやすい筆致で、バロック芸術の思想を探究する。(J池袋・下田)



とぐろをまく、バロックアートの魔力

お散歩写真概論

高橋美江著

芸術新聞社●定価1,890円●2012年10月刊

●ISBN978-4-87586-295-6

街歩きの人々が「ハレ」（祝祭の場）の舞台を上手に撮る技術ではなく、「ケ」（日常）を面白く撮る「視点」を伝授。街を見る目が深まる。

☞気になったらそれが被写体。想像することで映し出され、残る世界もある。（J池袋・松岡）



土地の記憶は、これからも残ってゆく

紫禁城の西洋人画家

ジュゼッペ・カスティリオーネによる

東西美術の融合と展開

王凱著

大学教育出版●定価2,415円

●2009年10月刊

●ISBN978-4-88730-936-4

清朝宮廷画家ジュゼッペ・カスティリオーネ（郎世寧）の生涯と早期の西洋画、中国での東西折衷絵画の代表作の内容を中心に詳述。

☞東西美術の結節点のような存在としてあった、カスティリオーネの人生。異文化の中に生きた彼の生涯と作品が、精緻に考察される。（J池袋・下田）



異世界の中で、信仰と芸術を

苦悩に満ちた宮廷画家

郎世寧による異文化の受容と変貌

王凱著

大学教育出版●定価2,415円

●2010年4月刊

●ISBN978-4-88730-984-5

清朝宮廷画家カスティリオーネの絵画を比較文化的・比較芸術学的な視点から絵画の寓意を解明し、さらに作品の現存状態を考察。

☞西洋と東洋の異なる文化を融合し新しい美を創造したイタリア人ジュゼッペ・カスティリオーネの研究書。（J池袋・富塚）



苦悩によって生み出された芸術の世界

反逆する美学

塚原史著

論創社●定価3,150円●2008年7月刊

●ISBN978-4-8460-0730-0

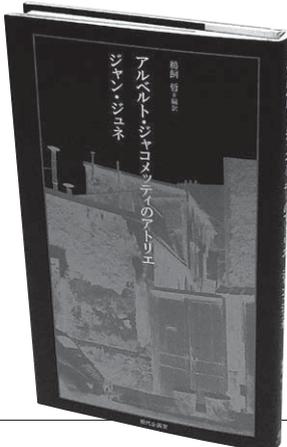
反逆するための美学思想、アヴァンギャルド芸術を徹底検証。現代のアヴァンギャルド芸術である岡本太郎、寺山修司などを網羅。

☞多くのアヴァンギャルド論を上梓する著者の論考の中でも必読。消費社会と記号化が美学にもたらした弊害の恐ろしさ。（J池袋・松岡）



反逆の思想は今、可能性となりうるか

「独りだ」と話す芸術のうつくしさ



アルベルト・ジャコメッティのアトリエ

ジャン・ジュネ著 鶴飼哲編訳

現代企画室●定価2,625円●1999年10月刊●ISBN978-4-7738-9912-2

ピカソをして「もっとも美しい芸術論」と言わしめた表題の文章をはじめ、ジュネの実生活と文学創造の転期に書かれた芸術論。

☞珠玉の言葉が溢れる1冊。「悲しみ」が「芸術」に結び付けてきたものの重要性が複数回にわたって説かれる。（J池袋・松岡）

梅家 総出演！ 日常という奇跡



いっちゃんさま

梅佳代著

リトルモア●定価1,890円●2008年8月刊

●ISBN978-4-89815-239-3

木村伊兵衛写真賞作家が最初にカメラを向けた存在、偉大なるいっちゃんさま。梅家の10年を写す永遠のジャパニーズファミリーポートレート。

☞ユーモアたっぷりの家族とウメカヨの愛に溢れた視線に、当たり前風景が奇跡の一瞬の連続であることを気付かされる一冊。(J渋谷・瀧口)

グローバル化時代の絵画

大岩オスカル作品集

大岩オスカル著

現代企画室●定価3,150円●2008年4月刊

●ISBN978-4-7738-0801-8

サンパウロ→東京→ニューヨーク。かるやかに世界を疾走し記憶のなかの混沌と緻密な描写が交錯する特異なアーティストの画集。

☞いつか見た夢にも似た情景は、現実と同様、絶望と希望が駆けあう。神話では世界は大抵混沌から始まる。(J吉祥寺・大内)



混沌は、終焉でもあり始まりでもある

フェルメールとスピノザ (永遠)の公式

ジャン＝クレ・マルタン著 杉村昌昭訳

以文社●定価1,890円●2011年12月刊

●ISBN978-4-7531-0296-9

フェルメールが描いた『天文学者』のモデルはスピノザだった！画家と哲学者の邂逅、そして(永遠)の創造。秘められた関係とは？

☞フランスの哲学者が読み解くフェルメールとスピノザ。「永遠」という観念の基、画家と哲学者が結びつく。(J福岡・金子)



2人がみた「レンズ」は何だったのか？

草間彌生、たたかう

高城昭夫・友永文博・明石康正・太田睦子編

草間彌生スタジオ監修

東京カレンダー●定価2,415円●2011年10月刊

●ISBN978-4-905448-03-7

自らが抱える精神の疾患、困難を創作活動に打ち込むことで克服。魂を揺さぶる人生の軌跡を、本人の発言と当時の写真で綴る。

☞可愛らしさと生命力。美しさで力強さ。草間作品がいかんして生まれたか、その戦い抜いた日々がこの中にある。

(J日本橋・関根)



常に先を走る、唯一無二の存在

古道具ニコニコ堂の なんとなくコレクション

長嶋康郎著

新紀元社●定価1,785円●2006年7月刊

●ISBN978-4-7753-0428-0

店主・長嶋氏の人物とその商品セレクトにファンも多い「古道具ニコニコ堂」のコレクションを味わい、深いエッセイと共に紹介する。

☞せみのぬげがら、麦わらのストロー……。古道具ってなんだろう。消費されつくされなかった物の命は誰が決めるのだろう。

(J京都・関)



なつかしいものはすきですか？

なぜこの本の隣にこの本があるのか

MARUZEN& ジュンク堂 梅田店

都築高文 Takafumi Tzuzuki

棚に並んでいる本の序列は日々変化します。その棚から1冊でも売れば、以前の序列は崩れ、筋が通りません。このような考え方、姿勢を今まで数多くの先輩方から学び、自分なりに理解し、棚づくりを重ねてきました。この本を輝かせるには、どの本の隣がベストなのか。この棚を輝かせるには、どの本が必要なのか。私は、棚づくりが大好きで、苦手です。日々、振り回され、困り、またそれを楽しんでいます。

例えば、『たのしい写真』。通常なら、著者がホンマタカシさんというだけで、写真家の記述したエッセイの棚に分類します。ただ、この本の内容は、写真の歴史から国内外の写真家の紹介、撮影技術、著者の写真論と多様です。ある時、写真史・写真論の棚に入れるのも間違いではないなと思いました。しかし、この棚の中では割と気軽な内容ですので浮いてしまいます。そこで、一手。飯沢耕太郎著『写真美術館へようこそ』（講談社現代新書）をお隣さんしてみました。すると、『たのしい写真』の座りがよくなりました。「写真とは何か?」という事をとてもわかりやすく記した両タイトルは、堅めの本が多いこの棚の中で、お客様の手が伸びやすい存在に生まれ変わりました。どちらか1冊ではこの棚では浮いてしましますが、お隣さんに恵まれると、輝き、巣立ちも早くなります。書店員は、本を多くのお客様の手元に巣立たせたい一心で棚づくりをします。

意味もなくそこにある本はありません。なぜこ



書店員のオススメ

たのしい写真 よい子のための写真教室

ホンマタカシ著

平凡社●定価 1,680 円●2009 年 5 月刊

●ISBN978-4-582-23117-5

日本を代表する写真家が、現代の写真をたのしく、やさしく教えてくれる1冊。今日の写真について、その潮流を多くの図版と共に自身の写真論も交えながら解説。写真の見方が分からなかった方、これから写真について知りたい方はまずこの本から。20年間撮り続けた女優の市川実日子のポートレートを一冊にまとめた『たのしい写真2』も併せて手にして頂きたい。

この本の隣にこの本があるのか。

常にそこにある理由、意味を求め、作り手、書き手の意を汲み、棚に収める事が私たちの仕事です。そして、お客様にその本の存在を伝える事も私たちの仕事です。どこの書店でもネットでも本は買えます。ただ、その本と出会う状況は異なります。お客様によい出会いをもたらす棚をもつ書店がよい書店だと考え、これからも棚と向かい合い、よい巣立ちを見届け続けたいと思います。

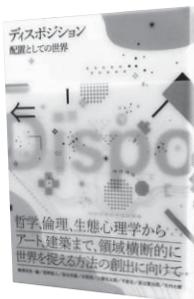
2 身体

body

「身体」は、わたしたち人間の必需品です。「身体」という「器」の中で、わたしたちはみんな生きています。美術は、長い歴史の中で、わたしたちが手放せないこの「身体」をとらえようとし、そしてまた「身体」によってとらえられてきました。人間の「身体」をどのように描き、どのように対象化するのか。わたしたちの「身体」は美術をどのように感じ、どのように生み出すのか。この章でご紹介する書籍たちから、そんなことに思いを巡らせてもらえたら幸いです。

ディスポジション 配置としての世界

柳澤田美編 萱野稔人・染谷昌義ほか著
現代企画室●定価2,415円●2008年6月刊



●ISBN978-4-7738-0806-3
哲学、倫理、生態心理学からアート、建築まで、主体の専横を脱し領域横断的に世界を捉える方法の創出へ—その討議と思考の記録。
◎緊張関係についての、平倉圭氏のマティス論は必読。アートのみでなく、建築や社会学の面からも鋭い批評が展開される。
(J池袋・松岡)

未来のダンスを開発する フィジカル・アート・セオリー入門 (ブレインズ叢書3)

木村覚著
メディア総合研究所●定価1,470円
●2009年10月刊
●ISBN978-4-944124-36-7

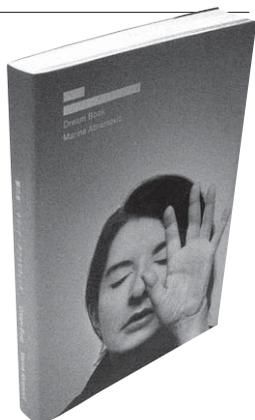
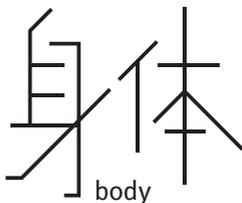
「イリュージョン／プロセス」「タスク」「ゲーム」「死体」「観客」——5つのキーワードで切り拓く身体表現の新たな地平

◎「夢から解けた世界」のアートとは。現実空間の中に置かれた「からだ」たちが表現し得るアートが、環境的・システムの分析も織り交ぜながら検討される。(J池袋・下田)



物自体が人間の為に具現化した世界とは

ただそこにある「からだ」が、アートする



夢の本

マリーナ・アブラモヴィッチ著

現代企画室●定価2,100円●2012年6月刊●ISBN978-4-7738-1214-5

「大地の芸術祭」から生まれた「夢の家」。そのプロジェクトの全記録。さらに各界著名人の「夢」をめぐるエッセイ等も収録。

◎書籍の終盤、雪に埋もれた「夢の家」を集落の住人が訪ねる様子がまさに夢のよう。夢を生む装置は、外側からも機能していたのだ。(J池袋・松岡)

寝ても覚めても襲う強迫観念の美

Ex-formation はだか

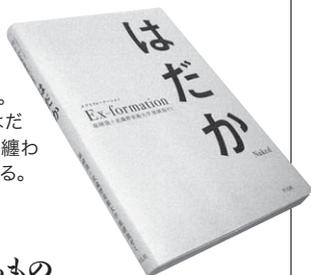
原研哉・武蔵野美術大学原研哉ゼミ著

平凡社●定価1,575円●2010年1月刊

●ISBN978-4-582-62048-1

世界の新鮮なリアリティに触れるために、いったん「情報」を未知化!アツと驚くアプローチで描き出す、鮮やかな知的探求の記録。

◎武蔵野美術大学・原研哉ゼミによるEx-formationプロジェクト。デザインの視点から、はだかをはだかにする。物を纏わぬモノは全てはだかである。
(J大分・宮田)



はだかとは未知なるもの

モホイ=ナジ 視覚の実験室

井口壽乃監修

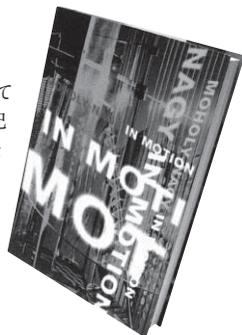
国書刊行会●定価5,250円

●2011年4月刊

●ISBN978-4-336-05402-9

ハンガリーからバウハウス、そしてアメリカへ、大陸を越えて20世紀モダニズムのモホイ=ナジの全貌を明らかにする初の書籍。

◎線と影の恐ろしさ、その物悲しさを初めて美術の棚で教えてくれたのはあなたでした。(J池袋・松岡)



視聴覚的な感覚はまだまだ分離しない!

涙と眼の文化史

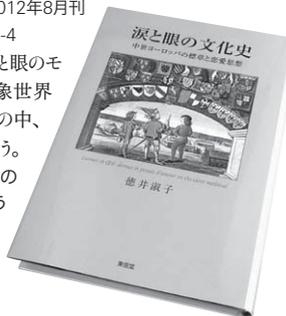
中世ヨーロッパの標章と恋愛思想

徳井淑子著

東信堂●定価3,780円●2012年8月刊

●ISBN978-4-7989-0137-4

中世ヨーロッパにおける涙と眼のモチーフをめぐる豊かな形象世界を通じ、人生の有為転変の中、人が「泣くこと」の意味を問う。人の心を最もよく表すのが眼。笑いは口からもうまれるが涙は眼からしかこぼれ落ちないことの意味を考える。(J池袋・鎌田)



涙は決してネガティブではない!

醜の歴史

ウンベルト・エーコ編著 川野美也子訳

東洋書林●定価8,400円●2009年10月刊

●ISBN978-4-88721-769-0

暗黒、怪奇、魔物、逸脱、異形といった、“恐ろしくぞっとする”ものを数百点に及ぶ写真・図版を駆使し徹底的に探求する。

◎「醜さ」の文化史。ダーティな表現や、キッチュでグロテスクな美術が人気を集める現代日本においてこそ、読まれるべき。(J池袋・下田)



溢れ出す醜悪さたち

美の歴史

ウンベルト・エーコ編著 植松靖夫監訳 川野美也子訳

東洋書林●定価8,400円●2005年11月刊

●ISBN978-4-88721-704-1

古代ギリシア・ローマ時代から現代まで、「美」なるものの変遷を700を超える写真・図版とともに考察する

◎ヨーロッパ世界の視線の中に浮かび上がった、様々な美の在り方。矢継ぎ早に繰り出される美的イメージたちに、目が眩みそうになる。(J池袋・下田)



「美しさ」の検証と考察

ヴィジュアル・アナロジー

つなく技術としての人間意識

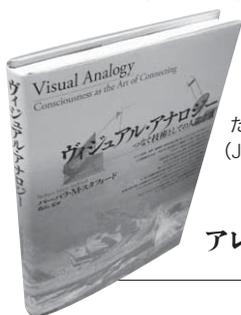
バーバラ・マリア・スタフォード著 高山宏訳

産業図書●定価3,360円●2006年7月刊

●ISBN978-4-7828-0153-6

マジック(魔術)と呼ばれエロス(愛)と呼ばれた類比と共感のバロック・ヴィジョンを脳科学の只中から蘇らせる奇跡的説得の書。

◎「差異」を巡る言説は、現代社会に溢れかえっている。では、「同質性」を語り得る言葉は、果たして。その問いに答え得る一冊。(J池袋・下田)



アレと、コレは、同じ……?

ヨーロッパ視覚文化史

ジャン・ピエロ・フルネッタ著 川本英明訳

東洋書林●定価5,040円●2010年7月刊

●ISBN978-4-88721-776-8

映画発明以前までの歴史の変遷を振り返り、現代までの道筋を整理。各々の光の芸術がもたらした精神性や世界観について詳述する。

◎ボランスキーやスコセッシなど、多くの映像作家の経験に基づく、映画館における人間の眼のありようは必読。(J池袋・松岡)



大きく眼を見開いたままで

高塚省吾画集 美しうるわし

高塚省吾著

芸術新聞社●定価3,675円●2009年2月刊

●ISBN978-4-87586-173-7



美人画・裸婦画で絶大な人気を誇った画家・高塚省吾。本書は、その初期から絶筆まで“裸婦の美”100点を厳選したベストセレクション。

◎なんとも爽やかな風が吹き抜けるような、美しさがここにはあります。(J池袋・富塚)

真っ白な自然体エロス

真剣だからこわい。おもしろい。

アートで見る医学の歴史

J・アンダーソン/E・シャクルトン/

E・バーンス著 矢野真千子訳

河出書房新社●5,985円●2012年10月刊

●ISBN978-4-309-25541-5

美術品から書籍、工芸品まで、膨大なコレクションから厳選された究極の医学図集。数千年の医学史を400点以上の図版でたどる。

◎医学の歴史がちよっとおしゃれにひもとけます。ひとつの作品にまつわる解説量がちょうどよく、読みものとしてもオススメです。(J天満橋・木下)



字チカラ

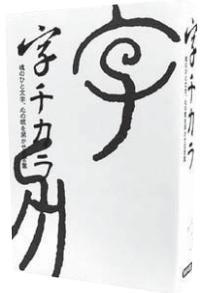
魂のひとと文字、心の眼を開かせる言葉

美術年鑑社●定価1,890円

●2012年5月刊

●ISBN978-4-89210-192-2

美術家・書家503名の創造者が贈る渾身のひとと文字。人のつながり、指標の言葉、そんな出会いを演出する座右の書の決定版◎漢字一字の表現力、語りかけてくる力。私達が使っている漢字は、こんなにも素晴らしい文化なのだ。(J池袋・小林)



漢字の美しさを再発見できる一冊

秘する肉体 大野一雄の世界

大野慶人監修 クレオ編集部編

クレオ●定価2,100円●2006年7月刊

●ISBN978-4-87736-113-6

舞踏家・大野一雄の肉体と魂を、細江英公や荒木経惟らの写真でまとめた決定版写真集。子息にして舞踏家である大野慶人氏が監修。

◎アフオーダンスの肉体値は写真家と被写体との間にこそ潜む。そしてそれを目の前にする私達も肉体である。(J池袋・松岡)



知覚で動き、とらえ、それをまたとらえる

HIPS 球体抄

伴田良輔著

スペースシャワーネットワーク

●定価2,520円●2012年06月刊

●ISBN978-4-906700-34-9

奇才・伴田良輔による世にも美しい曲線美の世界。

女性のお尻だけをまっすぐに見つめる、装飾をそぎ落とした究極の球体観測。鹿島茂氏推薦。

◎普段衣服によって隠されている臀部。何も纏わない臀部は無防備でどこか愛らしい。美しさとエロスを味わえる一冊。(M&J梅田・飯塚)



臀部は愛すべき部位である



本日の浮遊 Today's Levitation

林ナツミ著

青幻舎●定価2,310円●2012年7月刊●ISBN978-4-86152-351-9

少女がふわりと空中に飛んでいる不思議なセルフポートレート。「無重力写真」として世界中からアクセスされる話題沸騰のデビュー作。

この浮遊感は、平等院にある雲中供養菩薩像に通じる。「地に足がついてないもの」の神々しい自由さよ。(J吉祥寺・大内)

体感する写真集

パフォーマンスの美学

エリカ・フィッシャー＝リヒテ著

中島裕昭・平田栄一朗他訳

論創社●定価3,675円●2009年10月刊

●ISBN978-4-8460-0328-9

パフォーマンスに変わるパフォーマンスの理論をアブラモヴィッチ、ヨーゼフ・ボイス等の作家と作品から浮かび上がらせる!

観客とパフォーマンスの境界を越え、いま観客自身が決断を下す時がきているのはなぜか? 多数の上演例が実に興味深い1冊。(J池袋・松岡)



ダンスについての対話 アリテラシオン

J-L.ナンシー・M.モニエ著 大西雅一郎 松下彩子訳

現代企画室●定価2,625円

●2006年11月刊

●ISBN978-4-7738-0609-0

ナンシーとコンテンポラリーダンスの旗手モニエが、対話/共同作業を通じて身体のもつ根源性を考察した身体芸術論。

対話と共同作品の制作によって身体とは何か、それをういた芸術とは何かを解く。身体芸術を学ぶには必読の書。(M&J梅田・都築)



主体と客体の関係性を読み直そう

アート/表現する身体 アフォーダンスの現場

佐々木正人編

東京大学出版会●定価3,360円

●2006年8月刊

●ISBN978-4-13-011119-5

指揮者の身体の動きと音楽の関係や、アニメーション表現のリアルな正体など、表現する身体が実現している微細な調整の驚異に迫る。

芸術表現における人間の身体を規定する、環境や状況の条件。「表現する身体」のシステムと可能性を、構造分析する。(J池袋・下田)



闇と暮らす。

中野純著

誠文堂新光社●定価1,890円

●2012年7月刊

●ISBN978-4-416-21257-8

視覚以外の感覚である聴覚、嗅覚、味覚、触覚が、暗闇を歩くことで研ぎ澄まされる。ナイトハイクの作法、闇の魅力を紹介。

闇写真撮影のテクニックを掲載。ナイトハイク初心者に向けての入門書としてだけではなく、写真集としても楽しめる。(J池袋・松岡)



アートする身体、アートさせる環境

闇を歩くことは自分を知ること

未来のモノのデザイン

ドナルド・ノーマン著

安村通見・岡本明・伊賀聡一郎・上野晶子 訳

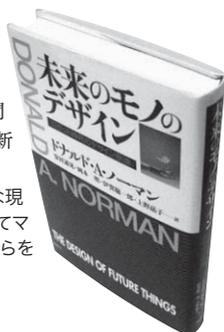
新曜社●定価2,730円

●2008年10月刊

●ISBN978-4-7885-1134-7

自動車や家電、家まで知能機械(ロボット)へ進化する時代。人間が機械の下僕とならないための新デザイン原論。

◎まるでSFが現実化したような現代社会において、善き隣人としてマシーンたちを迎えるために。彼らを如何に形作るかの検討。(J池袋・下田)



これからの機械たちはどんな姿に……？

測って描く旅

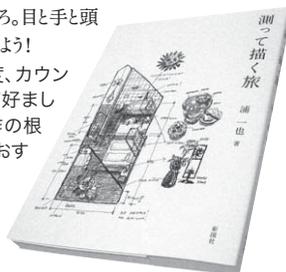
浦一也著

彰国社●定価2,205円●2012年10月刊

●ISBN978-4-395-02103-1

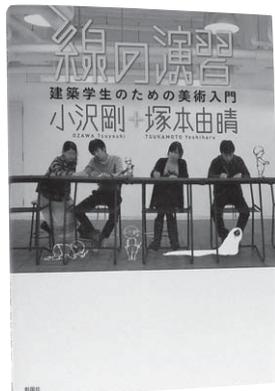
測って描くことはデザインの基礎。対象は、家具、ホテルの室内、建築などいろいろ。目と手と頭を直結するための旅に出よう！

◎この椅子はこの角度、カウンターはなぜこの長さが好ましいのか？造形作品製作の根本理論として読むにもおすすめ。(J池袋・松岡)



長さが僕たちにもたらす感情の理由

こんな授業なら永遠に受けていたい！



線の演習 建築学生のための美術入門

塚本由晴・小沢剛編著

彰国社●定価2,310円●2012年12月刊●ISBN978-4-395-24112-5

触覚だけを頼りに描こう。風景を音で描いてみよう。美術家の小沢剛が、線から紐解く美術入門。小沢剛と塚本由晴の対談も収録。

◎ドラえもんを描くとき、私たちはどう変化しているのか？ 建築を学ぶ人だけではなく、デッサン理論の探求書としても使える1冊。(J池袋・松岡)

イ・ブル

私からあなたへ、私たちにだけ

森美術館編

平凡社●定価3,570円●2012年2月刊

●ISBN978-4-582-20667-8

韓国気鋭のアーティストとして独自の世界を構築し、国際的アートシーンで活躍するイ・ブル。彼女の作品を総覧する。

◎k-popや韓流ドラマ、食べ物、美容…韓国の文化はそれだけではありません。今こそイ・ブルの20年間の世界的活躍に注目する時なのです。(J大阪・三浦)

最先端の韓国はここにあり



ヤン&エヴァ シュヴァンクマイエル展 映画とその周辺

高城昭夫・友永文博・明石康正編

東京カレンダー●定価2,625円●2011年8月刊

●ISBN978-4-905448-00-6

多岐にわたる作品群のほとんどが日本初公開。映画館と美術館の境界を、事実上取り払ってしまった作家の真骨頂とも言わべき一冊。

◎中学生の時にシュヴァンクマイエルの映画で初めてシュルレアリスムの洗礼を受けた。衝撃のあまり自分も映画を作る決心をした。(J大阪・三浦)



チェコのシュルレアリスト夫婦

映像身体論

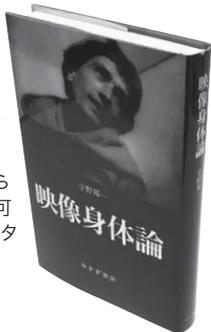
宇野邦一著

みず書房●定価3,360円●2008年3月刊

●ISBN978-4-622-07362-8

スペクタクル社会に空隙をうがった「時間イメージ」の諸相とは。ドゥルーズ『シネマ』への応答。「身体映画」の新たな可能性。

心ひとつの身体ではなく、あらゆる身体が持ちうる表現の可能性に賭けた書籍。「キアロスタミ」は必読。(J池袋・松岡)



ポ ー ト レ ー ト 写 真 の 最 高 傑 作 た ち !



創世記

細江英公著

国書刊行会●定価21,000円●2012年4月刊

●ISBN978-4-336-05513-2

細江英公が写した日本を代表する芸術家達の若き日々。大半が書籍未収録作品でおくる空前絶後のポートレート集、ついに刊行!

心若きアノ人もコノ人も、最高に魅力的。それらが息をのむ美しい印刷で表現されていて、帯にある〈空前絶後〉というコピーがびったりの豪華本です。(J三宮駅前・濱崎)

深層の身体と表層の映像という問題

女たちのアメリカ演劇

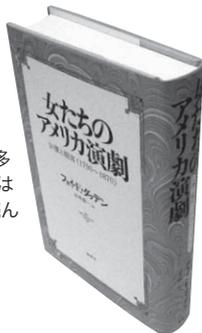
フェイ・E・ダッテン 山本俊一訳

論創社●定価3,990円●2012年3月刊

●ISBN978-4-8460-1126-0

18～19世紀にかけて、女優達の身体はどのように見られ、位置づけられたか。演劇を通してみるアメリカの文化・社会史の名著。

心演劇から人間を考える本は多いが、演劇から女性を考えた本はそう多くないのでは。男性にも読んでほしい1冊。(J池袋・鎌田)



演劇から女に切込む価値ある1冊

ウィーン演劇あるいはブルク劇場

寺尾裕著

論創社●定価2,625円●2012年9月刊

●ISBN978-4-8460-1176-5

オーストリア・ウィーンを代表するブルク劇場。劇場を通してみるオーストリアという国家の姿。現代演劇から現れるウィーン!

心ドイツ演劇ではないウィーン演劇への招待。ノーベル賞作家イェリネクの演劇人としての面目躍如も知る1冊。(J池袋・鎌田)



ジャコモッティの肖像

J.ロード著 関口浩訳

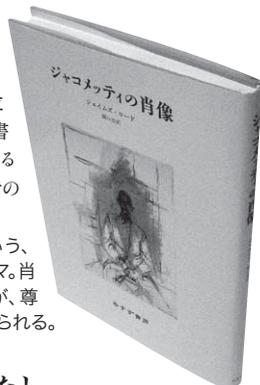
みず書房●定価3,360円

●2003年8月刊

●ISBN978-4-622-07051-1

芸術作品の創造の現場に位置し、自らその対象となながら書き留めた、20世紀を代表する芸術家のモデルとなった著者の記録。

心人間と人間の関わりという、アートにとって普遍のテーマ。肖像画の裏側にあった物語が、尊敬と愛情を込めて、静かに語られる。(J池袋・下田)



社会の縮図の演劇あるいは劇場

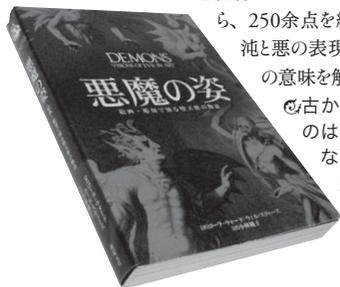
目の前にいた、あなたと

悪魔の姿

ローラ・ウォード・ウィル・スティーズ 著 小林純子 訳
新紀元社●定価2,940円●2008年2月刊
●ISBN978-4-7753-0599-7

悪魔像をモチーフとする美術作品の中から、250余点を紹介。芸術家たちが混沌と悪の表現に用いた複雑な図像の意味を解説する。

◎古から悪魔に魅入られるのは、世の常なのか。様々な画家による、様々な悪魔達の叫びを読み解いて見て下さい。
(J池袋・富塚)



悪魔大集合!!

天使の姿

ローラ・ウォード・ウィル・スティーズ 著 小林純子 訳
新紀元社●定価2,940円●2005年10月刊
●ISBN978-4-7753-0418-1

ルーベンス、ラファエロ、ボッティチェリなどの傑作を中心に、数千年の歴史の中で集められた天使像250余点を掲載。

◎ユダヤ・イスラム・キリスト教はなぜ天使を描いてきたのか? ステンドグラスやリトグラフまで一挙に参照できる点が嬉しい。
(J池袋・松岡)



目に見えるもの全てが遠くなくても

失速させない為の「思い出し」



想起のかたち 記憶アートの歴史意識

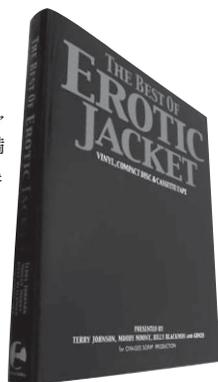
香川檀著 井戸亮編
水声社●定価4,725円●2012年11月刊
●ISBN978-4-89176-920-8

ナチス、ホロコーストの記憶を作品に据える四人の美術家らを中心に、作品がもつ構造、意味作用の分析を通じてアートによる歴史を詳説。

◎思い出というものが間違いなく個々のもので、内面に抱えているからこそこの本が生まれたのだと思う。(J池袋・松岡)

ザ・ベスト・オブ・エロティック・ジャケット

テリー・ジョンソン 著
スペースシャワーネットワーク
●定価3,150円●2011年2月刊
●ISBN978-4-86020-410-5
Gラップ、ソウル・ミュージックのジャケットを300枚越えのエロジャケ満載、世界初の黒人エロジャケ大集合。
◎ジャパンでは、考えられない、許されない、ハードなエロが盛り沢山!!! モリモリ回したくナツチャイマス!!! (MJ梅田・都築)



ぐういん、ぐういんキマス!!!

石内都写真集 Infinity ∞ 身体ゆくえ

石内都著
求龍堂●定価2,625円●2009年4月刊

●ISBN978-4-7630-0921-0

限りある生の時間を終えたあと、身体は何処へ向かうのか? 石内都の研ぎ澄まされた眼差しをたどるアンソロジー。

◎身体に残る生の軌跡、身体が残した副産物... 映っているどれを見ても胸が騒ぐのは、確かに写真の中に風があるからではないか。(J池袋・松岡)



写真の中に常に風の吹く写真家

水墨画技法講座04 水墨人物画入門

全国水墨画美術協会編

秀作社出版●定価3,675円●2007年2月刊

●ISBN978-4-88265-406-3

水墨画の巨匠山田玉雲画伯が揮毫した膨大な絵画資料を体系的にまとめた、人体美の捉え方など人物描法の入門書は水墨画では初。

☞聖徳太子像からセザンヌの言葉に至るまで、身体と線の関わりを分かりやすく解説。陰影を重ねずとも身体立体感を出す手法は必見。(J池袋・松岡)



秀作水墨画37 水墨画・人物の描法

全国水墨画美術協会編

秀作社出版●定価3,990円●2011年3月刊

●ISBN978-4-88265-487-2

線の強弱、遅速、濃淡など線描を詳解し、目に見えない内面の精神や感情を描いて人物画の達人になるための教本。

☞実際の作品を例にとり、描くためのポイントが解説されている。技法書としても、作品集としても楽しめる一冊。(J池袋・小林)



線がすべてだ、そう思える絵画技法書

技法書であり、作品集

水墨画の達人28 相撲画譜

田家阿希雄著

秀作社出版●定価5,040円●2000年6月刊●ISBN978-4-88265-272-4

新しい時代の相撲絵が50枚ここに誕生した。写真やテレビでは味わえない人間味のある相撲を墨と彩色で描いた現代の錦絵。

☞力士の筋肉や動線の描き方も必見だが、相撲という大パーティーを彩る男たちの圧巻表情集。立呼び出しの中年男性の姿は心に残る。(J池袋・松岡)



圧倒的なVIBESに満ちた水墨画画集!

水墨画の達人67 水墨画-新・女を描く

小倉治子著

秀作社出版●定価3,990円●2011年2月刊

●ISBN978-4-88265-479-7

女性の美を描かせたら右に出る者のいない小倉治子画伯の新画集。水墨画・パステル画・木炭デッサン等様々な魅せる。

☞電車の中で中年女性を毎回凝視してしまう。女性が「何もせず座っている姿」の妻みを再確認させられた1冊。(J池袋・松岡)



女の視線の打ち付け方、そらし方

ミケランジェロ(アート・ライブラリーBis)

ピエルルイーゼ・デ・ヴェッキ著

森田義之訳

西村書店●定価3,780円

●2009年5月刊

●ISBN978-4-89013-632-2

ミケランジェロ研究の第一人者が、その生涯を概説するとともに主要な作品を紹介。巻末には洗浄修復後の〈最後の審判〉を追加した。

☞ミケランジェロの多くの作品がヴァザーリの言葉に縁どられ、並ぶ様は壮観。石に生命の宿る瞬間を体感せよ。(J池袋・松岡)



彫刻は絵画の灯であったのか?

その本のPOPつくったの、私なんですよお客様ー!!

丸善 名古屋栄店

若山育代 Ikuyo Wakayama

さて!詳しい内容?そりゃもう百聞は一見にしかず!!さっそくお近くの書店にて(しかしてできれば丸善名古屋栄店までお運びを!)、たっぷり・じっくり!ご覧じろ!!私は私のとっつき!この本にまつわるお話を一つご紹介致します。こちらもどうぞ、たっぷり(というほどの量でもない)・じっくり(というほど濃い話でもないんだが)、さあさあ皆さま!ご覧じろ!!

直観まかせの一発キャッチ!でPOPをつくり続けてはや八年ほど。その中でも、“花嫁さんのお色直し”ならぬこの本の“POP お色直し”は最多数!そして変えるたび、お客様の反応もまたさまざま。毎日実におもしろい!

ある日、遠方のお客様からお電話を頂きました。本書一点のみ、代引きにて購入をご希望との事。送料・手数料ご負担頂きますがとお伝えしたところ、実にほがらかにこうおっしゃった。

「いいよいいよ!いやアこないだあんたんとこ行ったんだけどさ!本に付いてたあれ!“これ持っていると、良縁に恵まれる気がしてならん”っていうの!あれが忘れらんなくてさあ!わははー!!」

わははー!!気が合いますねえお客様!その“本に付いてたあれ(POP)”つくったの、私なんですよお客様ー!!と告白したかったがこの話、実は実際に電話を受けたスタッフにその旨聞いただけ(なので若干の脚色はある。が、おおむねこんな感じ(のはず)。それ以前、楽しい話はより楽しく!そしてより都合よく!!したいもんだ)。で、んもう!なんで呼んでくんなかったのさ!あーあーおしゃべりしたかつ



書店員のオススメ

春画 江戸の絵師四十八人(別冊太閤)

白倉敬彦編

平凡社●定価 2,730 円● 2006 年 10 月刊

● ISBN978-4-582-94502-7

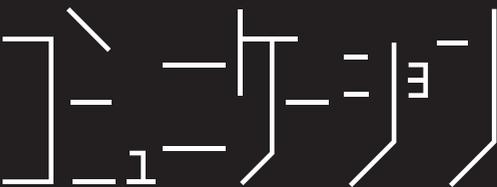
「江戸春画絵師オールスターズ☆四十八名が夢の競演!あの不屈の名作からこの知られざる傑作まで、春画史に燦然と輝く数々の名品を収録した奇跡の一冊!本邦初の春画通覧!こゝれは完全保存版!!だね♡」
というような事を、出版社さんが本書帯やホームページにて言われていますがうん、私もそう思う。

たアそのお客様とー!!と地団駄踏みつつふと気がつく。あれ?これぞまさしく良縁?この本と、私の感性がっぷり四つ?!本当に気が合うのはこっちの方だったらしい。お客様ー!!ご・め・ん・♡

ところでそのスタッフさんはめでたくご結婚、寿退社されました。そしてこれまた今気付いたのがこれこそ!まさしく!確かな良縁!!ここまでくるとあの文言、あながち嘘でもないらしい……?いや彼女、購入はしていない。が、棚整理の時よくこの本に触った……ひょっとして、触るだけで良縁に恵まれる?!なんと!!結婚率低迷が叫ばれるこのご時世、これはもう!一刻も早くPOPにせねばなるまいて!!

と、近く、またこの本のPOP お色直しがいろいろあります。皆さまどうぞ!おたのしみに〜♡

3



communication

「わたし」と別の「誰か」や「なにか」がそこにあるだけで、

「コミュニケーション」は始まります。

そして「世界」とは、「わたし」と別の「何か」が必ずそこにある場所、
として存在しているのです。

美術も、ひとつの「コミュニケーション」の形であると言えるでしょう。

誰かが美術を生み出したとたん、

その美術はその誰かとは別の「なにか」になるのですから。

美術をめぐる「コミュニケーション」について

考えるきっかけとなるような書籍たちを、ご紹介します。

時代の目撃者

ピーター・パーク著 諸川春樹訳

中央公論美術出版●定価3,780円●2007年10月刊

●ISBN978-4-8055-0548-9



従来の美術史を拡張し、文化人類学的観点から各時代が生んだあらゆる媒体のイメージの根拠を詳細に探究した文明批評。

◎顔が無い怪物像はガガやもクロに影響したか？ ルネサンス研究中心の著者だが、現代の政治イメージまでうまく網羅されている。

(J池袋・松岡)

神はどこに宿るのか、を紐解く

ポップイズム ウォーホルの60年代

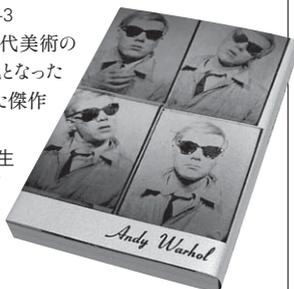
アンディ・ウォーホル、パット・ハケット著 高島平吾訳

文遊社●定価3,150円●2011年4月刊

●ISBN978-4-89257-064-3

アンディ・ウォーホルが現代美術の枠を超え、メディアの寵児となった1960年代を克明に綴った傑作自伝。

◎人と出会って、何かが生まれて、世界が広がっていく。ウォーホルが作られていく濃厚な時代の回想録。(J天満橋・照井)



ポップアートで始まる濃厚な10年

グリーンバーグ批評選集

クレメント・グリーンバーグ著

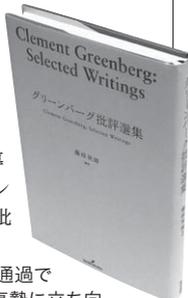
藤枝晃雄編訳

勁草書房●定価2,940円●2005年4月刊

●ISBN978-4-326-85185-0

戦後アメリカ美術の新たな潮流を主導した20世紀最大の美術批評家グリーンバーグの重要テキストを収録した待望の批評集。

◎私たちが思うほど、「近代」は簡単に通過できるものではない。モダニズム芸術に真摯に立ち向かったグリーンバーグの言葉を聞け。(J池袋・下田)



モダンを乗り越えられたか？

マグナム・コンタクトシート

クリステン・リュッペン編

青幻舎●定価15,750円●2011年10月刊

●ISBN978-4-86152-311-3

写真家集団マグナム69名、139点のコンタクトシート(ベタ焼き)を初公開。写真家の思考の足跡を辿り"決定的瞬間"の舞台裏に迫る。◎スター写真家たちの撮影時の息づかいまでたちがあがってくるような、興奮の一冊！ ポリウムも圧巻です。(J三宮駅前・津崎)



天才たちはこう撮った！

現代アメリカ写真を読む デモクラシーの眺望

日高優著

青弓社●定価3,150円●2009年6月刊

●ISBN978-4-7872-7269-0

事実を伝えるメディアとしてデモクラシーと共振／反発する写真。現代アメリカ写真のデモクラシーの可能性とイメージを探索する。

◎歴史に対する資料性の秀逸さは勿論、アメリカきっての写真家達に対する批評は、絶えざる運動を連想させる程熱い。(J池袋・松岡)



人間主体がもつ諸「観念」は、どこに？

一号館アルバム

梅佳代・ホンマタカシ・神谷俊美著
求龍堂●定価2,500円●2009年9月刊
●ISBN978-4-7630-0933-3



1968年に解体され、当初の設計図面、実測図に基づいて復元された三菱一号館を梅佳代、ホンマタカシ、神谷俊美、3人の写真家が記録。高層ビルの中に甦った三菱一号館。建設当時と同じように街行く人々を立ち止ませる。ふたつの時代を生きることになった三菱一号館、その復元に至る様々を東京の3人の写真家が追った貴重な記録。(J渋谷・瀧口)

時代を超える、時代をみつめる

軍艦島 眠りのなかの覚醒

雑賀雄二著
淡交社●定価3,150円●2003年3月刊
●ISBN978-4-473-01987-5



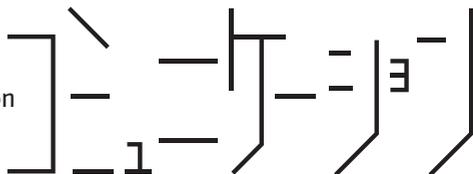
廃墟の美をとらえた写真集。年表や図版など資料も充実。年月という芸術に見入ってしまいます。開山前の数ヶ月～人が居なくなるまでを綴った日記は読みごたえ抜群。(J天満橋・木下)

軍艦島に上陸!

フォントは細くなり、色は薄くなる



communication



時代のアイコン

平野敬子著

六耀社●定価2,625円●2004年9月刊●ISBN978-4-89737-503-8

ポスター、ロゴマーク、広告、コマーシャルなど、戦後から現代に至るまで、その時代を語る上で欠かせない日本のデザインを紹介する。

情報量の増加とともにシンプルになるデザイン。デザインが生活を、時代そのものを変えていく様子が伺える。(J吉祥寺・大内)

恥の美学

秋山祐徳太子著
芸術新聞社●定価1,470円●2009年4月刊
●ISBN978-4-87586-176-8

都知事選出馬など「バカバカしいことに大見得を切る」を信条に、表現活動を行う伝説の美術家が「恥の効用」を伝授する爆笑エッセイ。

「恥をかく」ことについて深く考えたことがなかった。恥をかきたくなくて、色んなことを避けてるなって気が付いた。(J天満橋・照井)



「恥の十七条憲法」ってなんだ?!

エル・リシツキー 構成者のヴィジョン

寺山祐策編
武蔵野美術大学出版局
●定価5,880円●2005年10月刊
●ISBN978-4-901631-68-6

近代のデザインに大きな影響を与えたロシアの構成主義者のエル・リシツキーについて貴重な資料と共に、その仕事と理念を紹介。

ポップカルチャーにも飽きるほど引用/盗用されてきた、リシツキーのデザイン。問答無用に魅力的な彼のデザインと、その周辺状況を勉強しよう。(J池袋・下田)



20世紀の過激派野郎。

中国藝術の光と闇 波瀾万丈の百年藝術史

王凱著

秀作社出版●定価2,940円

●2005年3月刊

●ISBN978-4-88265-362-2

近現代の中国藝術がいかに発展し、弾圧・規制されてきたか。日本で活動する著者が祖国の藝術の現状と今後について考察する。

☞同じアジア圏でも、現代中国の政治的重力は今の日本のそれより目に見えて重い。政治性と藝術の距離感を、日本と比較して読むと面白い。(J池袋・下田)



堅実な衝動を与える美学論集

現代藝術の彼岸

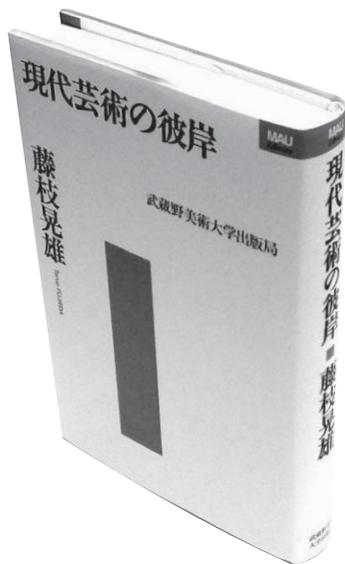
藤枝晃雄著

武蔵野美術大学出版局●定価3,360円

●2005年6月刊行●ISBN978-4-901631-67-9

抽象表現主義の思想を根底に、「現代美術」と「現代美術批評」について、透徹した審美眼と鋭い批評精神で論じる批評集。

☞ファンタジックにしかイメージできない大人が多すぎる!美学批評の地平を今一度読み直そう。(J池袋・松岡)



中国という国で、藝術は如何に機能したか。

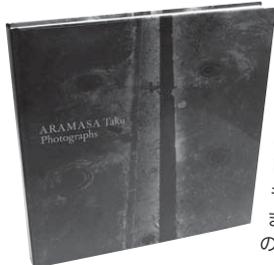
黙示

ARAMASA Taku Photographs

新正卓写真

武蔵野美術大学出版局●定価7,770円●2006年12月刊

●ISBN978-4-901631-73-0



ブラジルの娼婦から南米日系移民へ、中国残留孤児へ。母なる「祖国」をみつめる眼差しの異相をつづるアンソロジー。

☞モノクロームを基調とした静謐な時間のなかにも訴えてくるものは多い。まさにアラマサのタマシイの1冊。(J池袋・鎌田)

ARAMASADAMASHII

21世紀の出会い—共鳴、ここから

金沢21世紀美術館企画

淡交社●定価2,730円●2004年10月刊

●ISBN978-4-473-03209-6

金沢21世紀美術館の開館記念書籍。展覧会の出品作より43点をカラー掲載。

☞ポリフォニックな空間としての現代社会。そこで展開される生活世界・日常世界と芸術との、ポジティブな結節点を探る試み。(J池袋・下田)



中国の近代美術と日本

20世紀日中関係の一断面

陸偉榮著

大学教育出版●定価2,940円

●2007年10月刊

●ISBN978-4-88730-801-5

民国期の中日の画家達と日本との関係を巡る歴史的事実を元に、中国が日本からいかなる要素を吸収し近代美術を確立したかを考察。

☞日本/中国の近代美術史の再考察から、その文化的関係性が本当はどのようなものだったのかを探る。政治的・恣意的な視点の克服を目指した一冊。(J池袋・下田)



今生きる「生」から、はじめよう

イデオロギーの圧迫を超えて

前川國男 現代との対話

松隈洋編

六耀社●定価2,520円

●2006年10月刊

●ISBN978-4-89737-571-7

ル・コルビュジェに師事し、日本近代建築に大きな足跡を残した建築家・前川國男を、建築界で活躍する富永謙、藤森照信、内藤廣、横文彦ら14名が語り尽くす。

◎近代建築の巨匠である前川國男に、現代の建築家たちがあらゆる角度からメスを入れた興味深い1冊。(J池袋・鎌田)



倉俣史朗 着想のかたち

4人のクリエイターが語る。

平野啓一郎・伊東豊雄・小池一子・深澤直人共著

六耀社●定価2,205円●2011年3月刊

●ISBN978-4-89737-674-5

世界第一線で活躍する4人のクリエイターが抱くKURAMATA像をインタビューから浮か彫りにしていく。さらに、そこから倉俣作品のテーマも浮かび上がらせる。

◎ジャンルの異なる四人のクリエイターが倉俣史朗について自由に語る。デザイナーの全貌は明らかになるか？(J池袋・鎌田)



今に生き、今を生きる一建築家

錯視芸術の巨匠たち

世界のたまし絵作家 20 人の傑作集

アル・セッケル著 坂根巖夫訳

創元社●定価5,040円●2008年4月刊

●ISBN978-4-422-70044-1

錯視図形、オプティカル・イリュージョン・アート、トロンプ・ルイユなどの摩訶不思議な世界。古今東西のたまし絵作家の傑作集。

◎人を騙す人を見ると元気が湧く私は変態か。アルチンボルドの闇、ダリあの表情、エッシャーの精密なしてやったり感に溺れる。(J池袋・松岡)



騙されて希望に溢れた世界にいる

情報化爆弾

ポール・ヴィリリオ著

丸岡高弘訳

産業図書●定価2,205円

●1999年11月刊

●ISBN978-4-7828-0128-4

情報の無限連鎖的な増幅がもたらす破局…すなわち情報の「臨界反応」が現代社会を脅かす。情報化社会に警鐘をならす話題作!

◎最初の世界時間の大戦に、既に入したとも言える今年、生命の原理を守るためには現実的に何をすべきか？(J池袋・松岡)



あるインテリアデザイナーの肖像



風景という知

近代のパラダイムを超えて

オギュスタン・ベルク著 木岡伸夫訳

世界思想社●定価1,680円●2011年4月刊

●ISBN978-4-7907-1514-6

近代の主客二元論が置き去りにしてきた〈風景という知〉を取り戻し、美しい風景を蘇らせるためのベルク風景論最上のエッセンス!

◎著者は風景というものを、「人間と環境との関係のうちにあるもの」として捉えている。対象同士の関係性に着目することから汲みだされる、知性のかたち。(J池袋・下田)

ランドスケープそのものに潜む知性。

情報速度に敏感になった人々へ



葛藤する形態 第一次世界大戦と美術

河本真理著

人文書院●定価1,575円●2011年3月刊●ISBN978-4-409-51114-5

揺れ動く世界の動きに呼応して葛藤する美術の動向から、第一次世界大戦前後を含めて、戦争が美術に対して持ち得た意味を探る。

☞人類史上初めての世界戦争は、欧州の若き芸術家たちに、興奮と思い違いと絶望を与えた。未曾有の混沌が、想像力に与えた痛み。(J池袋・下田)

空前絶後の暴力の前で、想像力は……

イタリア・ファシズムの芸術政治

鯖江秀樹著 下平尾直編

水声社●定価4,200円●2011年6月刊

●ISBN978-4-89176-836-2

グラムシ、ゴッパティらの批評によって浮上するモダン・アートの可能性／不可能性を、絵画・建築の豊富な実例を通して検証する。

☞「様式とは良識からやってくるのだ」モンターレの言葉は現代の私達にとっても、いま大きく響き渡る一節となる。(J池袋・松岡)



美術史とその言説

宮川淳著 鈴木宏編

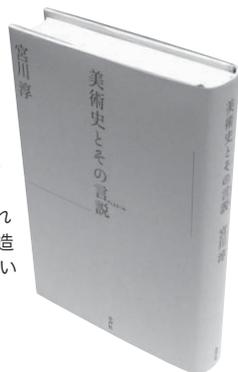
水声社●定価3,990円

●2002年11月刊

●ISBN978-4-89176-464-7

印象派を中心とする近代画家たち(セザンヌ、スーラ、シニャック、ゴッホ、ルソー、ゴッガン、モロー)の歩みを克明にたどる。

☞問題は常に設定され直されなければならない、現実と創造の対立が繋がる先に待っているアンフォルメルとは？(J池袋・松岡)



「様式の不在」に気づいた時、人は

世界の中の日本絵画

平山郁夫・高階秀爾共著

美術年鑑社●定価7,952円

●1994年5月刊

●ISBN978-4-89210-119-9

日本美術界を代表する二人の英知が日本の名画113点を精選、海外の名画と比較対照しながら、「日本美の精華」への再認識を迫る。

☞同様の景色を描いていても、物の捉え方、表現の仕方、色の使い方にやはり違いがあり、それぞれの良さを改めて感じた。(J池袋・高橋)



画家が描いたヨーロッパ

高階秀爾監修

美術年鑑社●定価2,940円●2004年10月刊

●ISBN978-4-89210-160-1

日本人画家が描いたヨーロッパの作品約550点を収録。19世紀から現代まで、日本人の眼にヨーロッパはどうか映ったのか。

☞明治から現代まで、渡欧し続けた日本人画家のその眼で見て描いたヨーロッパの風景画だけがまとめられていてとても新鮮。(J池袋・高橋)



日本の美とはいったいなんだったのか

渡欧し続けた日本人画家たち

東京 | 天空樹

佐藤信太郎著

青幻舎●定価3,990円●2012年1月刊

●ISBN978-4-86152-330-4

2年半の歳月をかけてスカイツリーと東京下町の風景と街並みを撮影。歴史が幾層にも交差する東京の「今」。林忠彦賞受賞作品。



☞スカイツリーがのびてゆく過程とともに写る、東京の街並み。森や海といった自然の力にも似た、力強い美しさを感じます。(J天満橋・木下)

美しき人工物!

日本の四季 秋冬

高階秀爾監修

美術年鑑社●定価3,990円●2009年8月刊

●ISBN978-4-89210-181-6

四季シリーズ春夏に続く第2弾。雪舟から現代作家まで、秋冬をテーマにした多彩な作品約1000点で、日本人の美意識を探る。

☞秋は紅葉・冬は雪という定番の表現でなくとも、花一輪、雲一筋描くことで季節は感じられるのだと思われた。(J池袋・高橋)



時代を超えた日本の四季 秋/冬編

20世紀の配色

リアトリス・アイズマン著

パイ インターナショナル●定価3,465円

●2011年10月刊●ISBN978-4-7562-4139-9

アート作品や映画など20世紀の文化を彩った色の歴史を、パントンカラーチップ555点と図版約300点とあわせて紹介。

☞時代と色彩がここまで関係しているんだな。と納得してしまう1冊。視覚だけでなく知識も取り込める。(M&J札幌・柏木)



PANTONEと歴史背景が色で重なり合う

Logo World / ログワールド

長谷川純雄 / 奥田政喜編

河出書房新社●定価10,290円

●2010年6月刊

●ISBN978-4-309-25530-9

幅広い分野で使用されたロゴマークやキャラクター、CIなどを豊富に収録。デザインに関わる全ての人の必携の書。

☞作品集としても、ヒントがくれる指南書としても、1冊あれば重宝するような情報が盛りだくさん。(M&J札幌・柏木)



ロゴデザインの百科事典として

私の展覧会クロニクル1978-2009

平野公憲著

論創社●定価2,100円●2012年10月刊

●ISBN978-4-8460-1186-4



展覧会はどう作られるのか。様々な人や物との出会いを通じ『展覧会』が開催されるまでの過程を幾多のエピソードを交え報告する。

☞一つの展覧会が開催に至るまでには、一体どれほどの人が関わり、時間が費やされるのだろうか。(J池袋・小林)

展覧会の裏側を知る

ジョルジュ・バルビエ画集 永遠のエレガンスを求めて

鹿島茂著

六耀社●定価3,675円●2008年3月刊

●ISBN978-4-89737-604-2

20世紀アールデコの時代、時代の先端をゆくファッションデザイナーや気鋭のクリエイターたちに多大なる影響を与えた稀代のイラストレーターの画業を

明かす。

◎今の時代に見ても新しいバルビエの作風が堪能できる。装丁も美しく、プレゼント本としても最適な一冊。(J福岡・米田)



幻想のイラストレーター

ヴィーナス・メタモルフォーシス

浦一章・芳賀京子・三浦篤・渡辺晋輔著

三元社●定価2,730円●2010年10月刊

●ISBN978-4-88303-277-8

横たわる裸婦像の古典となったティツアーノの《ウルビーノのヴィーナス》を結節点にヴィーナスの変容を多彩に物語る。

◎かつてウルビーノのヴィーナスを見た時は疑いもせず神だと思ったが、世の論争を読むとそれが人に近づいていく。(J池袋・鈴木)



聖人か俗人か、それは問題か。

恩地孝四郎研究 版画のモダニズム

桑原規子著

せりか書房●定価8,400円

●2012年10月刊

●ISBN978-4-7967-0316-1

創作版画や抽象画の先駆者にして装幀家、写真家、詩人、モダニスト恩地孝四郎の全創造活動を描く(カラー図版193点)

◎絵画・版画家、詩人、装幀家。様々な顔を持ち、且つ一流であり続けた意欲やアイデアはどこから来るのか不思議だ。(J池袋・高橋)



多才なモダニスト 恩地孝四郎の軌跡

何故印象派は生まれ得たのか？



印象派という革命

木村泰司著

集英社●定価2,400円●2012年1月刊

●ISBN978-4-08-781496-5

マネ、モネ、ルノワール、ドガ・・・フランスの動乱の時代、印象派と呼ばれた彼らは、新しい絵画を模索し、それまでの絵画の常識を打ち破った、その愛と人生を、あわせて紹介する。

◎印象派の誕生を前史からまとめ、あまり触れられてこなかった女性画家まで大きく扱った快作。豊富なカラー図版も魅力的。(J三宮・小松)

19世紀アメリカのポピュラー・シアター

斎藤偕子著

論創社●定価3,780円●2010年12月刊

●ISBN978-4-8460-0957-1

minstrel・ショウ、メロドラマ、フリーク・ショウ、野外ショウ、サーカス、そしてブロードウェイ、創世記のアメリカの姿。

◎芸能は、大衆の無意識と欲望の受け皿として機能し、時にそれを再編成する。19世紀アメリカ大衆演劇における、その機能の検証。(J池袋・下田)



イデオロギー形成装置としてのポップ演劇

芸術の陰謀 消費社会と現代アート

ジャン・ボードリヤール

著塚原史訳

NTT出版●定価2,520円

●2011年10月刊

●ISBN978-4-7571-4277-0

「無」になってしまった芸術が自ら「無」を装うという陰謀。今日の消費社会とアートの状況を鋭くえぐり出す挑発的現代アート論。

☞「詐欺」としての現代アートと、その業界を取り巻く経済構造における裏取引的な「仕掛け」。美術が陥ってしまった隘路を、容赦無く暴く。(J池袋・下田)



想像の扉を開けた世界を ご覧あれ

扉を開ける

島袋道浩著

リトルモア●定価3,990円

●2010年9月刊

●ISBN978-4-89815-295-9

世界中を旅しながら詩的でユーモアにあふれる作品を様々な形態で発表してきた作家の代表作35点を収録。現代美術入門書としてもオススメ。

☞日常の些細な疑問を具現化した作品たちは、驚きあり、可笑しくもあり、でも気になる…。好奇心が満載です。(M&J札幌・柏木)



現代美術の「無意味さ」に、鉄槌を。

イメージ、それでもなお アウシュヴィッツからもぎ取られた 四枚の写真

ジョルジュ・ティティ＝ユベルマン著

橋本一径訳

平凡社●定価3,990円●2006年8月刊

●ISBN978-4-582-70262-0

イメージ論としてアウシュヴィッツを論じる前人未達の試み。不完全な資料の断片からでも歴史を再考すべきと解くボレミックな書。

☞ユベルマンが開いてくれたとてつもなく大きい可能性、問いは現在も私たちの目の前にある。(J池袋・松岡)



震災後、手に取る方多数。

ROADSIDE USA

珍世界紀行 アメリカ編

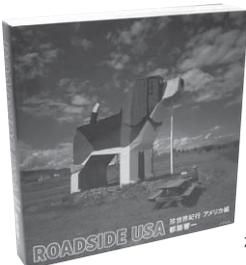
都築 響一 著

アスペクト●定価12,915円●2010年11月刊

●ISBN978-4-7572-1809-3

アメリカ全50州の珍名所&珍物件をカラー写真約1,200点、528ページにわたり一挙公開。リアル・アメリカがここにある。

☞ガイドブック的な要素はゼロ。だって、アメリカまでわざわざ見に行く人なんて他にいないから！(J吉祥寺・大内)



ラカンの殺人現場案内

ヘンリー・ポンド著

太田出版●定価2,520円●2012年8月刊

●ISBN978-4-7783-1324-1

もしもラカンが刑事だったら？精神分析学者で写真家のヘンリー・ポンドが、多数の殺人現場の写真から物的証拠の考察を行う。

☞ジジエク、ナボコフ、パロウズにバタイユ！思想論の中をくぐりぬけて到達する先は……サスペンス好きのみでなく、写真史を学ぶ人にも必読。(J池袋・松岡)



「珍」を集めさせたら日本一、いや世界一?!

精神と写真を巡る発展史を解く

「自分のために作られた一冊」を 見つけてもらうために

ジュンク堂 吉祥寺店

大内章世 Akiyo Ouchi

本との出会いは人との出会いに似ていて、そのときその場にいなければ出会えなかった本というのがあります。私たちの仕事はその出会いの場を作ることだと考えています。

『世界は小さな祝福であふれている』の著者の前作である『ライン・オン・ジ・アース』（エディマン刊）にも、五年前のあのとき、私が新宿店で芸術書担当をしてなければ出会うことはなかったでしょう。初めて手に取ったときの衝撃は今でも残っています。アフガニスタンやコソボなど、廃地を旅するそのエッセイは、旅先での出来事と東京での鬱窟としたエピソードが絡み合って描かれ、当時の私の心情をそのままに代弁していました。『これは自分のために作られた本だ』と思ったのです。

本好きに限らずとも、誰もそういう本に出合ったことがあるのではないのでしょうか。その本を読む前と、読んだ後を境にして、世の中との向き合い方が大きく変わっていくような。それ以来、私はこの本を売るために書店員を続けていると言っても言い過ぎではなく、棚には常に面陳、ことあるごとにフェアに並べ、とりあげてきました。

そして、念願の二冊目ができたときには、ファンが高じて著者と知り合っていたことと、元同僚が営業担当だったこともあり、制作段階から見守ることができました。新しい作品ができることは、私自身が楽しみであるだけでなく、またどこかに私のように、その本に強く共感する人が現れることであり、それが何よりの喜びでした。

私が担当している棚で、誰か一人でも、自分



書店員のオススメ

世界は小さな祝祭であふれている

小野博著

現代企画室●定価 1,890 円●2012 年 11 月刊

●ISBN978-4-7738-1218-3

旅の果てにアムステルダムに住むことを選んだ著者による、東京とアムステルダムを対象的に描いたエッセイ。東京で著者が感じていた理不尽さや、成熟し鬱屈した都市の持つ悪意のようなものは、読者の胸をえぐり、アムステルダムでの精神的に豊かな暮らしに安堵を覚えるだろう。たとえユートピアを見つけられなくとも今いる場所で生きていこうという力が湧いてくる一冊。写真からは日本でもアムステルダムでも、同じような温かさを感じる。

のために作られた本だと思えるような、人生をともしていく一冊に出会えたなら。それを見つけたときの、胸がうち震えるあの感覚を味わえた人がいたら、とても嬉しいし、その気持ちを分かちあいたいと思うのです。美術書にはとくに純粋な表現が集まっており、一冊一冊が、その可能性を秘めています。私はその可能性を引き出すような棚作りを目指しています。

4 | 物語

story

わたしたち人間は、「物語」から逃れることはできません。
何かが始まり、そして終わっていくというストーリーが、
人間が「世界」を把握するときの枠組みになっているのです。
この章では、「物語」の引力を感じさせる
美術について書かれた書籍たちをご紹介します。
そこに言葉が無かったって、「物語」の魔力は発生します。
それに触れるわたしたちを「物語」に引きずり込む、
恐ろしくも魅惑的な美術たちの世界へ、ようこそ。

国宝六道絵

泉武夫・加須屋誠・山本聡美編著

金井杜道撮影

中央公論美術出版●定価37,800円

●2007年11月刊

●ISBN978-4-8055-0556-4

国宝六道絵15幅全てを大判のカラー図版と各幅の詳細な場面解説と3名の研究者による論文を収めた重要な第一級史料研究。

☞死んだらどうなるのか、図式で理解させようとしたことのすばらしさ。(J池袋・松岡)



痛みを痛みとして感じられるように

アルブレヒト・デューラー

「人体均衡論四書」注解

前川誠郎監修 下村耕史訳編

中央公論美術出版●定価30,450円●1995年11月刊

●ISBN978-4-80550-300-3

人体表現における美と数の理想的比例を発見したデューラー。その画技と科学の集大成の書を全訳、翻刻した。人体図版142図も収録。

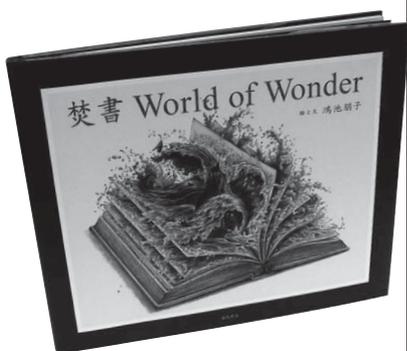
☞人体画法に大きな影響を与えた「アダムとイヴ」を確立するまで、画家が多くの巨匠と土地を訪ねたことが実感できる。(J池袋・松岡)



物語を生んだ、出会いがすべて

想像力の怖さを想像する

物語
story



焚書 World of Wonder

鴻池朋子著

羽鳥書店●定価3,990円●2011年4月刊

●ISBN978-4-904702-20-8

何十億年の時を駆け、想像力をめぐる旅が始まる。鴻池自らが言葉をつむぎ、宇宙のうねりをドローイングで描く本の絵本。

☞文字と絵でこの本を手にとった者を追い詰める。ざわざわする。夢に出てくる。迫ってくる。ああ、手が離れない。(M&J梅田・都築)

芸術の蒐集

ウンベルト・エーコ編著 川野美也子訳

東洋書林●定価8,400円●2011年6月刊

●ISBN978-4-88721-787-4

美と醜の二項対立の枠を超え、あらゆる創作活動の蒐集と分類(=芸術世界のリスト化)を目論んだ、記号論者の面目躍如たる一冊。

☞引用そして引用または引用の美しさ!ミルフィーユのように積み重ねるエーコの博学ぶりを堪能できる。(J池袋・松岡)



序文からもうホメロスですか!

パウル・クレーの文字絵

アジア・オリエントと音楽へのまなざし

野田由美著

アルテスパブリッシング

●定価5,040円●2009年5月刊

●ISBN978-4-903951-17-1

詩・色彩・音楽・エロス～10点の「文字絵」に託されたものは?クレー研究に新たな地平を開く画期的論考!カラー図版多数掲載。

☞クレーと時間の関わりについて興味深く読める書籍。形象の記号化、絵と音楽の繋がりについて研究する人にも必読の書。

(J池袋・松岡)



東洋はクレーにとってユートピアだったか

徒花図鑑

齋藤芽生著

芸術新聞社●定価3,780円

●2011年7月刊

●ISBN978-4-87586-309-0

幼少期の記憶に残る「図鑑」「花輪」「団地」などを下敷きに、情念あふれる超現実的な光景を描き出す画家・齋藤芽生の初作品集。

☞画集と一言では言えない。画集ではなく、作品集。詩と言えない、想い連なった言葉。その言葉自体に絵が添えられている感じ。それぞれの濃厚な世界が灯にぼんやり照らされているような世界観。(J渋谷・石田)



幻色のぞき窓

山本タカト著

芸術新聞社●定価3,465円

●2010年4月刊

●ISBN978-4-87586-193-5

緻密にして耽美に描かれる少年少女。作品集であり、絵師が作品を生み出す魔術的な過程を追体験できる初エッセイ集。

☞一般的にエログロ絵師の巨匠として知られている。著者本人は、このエッセイからは物静かな人物という印象を受ける。静かな鎌倉という地で生み出された作品の源泉(頭の中)をまさにのぞき見る感じ。(J渋谷・石田)



いっそ音楽が聴こえるような

マイ・グランドマザーズ

東京都写真美術館・国立国際美術館監修

淡交社●定価2,600円●2009年3月刊

●ISBN978-4-473-03575-2

2009年ヴェネチア・ビエンナーレに選出され、世界的に活躍するやなぎみわ

☞彼女が表現するさまざまな「老い」のストーリー。50年後の自分がどこで何をしているかをついつい考えたくなる1冊。(M&J梅田・松下)



『未来』を想像する愉しさ

“山本タカト”という人間を知る

町田久美画集

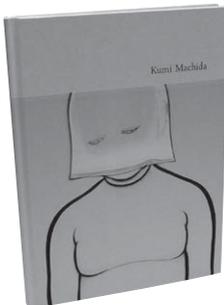
町田久美著

青幻舎●定価5,250円●2012年6月刊

●ISBN978-4-86152-335-9

国内外で高い評価を得る町田久美。細部のクローズアップやスケッチなど、初期から最新作まであますところなく収録。

☞漆黒の太くてやわらかなラインからは、その滑らかなリズムとは裏腹に、力強い意志を感じて見る者は気負う。雪肌麻紙に描かれたものから静かで心地良い脅迫性を感じる。(J渋谷・石田)



簡潔にきっぱりと心を映す人

実直で濃密な愛の賛歌



荒木経惟写真集3 陽子

荒木経惟著

平凡社●定価2,310円●1996年2月刊●ISBN978-4-582-66403-4

妻・陽子は荒木にとって最高のモデルだった。未発表カラー作品に加え、陽子が残したエッセイも多数収録した決定版。

☞何度も読み返したくなる、そしてその度に涙する、写真と文章が輝いている。愛の經典になりうる写真集。(三宮駅前・濱崎)

百千鳥狂歌合

喜多川歌麿著



芸艸堂●定価1,680円
●2012年12月刊
●ISBN978-4-7538-0266-1
美人画絵師・歌麿と江戸狂歌壇の才人がコラボ。歌麿の傑作が和綴じ豆本で復刻。
◎狂歌に添えられた、精巧な鳥の絵。美しい仮名と歌麿の描く絵に、つつい引き込まれてしまう。(J池袋・小林)

いつの時代も変わらない恋模様か。

ワイドで楽しむ 奇想の屏風絵

安村敏信著

東京美術●定価1,680円●2010年10月刊
●978-4-8087-0888-7

若冲、蕭白、蘆雪、北斎らの傑作を厳選。折り畳んだ頁を広げ4頁分の巨大画面で絵の面白さを細部までじっくり鑑賞。コラムも充実。

◎折りたたまれたページを広げれば描かれた世界(風景)は広がり迫力でこちらにせまってくる。空間に配置される屏風の面白さ。
(J京都・関)



たちまち空間を一新。屏風を開く喜び

レオナルドの謎 イメージの森のなかへ

利倉隆著

二女社●定価1,995円
●2008年2月刊

●ISBN978-4-544-21103-0

「モナ・リザ」や「最後の晩餐」で知られる、万能の天才ダ・ヴィンチ。彼が一生の間、抱き続けた「永遠の女性像」の謎に迫る。
◎モナ・リザと聞けば、なんとなく全体をイメージできるけれど、その細部は全然見えていなかった。絵を見ると、奥が深い。(J天満橋・照井)



絵を見るということ

各地の神の姿を知る



すぐわかる日本の神像

三橋健著

東京美術●定価1,890円●2012年9月刊
●978-4-8087-0900-6

神々はどのように表されてきたのか。そこから見えてくる日本人にとっての「神」とは？ 神仏習合の様相が神道の視点から明らかに。

◎尊いもののかたちとは？作家の存在を忘れさせる、人々の折りの対象となる神の姿。(J京都・関)

鳥山石燕 画図百鬼夜行

高田衛監修 稲田篤信編 田中直日編
国書刊行会●定価7,980円●1993年1月刊

●ISBN978-4-336-03386-4

妖怪変化に姿を与えることに一生を賭した江戸中期の絵師、鳥山石燕の代表作『百鬼夜行』4部作を完全収録。

◎人は生まれ変わっても人だ、と水木しげる先生は仰った。来世も是非人間で、こういう妖怪たちを眺めていたい。(J池袋・松岡)



情念が形になる、昇華の美しさ

輝く肌を持つ少女たちが遊ぶ

上田風子作品集
LUCID DREAM

上田風子著

芸術新聞社●定価2,835円●2011年2月刊

●ISBN978-4-87586-300-7

愁いに満ちた少女を幻想的な世界の中に描き出す画家・上田風子。その初期から最新作まで89点を収録した初の作品集。

☞「LUCID DREAM」は「明晰夢(めいせきむ)」、正気の夢。絵の中の少女たちは、自ら作り上げた夢の中で生き生きと生きて、現実に戻りたくないかのような、うつろな目つきをしている。色彩輝く夢の世界。(J渋谷・石田)

ツリーハウス

ロナルド・トルマン、マライヤ・トルマン著

西村書店●定価1,680円

●2012年6月刊

●ISBN978-4-89013-931-6

木の上の家からうまれる不思議な物語。ボローニャ・ラガッツィ賞など世界各国で受賞した、芸術性あふれる文字のない絵本。

☞自然とみんなが集ってくることは、きっととても幸せな場所なのでしょう。(J池袋・富塚)



動物たちも心躍るツリーハウス

十文字美信の仕事と周辺

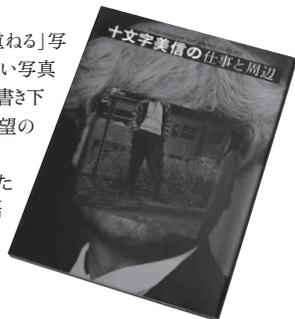
十文字美信著

六耀社●定価2,940円●2000年10月刊

●ISBN978-4-89737-357-7

「ものを見ることに工夫を重ねる」写真家・十文字の姿が、力強い写真作品と9つのエッセイ(すべて書き下ろし)から浮かび上がる。待望の一冊。

☞巧みに物語性を内在した広告写真は、商品に、物語の原点である神話に対する畏怖のような価値を付随させた。(J吉祥寺・大内)



人は商品の中に物語を求める

棚田康司作品集 たちのぼる。

棚田康司著

青幻舎●定価2,625円●2012年10月刊

●ISBN978-4-86152-366-3



「人間」、そして「少女少女」を彫り続けてきた彫刻家、棚田康司。90年代の初期作品から最新作までを収録。

☞一度見たらなかなか忘れられない作品。その内側に秘められた作者の想いを感じ取りたい。(J池袋・小林)

圧倒的なインパクト

ペンギンブックスのデザイン
1935-2005

フィル・ペインズ著

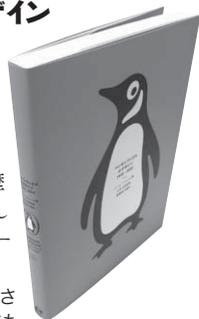
スペースシャワーネットワーク

●定価2,940円●2010年03月刊

●ISBN978-4-86020-378-8

英国の出版社ペンギンブックスの歴史、功績、そしてデザイン批評の話をしながら、500点を超える図版をカラーで紹介する。

☞ご存知ペンギンマークの愛らしさと美しい表紙は、たとえ読めなくても眺めていて飽きない。表紙との出会いが、新しい文芸との縁を取り持ってくれる幸せ。(M日本橋・関根)



世界一有名なペンギン

Teddy Bear

シュタイフテディベアの世界

シュタイフミュージアム監修

日本玩具文化財団編著

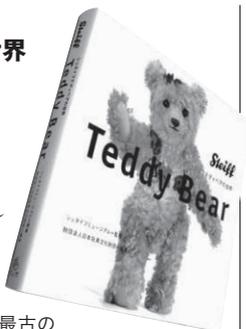
クレオ●定価1,680円

●2011年7月刊

●ISBN978-4-87736-132-7

テディベア生誕110年を記念して編纂。200体のテディベアとその仲間たちが織り成す平和の世界へ。シュタイフ社公認!

☞今もなお愛され続ける世界最古のぬいぐるみメーカー、シュタイフ社のテディベア作品集。可愛い子達がいっぱいです。(J池袋・富塚)



蒸気機関車讃歌 白い息遣い

山岸起一郎著

クレオ●定価2,940円●2011年10月刊

●ISBN978-4-87736-133-4

2012年第46回造本装幀コンクール文部科学大臣賞、New York Book Festival写真集部門特別賞、London Book Festival / 写真集部門準優勝各賞受賞の著者初の作品集。

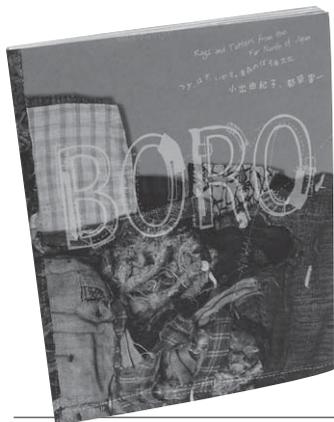
☞北海道の雪山のなかを走る蒸気機関車の白い蒸気は、まさにカメラを構えた著者の吐く白い息にみえてくる。(J池袋・鎌田)



ゲーテントーク・テディベア

鉄道への思いと息遣いの1冊

アンチ断捨離! もう全部とっておく!



BORO つぎ、はぎ、いかす。青森のほろ布文化

小出由紀子・都築響一編

アスペクト●定価3,360円●2009年1月刊●ISBN978-4-7572-1596-2

昭和40年代から青森県内の山・農・漁村を歩き回り、布と人との愛のあかしを保存してきた田中忠三郎さんのコレクションである。

☞物質の修繕を行った時、カタルシスが人間を包んだに違いない! ファストファッションに目が眩んだ現代日本に一喝してくれる1冊。(J池袋・松岡)

昭和のレコードデザイン集

山口・Gucci・佳宏・鈴木啓之著

スペースシャワーネットワーク

●定価2,100円●2011年10月刊

●ISBN978-4-906700-01-1

ユニークな国産レコードのグラフィック。可愛らしく、美しい、優れた図案を集めました。ブックデザインは大原大次郎。

☞ジャンルも売れた売れないも関係なくセレクト。色合いや構図、手書きタイポに当時の日本の空気感を感じる。(J福岡・宮辺)



劇画師伝説

昭和の天才劇画家・植木金矢の世界

松本品子編

国書刊行会●定価2,940円

●2011年12月刊

●ISBN978-4-336-05454-8

昭和30年代から40年代、少年誌・青年誌を総なめにした伝説の劇画作家、植木金矢。その画業を初めて集めた美麗な大全集。

☞時代活劇ファンをして「作品が記憶の中で映画と混同されている」とまで言わせた作家、植木金矢。絵画と映像の交り合う先に彼が見たものとは。(J池袋・松岡)



高度経済成長期の日本を象徴

映画スターの「その先」をも描いた劇画師

透明人間⇄再出発

谷郁雄・詩 青山裕谷・写真

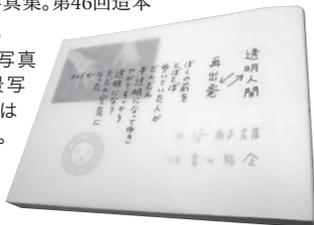
ミシマ社●定価2,625円●2011年12月刊

●ISBN978-4-903908-31-1

全ページ詩と写真を重ねることで「透明人間」と「再出発」、二つの視点を宿した詩写真集。第46回造本装幀コンクール受賞。

カラーの女性の写真が、モノクロの風景写真に変わってゆく様は何を暗喩しているか。震災の後の空気を、詩、写真、装丁が見事に表現。

(J池袋・松岡)



遠くなくても近くにいられるよう

十二世紀のアニメーション

国宝絵巻物に見る映画的・アニメ的なもの

高畑勲著

徳間書店●定価3,780円

●1999年3月刊

●ISBN978-4-19-860971-9

日本を代表するアニメーション監督が「信貴山縁起絵巻」「伴大納言絵詞」「鳥獣人物戯画」など、

平安時代の絵巻物の驚くべき動きの魔術を解き明かす。動き出しそうな絵の躍動感と奇想天外なストーリー展開の面白さは、まさに現代のアニメーションのルーツ。

(M日本橋・石田)



アニメの原点は絵巻物にあった

沖縄文化論(中公文庫)

岡本太郎著

中央公論新社●定価720円●1996年6月刊

●ISBN978-4-12-202620-9

苛酷な歴史に翻弄されつつも古代日本の息吹を今日まで伝える沖縄文化。その源に潜む島民の魂を画家の眼で捉えた名著である。

太郎の言葉を、ナショナリズムや民族賛美と誤解してはいけない。表層の戯れではない、底から湧きあがる様な生命力こそに彼は言及しているのだ。

(J池袋・下田)



太郎が見た、人間生活の原風景

北京1966

フランス女性が見た文化大革命

ソランジュ・ブラン著 下澤和義・土屋昌明編訳

勉誠出版●定価3,360円●2012年12月刊

●ISBN978-4-585-22046-6

1966年、文化大革命期の北京。新聞やプロパガンダの映像とは異なる、都市、そしてそこで暮らす民衆の素顔を記録した写真集。

人々の視線に圧倒される。現代の日中関係を学ぶうえでも、半世紀前の彼らのたたくまいが重要であることは間違いない。

(J池袋・松岡)



イメージの断片群がもたらす類似と振動

夢の狂演が、今はじまる

怪談

ヤン・シュヴァンクマイエル画

ラフカディオ・ハーン著 平井呈一訳

国書刊行会●定価2,940円●2011年7月刊

●ISBN978-4-336-05348-0

チェコの映画監督シュヴァンクマイエルの描き下ろし挿画により、ラフカディオ・ハーンの『怪談』が全く新しい相貌のもとに甦る!

ハーンが紡いだ怪奇譚を現代の錬金術師シュヴァンクマイエルが怪しく彩る。

闇が色濃い静かな夜にこっそり開いて楽しみたい。(M八尾・大西)



エル・グレコのまどろみ

ジャン・ルイ・シェフェール著

與謝野文子訳

現代思潮新社●定価2,730円

●2010年12月刊

●ISBN978-4-32901-019-3

現代フランスの極めて独

創的な美術評論家によ

って書かれた、グレ

コをめぐる繊細にして特

異なる美術エッセー

◎難解では無いけれど一読ではつかみ

きれない、エル・グレコの絵のような哲学と絵画の不思議

なゆらめき。(J池袋・鈴木)



クリスチャン・ホルタンスキーの 可能な人生

クリスチャンホルタンスキー・カトリヌグルニエ共著

飛田陽子編 佐藤京子訳

水声社●定価4,725円●2010年7月刊

●ISBN978-4-89176-789-1

今日のフランス美術の代表者が気鋭

の美術評論家を相手に自らの生と

作品の全てを語り下ろす。

◎「僕には嘘が、一種の距

離が必要なんだ」。自らに

ついて饒舌に語るホルタ

ンスキーだが、彼のこの言

葉の意味にこそ、注視して頂きた

い。(J池袋・下田)



ゆらめくイメージと文体と。

真実であり、そして嘘でもある、「彼」の姿。

繰 り 返 し 甦 る 死 の 島 と い う 皮 肉



ベックリオン 死の島

フランツ・ツェルガー著 高阪一治訳

三元社●定価2,310円●2008年8月刊

●ISBN978-4-88303-233-4

古典的神秘を讃えたこの島は都市文明からの最後の
逃走の地、画家の夢想した自らの埋葬地であり、
西洋文化の最後の調べであった。

◎ヒトラー、マクベス、原爆。死の島に人々はなぜ
惹きつけられるのか、壊滅を島という土地の物語
に変換した画家の執念。(J池袋・松岡)

機械仕掛けの歌姫

19世紀フランスにおける女性・声・人工性

フェリシア・ミラー・フランク著 大串尚代訳

東洋書林●定価3,990円●2010年2月

刊

●ISBN978-4-88721-768-3

人造美女への誘惑を、「声」を観
点として検証を試みた先駆的研究。高山宏氏に「聴覚文化論の
待望の名著」といわせしめた1冊。

◎小説、戯曲、哲学…様々な側
面から声を掘り下げる。ポカロ、
アイマス文化を意識して読むの
も◎。(J池袋・松岡)



少女の不毛性は想定済だった!?

クリスチャン・ホルタンスキー 死者のモニュメント

湯沢英彦著 鈴木宏編

水声社●定価4,725円

●2004年7月刊

●ISBN978-4-89176-519-4

写真・古着のインスタレーシ

ョンで、〈名もなき者たち〉の記憶

の可能性を問いつけてきたフ

ランスの美術家をめぐる初の本格

的モノグラフィ。

◎記憶というものがある以上、つ

いてまわる不都合も喜びも、内包するこ

との恐ろしさを表した書籍。(J池袋・松岡)



ホルタンスキー「自身」が表した物とは

思い出プリント大百科

宇山あゆみ著

新紀元社●定価1,890円

●2004年6月刊

●ISBN978-4-7753-0265-1

昭和30～50年代の生地(布団・着物・洋服)、折り紙、包装紙コレクション。デザイン創世記の活気に満ちたプリント柄が満載。

♡ウサギちゃんにお人形さん、フルーツに、お花!!! キュートの連続! ああ、もう、キューンってなっちゃいます!!! (M&J梅田・都築)



かわいって言うのはこういう事!!

近代ニッポン「しおり」大図鑑

山田俊幸監修 羽島知之編 竹内貴久雄編

国書刊行会●定価3,675円●2011年11月刊

●ISBN978-4-336-05370-1

明治から戦後に到る「しおり」のキッシュで楽しい大図鑑! 忘れられていた豊かなビジュアル世界がオールカラーで甦る。

♡近代日本のノスタルジックなしおりが満載。素敵なデザインやしおりは、書籍をより味わい深いものにしてくれる魔法の調味料である。(J梅田ヒルトンプラザ・上出)



たかがしおり、されどしおり

謎解き浮世絵叢書

歌川広重 保永堂版 東海道五拾三次

町田市立国際版画美術館監修

二玄社●定価2,100円●2010年10月刊

●ISBN978-4-544-21201-3

謎掛けスタイルの見出しを設け、部分拡大図と解説を交えて「東海道五十三次」の見どころを紹介。傑作の秘密に細部から迫る。

♡多くの画家が描いた東海道の中でも、最高傑作と言われる広重の保永堂版。拡大した作品を覗けば、更なる面白さに出会えます。(J天満橋・照井)



東海道と55の謎

パンダとバンビは笑ってる?



パンダとバンビ

宇山あゆみ著

新紀元社●定価1,680円●2011年6月刊

●ISBN978-4-7753-0637-6

昭和の子どもたちのアイドル、パンダとバンビ。この2大キャラクターと共に過ごした幼少時代の懐かしい思い出話とコレクション。

♡なつかしさ、かわいらしさ、いとしさ、変わらないいやわらかな空気。笑って見えるパンダとバンビはパステルカラーの笑顔で待ってるよ。(M&J梅田・都築)

謎解き浮世絵叢書

三代豊国・初代広重 双筆五十三次

町田市立国際版画美術館監修

二玄社●定価2,100円●2011年10月刊

●ISBN978-4-544-21205-1

広重の風景、豊国の人物。二人の名人が合作した「東海道五十三次」に描かれる風俗や伝説を読み解き、鑑賞のポイントを指示する。

♡主役を豊国の描く人物画とし、「背景」に徹した広重が描く控えめな風景。保永堂版と比較しながら見るのもまた面白い。(J天満橋・照井)



巨匠がタッグを組んで東海道に挑む!

まだよく知らない、芸術の世界に 足を踏みこめる

MARUZEN& ジュンク堂 札幌店

柏木花恵 Hanae Kashiwagi

私が芸術書担当に成りたてで芸術書のこともよく分からない、でもフェアの企画を考えなければならなかった時、とりあえず近くの美術館の展覧会情報と思い、たどり着いたのが、2009年に開催された「セザンヌ主義」。

画家の名前は聞いたことがあるが、どんな絵を描いている人だろうと思い、本をめくってみると見覚えのある絵が1作品あった。高校時代の選択授業で美術を専攻していた時、油絵の模写授業で描いた作品がセザンヌの作品でした。

自分が初めて油絵で模写をした作品がセザンヌ。ちょっとした嬉しさと親近感。でも本の選定をしていると、広いフェア台ではセザンヌのみの本では足りない。展覧会に出品される関連の画家たちの作品を寄り集めるために、ゴッホやゴーギャンの商品も選定しました。

その中には、今回紹介した「ポール・セザンヌ《サント・ヴィクトワール山》」（ゴットフリート・ベーム著・三元社）も入っています。

この本は、今までのセザンヌ作品を画家の主題と違う意味で理解していたんですよ。と気付かされる1冊。晩年の主作品を例にとって、見る側がもっと作品と画家に近づけるように導いてくれます。ある意味これまでとは批判的な解釈をしているので、新しい視点で読んでいける内容です。

フェアをするときは、同じような本を集めてしまっては面白くない。それもじっくり選んでもらうにはいいのですが、中には少し色の違う本も入りたい。そう考えて入れてみた本。入門書ではないので、なかなかすぐ購買にはつながらないけ



書店員のオススメ

ポール・セザンヌ 《サント・ヴィクトワール山》

ゴットフリート・ベーム著 岩城見一・實淵洋次訳
三元社●定価 2,730 円●2007 年 12 月刊

● ISBN978-4-88303-216-7

近代芸術の父といわれた、ポール・セザンヌ。従来のセザンヌ理解を覆す、視点を変えて作品を徹底的に見る。ということに焦点をおいた本。「サント・ヴィクトワール山」という限定された晩年の主題の中で、セザンヌの「自分が見ているかのように絵画で表現する」。それが今の私たちに伝わるように、絵画との距離を縮めてくれるかのように、著者が分かりやすく解説してくれています。

れど、こういう本もありますよ、と知ってもらえたらと思い選定しています。

そして、フェアの選定をしながら思うことは、自分でもまだよく知らない芸術の世界に足を踏みこむことができる。膨大な本の中から目的を決めて本を選ぶことは、難しいけれど毎日勉強です。

5 技術

technology

手品にタネがあるように、美術にも、
それを可能にする「技術」が必ず存在しています。
まるで魔法のようにこの世界にあらわれる絵画も写真も、
人間がつくりだした「技術」の産物です。
人間たちはそのような「技術」を必死に習得し、それを伝え、
体系化することを繰り返してきたのです。
この章では、そんな美術における「技術」のあり方を
考えさせてくれるような書籍や、
「技術」そのものについて教えてくれる書籍たちを、ご紹介しましょう。

山口晃大画面作品集

山口晃著

青幻舎●定価3,990円●2012年11月刊

●ISBN978-4-86152-367-0

著者の圧倒的超絶技巧と細部描写を堪能できる超大画面作品集。時空混在の都市図、最新作平等院襖絵から人気の武者絵まで。

㊦圧倒的超絶技巧によって「日本で絵画を描くことの正統性」を装置化した作品の数々。榎木野衣による寄稿が印象的。(M&J札幌・柏木)



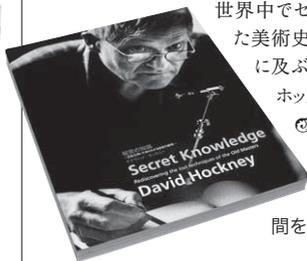
秘密の知識

巨匠も用いた知られざる技術の解明

デイヴィッド・ホックニー著

青幻舎●定価6,825円●2010年11月刊

●ISBN978-4-86152-257-4



世界中でセンセーションを巻き起こした美術史における新発見。500点に及ぶ絵画やスケッチの複製がホックニーの解説とともに掲載。

㊦最高の謎解きが今始まる! 光学機器は1400年代に実在したか? ホックニー先生と共に、空間を旅しよう。(J池袋・松岡)

8年ぶり、待望の最新作品集

リアリズム絵画入門

野田弘志著

芸術新聞社●定価2,625円●2010年2月刊

●ISBN978-4-87586-190-4

リアリズム絵画とは目に映るものの存在感までも描き出す試み。その第一人者が、画報および思想、哲学を集大成した本格的指南書。

㊦絵がうまくなるには、物をよく観察することが大切。その先の自分にしか見えない何かを捉えるのが、リアリズム絵画。(M丸の内・高津)



遠近法の発見

辻茂著

現代企画室●定価3,150円●1996年12月刊

●ISBN978-4-7738-9615-2

無限の空間を平面に表わすことに挑んだ芸術家の情熱と科学的な探究心が遠近法を見いだした。明かされる遠近法のすべて。

㊦上部に空白を残したレイアウトは地平線を意識したものか。とにかく装丁が素晴らしい。理論書でありながらここまでキレキレなデザインの書籍があったとは。(J池袋・松岡)



リアリズムのリアルを追求する

文章も線であったことに気付く。

細密描写で独自の世界を展開する



technology

技術

池田学画集1

池田学著

羽鳥書店●定価3,990円●2010年12月刊●ISBN978-4-904702-18-5

超細密なペン画で観る者を圧倒してきた池田学の初画集。繊細なディテールが構築する壮大な宇宙。

㊦奥行きがあるのかないのかわからない画面。見慣れたモチーフを細密に描きつつ、全体は壮大なスケールで見るものを圧倒。絵の世界に引き込む。(M御茶ノ水・関根)

浮世絵「名所江戸百景」復刻物語

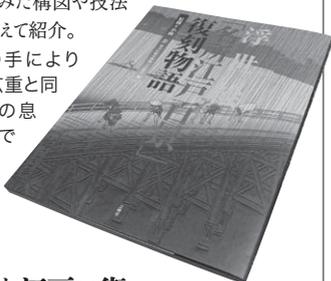
小林忠監修 東京伝統木版画工芸協会編

芸艸堂●定価2,100円●2005年3月刊

●ISBN978-4-7538-0207-4

広重の傑作風景シリーズ120枚を現代の職人が6年余をかけて復刻。広重が試みた構図や技法の工夫を職人話を交えて紹介。

㊦現代の名工達の手により蘇った風景からは広重と同時代を生きた人々の息遣いやその想いまでもが立ちのぼってくる。(J京都・谷野)



蘇る広重が見た江戸の街

鳥獣略画式

鍬形蕙斎著

芸艸堂●定価1,680円●2011年3月刊

●ISBN978-4-7538-1296-7

「北斎漫画」のヒントになったといわれる蕙斎描く「略画式」シリーズ第2弾。ポップで楽しい動物たちのカット集を和綴じ豆本で復刻。

㊦無駄のないスッキリとした筆遣いで、なおかつ動物達をいきいきと描写している。シリーズで揃えたい和綴じ豆本。(M日本橋・石田)



江戸時代のゆるかわカット集

図解 日本画用語事典

東京藝術大学大学院文化財保存学日本画研究室編

東京美術●定価3,675円●2007年5月刊

●ISBN978-4-8087-0819-1

長年の保存修復事業に携わってきた経験を注ぎ込み、現場で切望されていた専門知識をもれなく盛り込んだ画期的な内容。

㊦日本画に関わる方なら絶対に知っておかなければならないことが満載。もっと早く知っていたら、と後悔する前に。

(J池袋・小林)



作品制作から修復作業まで

三体画譜

葛飾北斎著

芸艸堂●定価1,680円●2011年5月刊

●ISBN978-4-7538-0250-0

あらゆる事物を描くことに生涯を尽した北斎が教える三つの描き分けの基本。■真▼行●草の三つの形式にモチーフの描き分けを伝授。

㊦葛飾北斎から、様々な素材の略し方、崩し方を教えてもらえる絵手本。眺めるだけでも楽しめる和綴じの豆本です。(J天満橋・照井)



広重の団扇絵 知られざる浮世絵

奥田敦子監修

芸艸堂●定価10,500円●2010年10月刊

●ISBN978-4-7538-0247-0

広重の団扇絵を初めて集大成し、その詳細な作品総目録となった。江戸の風俗や風景を楽しめる絶好の書!

㊦涼しげな朝顔や桔梗ももちろん良いけれど、江戸名所絵や諸国名所絵がやっぱり面白い。日本の庶民・風物など情緒あふれる。(J京都・関)



団扇に描かれた広重の世界劇。

な
ん
て
贅
沢
な
絵
手
本
!

日本の文様 染めの型紙

熊谷博人編

クレオ●定価2,940円●2006年10月刊

●ISBN978-4-87736-115-0

友禅・小紋・更紗・紅型などの伝統的な染めに用いられた貴重な型紙1000点余収載。詳細な図版解説付。様々なアイデアソースとしても利用できる。

江戸時代に流行し発展した型染めの文様。日本人の洗練された繊細さ、渋さを堪能できる。

(J京都・関)



江戸文様図譜

熊谷博人編著

クレオ●定価2,940円●2007年11月刊

●ISBN978-4-87736-119-8

明治32年刊行の「古代模様式図考」、明治17年刊行「唐草模様無双広益紋帳」の2冊を元にテーマ別に再構成し詳細な解説を付記。

江戸時代の文様であるにも関わらず、全く古臭さを感じさせない模様の数々。その表現の豊富さに驚くばかり。(J池袋・小林)



江戸時代の職人の技術・文様

水墨画・雪景色を描く

卓吾著

秀作社出版●定価5,040円●1997年11月刊

●ISBN978-4-88265-217-5

いわゆる「わび」「さび」あるいは幽玄といった風趣を持つ画境を確立した著者が絶妙の筆さばきで秋田の山奥の雪の詩情を描く。

画から冷気を感じるような作品の数々。表現技法を追求する事で、墨の濃淡で魅せる雪の世界はどこまでも広がる。(M&J梅田・櫻井)



黒と白でしか表せない冬景色

藁の力 民具の心と形

佐藤健一郎・田村善次郎著

淡交社●定価1,835円●1996年3月刊

●ISBN978-4-473-01461-0

ホウキ・ヒフキダケ・マス・ミノ……。

かつての暮らしの中の道具にまつわる民俗の記憶を、文と写真で読み解く。

ものがかつて神様だった時代の風を追体験できるような本。煙、藁、器…造形が記憶や祭祀を表していたときへいつてみよう。(J池袋・松岡)



日本の素朴絵

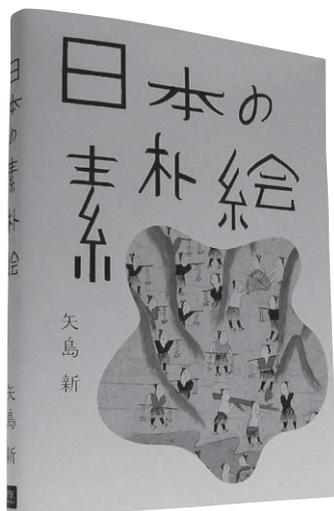
矢島新著

パイインターナショナル●定価2,625円

●2012年10月刊●ISBN978-4-7562-4307-2

稚拙に見えて妙に人の心を惹きつける、おらかな絵。日本で古くから受容されてきた素朴絵の系譜をビジュアルでたどる。

見たらふふっと笑みがこぼれる。いろんな面でゆるい。リラックスできるほのぼのとしたタッチ。また、これも昔からの日本人好み。(J京都・関)



日本人のかわいいもの好みの系譜

鉄道旅情100景

中井精也著

クレオ●定価1,890円●2008年6月刊

●ISBN978-4-87736-122-8

現在テレビ、ラジオで大活躍の鉄道写真家中井精也氏の初の作品集。北から南まで路線ごとのベスト100景。

☞旅は鉄道でするものだ!! 走る鉄道の表情が良い。鉄道は走る。朝も昼も夜も、晴れの日も雪の日も私たちを乗せてどこまでも。さあ、カメラ片手に旅に出よう!

(J渋谷・田村)



線路は続くどこまでも

ゆる鉄

中井精也著

クレオ●定価1,890円●2009年12月刊

●ISBN978-4-87736-128-0

線路の周りには思わず微笑んでしまうようなゆるい鉄道風景がありました、と著者が語るように発売と同時に話題になった写真集。

☞カリスマ鉄道カメラマン中井精也が切り取る鉄道と人。はじめてみるのどこか懐かしい風景。「ゆるいってあったかい」忘れる前に思い出せて良かった。

(J渋谷・田村)



鉄っちゃんの神様!

花の声を聞く

Encyclopedia of Flowers 植物図鑑

東信著 椎木俊介写真

青幻舎●定価3,360円●2012年7月刊●ISBN978-4-86152-355-7

注目のフラワーアーティストによる革新的作品集。1600種以上、数万本の植物を収録。全ての学名を網羅した新たなる「植物図鑑」。

☞フラワーアーティスト・東信による美しくも凶暴な「生」への執着を感じさせる植物図鑑。まるでボタニカルアートの実写版である。(J大分・宮田)



美花選

ピエール=ジョセフ・ルドゥーテ著

河出書房新社●定価14,700円●2010年7月刊

●ISBN978-4-30925-531-6

世界各地の美しい花144点をルドゥーテ自ら選んで収録。当時の原本を底本とした本邦初の実物大高品質印刷の複製版。

☞植物図鑑を美術作品にしたルドゥーテの作品集です。とても温かみのある、柔らかな印象です。(J池袋・富塚)



一瞬にして花々に包まれます

Les Roses バラ図譜

ピエール=ジョセフ・ルドゥーテ著

河出書房新社●定価14,700円●2008年5月刊

●ISBN978-4-30925-519-4

植物画の最高傑作であるルドゥーテ『バラ図譜』を原寸大で復刻。実物初版本の色を高品質印刷で色彩豊かに再現した豪華愛蔵版。

☞ナポレオン妃も寵愛した超精密なバラのスケッチから、彼の写実への執念が見える。美術好きにも生物学好きにも。(J三宮・小松)



植物画の巨匠の代表作

円 En-Circular Vision

奈良原一高著

クレオ●定価3,990円●2004年10月刊

●ISBN978-4-87736-102-0

「写真はい角形」という既成の概念を破り、円という自由な場に表現を見出した著者の画期的な円形写真作品集。

◎円でフレーミングされた写真群が、日常の視覚や見るという行為にゆさぶりをかけてきます。
(J三宮駅前・濱崎)



世界を見るフレームは、円形だ。

顔という切り口からマンガを考える



線が顔になるとき バンドデシネとグラフィックアート

ティエリ・グルンステン著 古永真一訳
人文書院●定価3,360円●2008年8月刊

●ISBN978-4-409-10025-7

バンドデシネやアメリカン・コミックスから、ジャコメッティ、手塚治虫や北斎まで。欧州のマンガ研究家による華麗な解釈を見よ。

◎マンガ、デッサンを題材とした「顔」の図像学。日本ではまだ馴染みの薄い欧米圏のマンガも数多く紹介されている。(M&J札幌・柏木)

創造のたね ドローイングのはなし

小澤基弘・高須賀昌志編著

日本文教出版●定価3,150円

●2011年10月刊

●ISBN978-4-536-60036-1

知覚や思考による創造の

原石であり、新たな

イメージが生まれる

瞬間を宿した「創造

のたね」=ドローイングを通

し創造の本質に迫る。

◎ドローイングが造形の根本理念だからこそ重要なのに、何故今まで無かったのかが不思議な本。大判の版型であるところもミソ。
(J池袋・松岡)



鏡のような表紙は描かれる世界を映す

絵画の教科書

谷川渥監修 小澤基弘・渡邊晃一編著

日本文教出版●定価3,675円●2001年7月刊

●ISBN978-4-7830-1006-7

見開き2頁構成で「絵画」がわかる全

180項目。理論編と技法書が1冊

になった類を見ない、美術愛好

家必携の絵画の入門書。

◎画家が作品を完成とする

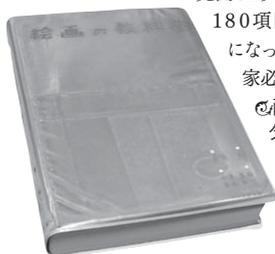
タイミングとは？長年の

疑問に対する納得の答え

がここにありました。絵

画のあれこれが盛り沢

山です！(J天満橋・木下)



絵画のデパート！（まえがきより）

アート・インダストリー

究極のコモディティーを求めて

辛美沙著

美学出版●定価1,680円●2008年11月刊

●ISBN978-4-902078-17-6

アートの世界で仕事をしたいなら、ス

タンドーとなっているルールを知る

ことが不可欠だ。アートワールドの

本質を捉えた一冊。

◎美術関係者の購入する

実用書として、もはや鉄

板。アートの広報等に關

する項など、本当に具

体的で息をのみます。

(J池袋・松岡)



具体例が示してくれる美術業界への道

すじは何だった

色彩デザイン学

三井直樹・三井秀樹共著

六耀社●定価2,940円●2009年5月刊

●ISBN978-4-89737-638-7

どなたでも確実に習得できる色彩デザインの仕組みとデジタルカラーのトレーニング法を紹介。

②アマチュアからプロまで、アナログからデジタルまで。実例をあげわかりやすく解説。色彩学入門書として最適である。(J大分・宮田)



色彩センスを身につけるために

佐々木豊著

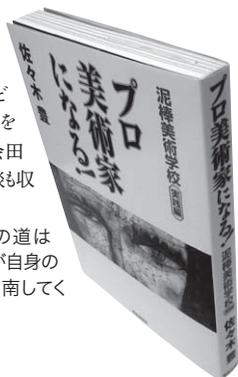
芸術新聞社●定価2,100円

●2008年4月刊

●ISBN978-4-87586-151-5

下積みやデビューの仕方など絵で食べていく方法、事情を生々しく開陳。松井冬子や会田誠、東芋ら14名との本音対談も収録。

②美術を仕事にするための道は一本ではありません。著者が自身の経験を元にプロへの道を指南してくれます。(J天満橋・照井)



美術で食べていくにはどうしたら良いの？

テンペラ画ノート

視覚デザイン研究所編

視覚デザイン研究所●定価2,100円●1990年8月刊

●ISBN978-4-915009-81-5

画材の性質を生かした簡単な表現方法から、現代作家の作品までを掲載。油絵との混合技法や代表的なメディウム作りも紹介。

②油彩には無い絵具の発色、細密描写にすぐれ何百年も色あせないテンペラ。

絵具の製法から油彩との混合技法まで解説。(J鹿兒島・徳田)



古くて新しい・古典技法の定番

造形工作アイデアノート

パンタグラフ著

グラフィック社●定価2,415円●2010年10月刊

●ISBN978-4-76612-1-759

造形工作のプロフェッショナル集団が、商業作品を通じて培ってきた技法を大公開する。工作初心者にも分かりやすく解説している。

②もちろん工作する人たちの為の本ですが、創作の裏舞台を覗いたようなワクワク感と日用品の意外な活用法が楽しい。

(M日本橋・石田)

工作しなくても楽しい



よくわかる今の絵画材料

青木芳昭著

生活の友社●定価4,800円●2011年3月刊

●ISBN978-4-915919-73-2

既存の画材研究の隙間を埋め尽くす徹底的なサーチで、表現素材に対する正しい知識を伝える一冊。

②鮮明な写真で造形製作の要となる樹脂や修復材の特色をこれでもかと羅列！絵具製作者の人となりもわかりすぎるほどにわかる！

(J池袋・松岡)

タモリ倶楽部ファンはハマる1冊!!

建築

板垣鷹穂著

武蔵野美術大学出版局●定価4,800円●2008年10月刊

●ISBN978-4-901631-79-2

パリのオペラ座にはじまり、サン・ピエトロ寺院から時空を超えて東京のオフィス街へ。レトロ・モダンな戦前の建築逍遙。

◎西洋美術史の専門家である著者が、昭和の建築と都市について考察した1冊。建築家ではない視点が一冊。(J池袋・鎌田)



建築と都市の芸術性の証左

北斎漫画図録

葛飾北斎著

芸艸堂●定価1,680円●1998年9月刊

●ISBN978-4-7538-0179-4

ヨーロッパ印象派にも多大な影響を及ぼした江戸後期のベストセラー「北斎漫画」。1500余図を収録。

◎西洋画の巨匠たちにも影響を与えた木版本。当時の風習や流行を知らなくても楽しめる。(J福岡・宮辺)



圧倒される北斎のスケッチ集

新井淳一 布・万華鏡

森山明子著

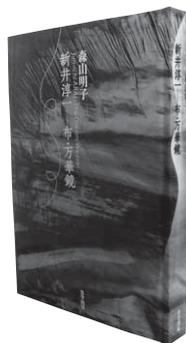
美学出版●定価4,410円

●2012年3月刊

●ISBN978-4-902078-30-5

テキスタイル、ファッションの世界に新しい道を開き、世界的評価を得る「夢を紡ぐ人、夢織人」新井淳一、初の評伝。

◎世界から注目されるテキスタイルデザイナーの驚かされるすばらしい発想の数々に感動します。(J池袋・富塚)



ドリーム・ウィーバー新井淳一

若冲画譜

伊藤若冲著

芸艸堂●定価2,940円●2006年7月刊

●ISBN978-4-7538-0217-3

若冲が描く草花をモチーフとした天井画100図と、幻の本といわれるモノクロの拓版画「玄圃瑤華」、「素鈿帖」全図を掲載。



◎とても簡素に描かれているにもかかわらず、さすがは若冲、と感じさせる仕上がりになっている。(J池袋・小林)

若冲が描くカット集



見るたび新しい発見が！

山口晃作品集

山口晃著

東京大学出版会●定価2,940円●2004年10月刊

●ISBN978-4-13-083100-0

日本美術をたくみに引用しながら、透徹した眼で現代世界を描く画家の第一作品集。時間も空間も横断して人や物が精緻に描かれる。

◎何度見ても「こんなところに!？」と、驚きと楽しみがある作品集。山口さんの作品集を見るときはルーペは必須アイテムです。(M日本橋・石田)

地図帳に墜落するのが大好きだった君へ



NEW TOWN

伊藤存著

リトルモア●定価2,940円●2006年8月刊

●ISBN978-4-89815-180-8

刺繍を生み出す針と糸の運動。生命を持った布。飄々としたユーモアをたたえた文章……国内外で評価される刺繍美術家による作品集の刺繍入門書。

◎楽しすぎて繰り返し巻られ、本がバラバラになる率第一位だった作品集。作品を眼の近くすれすれで見ているかのような感覚の書籍レイアウトもすごい。(J池袋・松岡)

横尾忠則全ポスター

横尾忠則著

国書刊行会●定価12,600円●2010年7月刊

●ISBN978-4-336-05228-5

高校時代の作品から最新作まで、世界のグラフィック界に革新をもたらした横尾忠則の全ポスター約900点を集大成した作品集!

◎横尾忠則の高校時代から現在までのポスター作品を集めた一冊。それぞれの作品に個性がたまっている。(J福岡・米田)



日本を代表する前衛画家

トポグラフィの日本近代 江戸泥絵・横浜写真・芸術写真

佐藤守弘著

青弓社●定価3,780円●2011年3月刊

●ISBN978-4-7872-7300-0

場所を描く視覚表象＝トポグラフィが流通したことで人々は環境をどう意味づけ、消費したのかを解明する視覚文化論。

◎写真と死とは密接に結びついているのではないか? 写真の痕跡論について、深く切り込んだ1冊。(J池袋・松岡)



都市の中にいてそこを体験する表象

横尾忠則コラージュ 1972-2012

横尾忠則著

国書刊行会●定価3,990円●2012年9月刊

●ISBN978-4-336-05523-1



横尾忠則の創作の源泉の一つであるコラージュ作品。これまでに制作された、全コラージュ作品約100点をオールカラーで集大成。

◎美術家・横尾忠則の代表的な手法とも言えるコラージュ作品約100点をオールカラーで収録。混沌とも取れる氏の精神世界を垣間見ることのできる1冊。(J大分・宮田)

現代美術におけるコラージュの重要性

写真のアルケオロジー

ジェフリー・バッチェン著 前川修・佐藤守弘・岩城寛久訳

青弓社●定価5,250円●2010年9月刊

●ISBN978-4-7872-7292-8

写真の発明以前の言説にまで遡り、そこに孕まれた亀裂や矛盾から、写真というメディアに憑依する多様な欲望を浮き彫りにする。

◎写真を撮る「うつす」とはそのまま、「移す」ことでもあった。写真の誕生とロマン主義についての論考は必読。(J池袋・松岡)



写真がこえていくこの世の様々

さて、どうやって展開しようか？

丸善 日本橋店

石田真理 Mari Ishida

「パラパラブックス」がはじめて出たときは、とても楽しく新しいタイプの本だとワクワクしました。他のスタッフと全部を試してみて、絵の動きや仕掛けに興奮したのと、その後「さて、どうやって展開しようか？」と頭をひねったのも覚えています。

芸術書は版型がまちまちで、普段から陳列するのにパズルをしているようなところがありますが、「パラパラブックス」はとても小さくて、普通に平積みすると他の本に埋もれてしまいます。

この本はお客様の目につくところで手に取ってお客様自身で試していただきたいと、仕器を使って高さを出してみたり、目線の高さの棚に階段状に展開してみたりと、いろいろ工夫しました。

他にもイラストを描いたり、工作したりするのがお好きなお客様にも興味を持っていただけるのではないかと、当時よく売れていたイラストの描き方の本と併売したところ、どちらもよく動き、うれしい効果が出たこともありました。

私事ですが、猫好きの知人に『猫のあいさつ』をプレゼントしたところ、「他の友人にもあげたい！」と合計10個ほど注文を受けたことも。ちょっと営業をしている気分になりました。

この本は買った人それぞれの楽しみ方があるのも面白いと思います。速くパラパラして動きを楽しむのもよし、逆再生するのもよし、ゆっくりパ



書店員のオススメ

パラパラブックスシリーズ

青幻舎◎各定価 1,050円～1,260円

その名のとおり、パラパラとページをめくると楽しい、ショート・アニメーションがあらわれます。残像の効果で目が光る『めからかいこうせん』、猫の細やかな動きがかわいいう浅生ハルミン作の『猫のあいさつ』、雪景色の中を疾走する『クリスマスの足音』。どの作品もアイディア満載！

あまり紹介してしまうと、最初の驚きが薄れてしまうので、続きはぜひ店頭でお楽しみください。

ラバラすると見過ごしていたものを発見することもあります。

いつも楽しい技法やしかけで楽しみをくれるこの「パラパラブックス」シリーズは書店員として、いちファンとしても毎回新作が待ち遠しいです。

6 知識

knowledge

何百年、何千年という時間の中で、まるで地層が折り重なる様に、幾重にも積み重ねられてきた美術の歴史。

今では流れ去ってしまった時間のなかにあった美術についても、わたしたちは本を読むことで、「知識」として知ることができます。

本たちが教えてくれるたくさんの「知識」は、

わたしたちの頭のなかの地図をいろいろな形に書き換えてくれます。

この章では、そんな「知識」がたっぷり詰まった書籍たちをご紹介します。

美学辞典

佐々木健一著

東京大学出版会●定価3,990円●1995年3月刊

●ISBN978-4-13-08200-0

美、自然美、芸術、想像力、創造、かたち、価値、美的体験など25の主要な概念を通して、美学体系のすべてを一望する。

◎前の章を飛ばしても理解できるよう計算されたつくり、佐々木先生の上品さが滲む辞典。本当に大好きです。(J池袋・松岡)



白いごはんのような美学の辞典

日本美術の歴史

辻惟雄著

東京大学出版会●2,940円●2005年12月刊

●ISBN978-4-13-082086-8

日本美術の独創的なおもしろさを論じる著者が、縄文からマンガ・アニメまで、360枚の図版とともに日本美術の流れと特質を俯瞰する。

◎日本美術の特徴を「かざり」「あそび」「アニミズム」と捉え、縄文から現代に至るまでの日本の心性の軌跡を辿る。(J盛岡・吉田)



日本の美術はこの一冊から始まる

美術の物語 ポケット版

エルンスト・H・ゴンブリッチ著

ファインズ●定価2,205円●2011年11月刊

●ISBN 978-4-86441-006-9

700万部の売上を誇る、世界で一番売れている美術史本のポケット版。専門用語は一切なく物語のように美術史が展開されている。多くの芸術家に影響を与えてきた本書をポケット版として刊行。

◎美術史家E・H・ゴンブリッチによる美術史の入門書。まるで歴史小説かのごとく「物語」のなかへ入り込める入門書としては最適な1冊。(J大分・宮田)



世界で一番売れている美術の本

深読み!日本写真の超名作100

飯沢耕太郎著

パイ インターナショナル●定価2,625円●2012年1月刊

●ISBN978-4-7562-4181-8

日本の写真は、何と表現力豊かなことか!日本最古から現在までの厳選した写真を、著者の生き生きとした解説とともに紹介。

◎日本人が初めて日本人を撮影した写真から芸術家たちの代表作ともいえる名作の数々を一冊で堪能できる。(J福岡・宮辺)



圧倒的な写真力

知識 knowledge

写

真

は

ア

ー

ト

か

!?

現代写真論

シャールロット・コトトン著

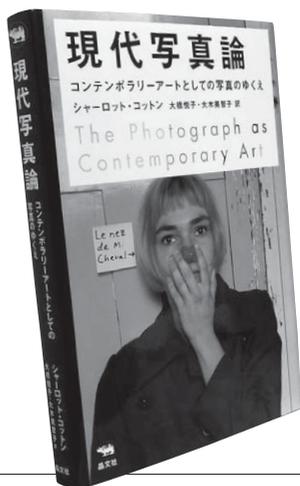
大橋悦子・大木美智子訳

晶文社●定価2,730円●2010年5月刊

●ISBN978-4-7949-6750-3

世界の現代アーティストによる作品243点を収め、歴史的にも美術的にも新しい解釈をあたる無類の写真評論。

◎今、写真について深く理解したいひとにお薦めの最上ツール。図版も多く、現代写真の教科書といってもいい。(J三宮駅前・濱崎)



日本画の「値段」

川崎正継著

淡文社●定価2,100円●2010年2月刊



●ISBN978-4-473-02112-0
京都の老舗画商「鐵齋堂」の主人・川崎正継氏が京都画壇を中心に100名の物故画家の作風・特徴・魅力・相場を紹介した「値段」には理由がある。日本画から感じ取ることでできる時代・味わいの全てを著者の熱のこもった語り口で教えてくれる。(M&J梅田・櫻井)

伝統が息づく京都画壇の実力

藤森照信の茶室学 日本の極小空間の謎

藤森照信著

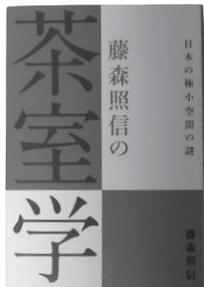
六耀社●定価3,150円

●2012年7月刊

●ISBN978-4-89737-704-9

茶室の始まりから現代の茶室まで、歴史をひも解きつつ、藤森流のオリジナリティ溢れる茶室論を平易な文章で展開。茶室に詳しい人も、詳しくない人も楽しめる。

☞茶を知らなければ茶室について語れない。一流の建築史家で、みずから茶室を手掛ける著者だからこそこの1冊。(J池袋・鎌田)



建築家からみた茶室のすべて

大いなる比較論の試み



日本の美術と世界の美術

前川誠郎著

中央公論美術出版●定価4,410円●2006年8月刊

●ISBN978-4-8055-0528-1

西洋美術史研究の碩学が、我国各時代の美術作品や芸術家を俎上に載せて、関連する西洋美術との比較を試みた読者待望の書。

☞展開されるのは両者の関係性ではなく比較論。これにより、日本美術の独自性を導き出す鮮やかな手腕が光る。(J三宮・小松)

すぐわかる 画家別近代日本絵画の見かた

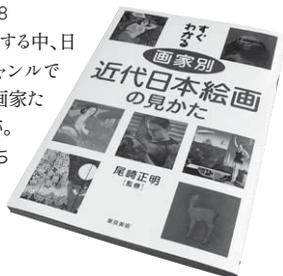
尾崎正明監修

東京美術●定価2,100円●2003年6月刊

●ISBN978-4-8087-0740-8

明治期、西洋絵画が流入する中、日本画・洋画それぞれのジャンルで独自の表現を追い求めた画家たち59人の輝きと苦悩の軌跡。

☞日本の転換期、画家たちが、西洋の美術を日本画に取り入れようと試行錯誤した時代を振り返る一冊。(J天満橋・照井)



日本美術と西洋美術が出会った!

日本宗教美術史

島田裕巳著

芸術新聞社●定価3,465円

●2009年10月刊

●ISBN978-4-87586-186-7

縄文土器、土偶、埴輪、仏像、曼荼羅、神像、キリスト教美術、宗教建築、漫画、現代絵画……。新しい美術との接し方を大胆に提言。

☞多種多様でまとめ難い日本宗教美術を体系化。宗教的観点から見ることで作品の印象も変わる。装丁は千住博。(J三宮・小松)



火焰式土器から手塚治虫まで

芸術の都 パリ大図鑑 建築・美術・デザイン・歴史

ジャン＝マリー・ペルーズ・ド・モンクロ著 三宅理一監訳
西村書店●定価7,140円●2012年7月刊●ISBN978-4-89013-676-6
文化都市パリの2000年に及ぶ美術工芸・建築・都市の膨大な歴史を、700ページを超えるボリュームとオールカラー図版で紹介する。
①一都市の芸術文化だけで図鑑が出来てしまう驚きと、それ故に「芸術の都パリ」と謳われるのだと納得させられる一冊。
(M日本橋・石田)



まさに芸術の都パリ

イタリア巨匠美術館

エレナ・カプレッティ著 森田義之監訳
西村書店●定価4,830円
●2011年10月刊

●ISBN978-4-89013-667-4
イタリア美術の黄金期、14～18世紀から画家・彫刻家52人を厳選し、鮮やかなカラー図版とともにその略歴・作品を紹介する精選画集。



①小国の集まりだったイタリアを、国境を越え席卷したルネサンスの力強さと、その土壌、そして発展の歴史。(J池袋・鈴木)

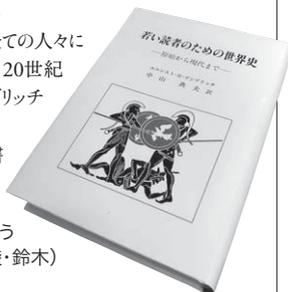
めくるめくイタリア美術史

若い読者のための世界史 原始から現代まで

エルンスト・H・ゴンブリッチ著 中山典夫訳
中央公論美術出版●定価3,990円●2004年12月刊
●ISBN978-4-8055-0476-5

未来への希望を求有する全ての人々にやさしく語りかける世界史。20世紀を代表する美術史家ゴンブリッチ25歳の処女作。

①いささか古い観点から書かれた歴史かもしれないが、教科書より世界の相互関係がわかり易いという一点は揺るがない。(J池袋・鈴木)



もちろん若くなくても読むべき一冊。

アルベルティ 絵画論《改訂新版》

三輪福松訳
中央公論美術出版●定価2,625円●2011年9月刊



●ISBN978-4-8055-0675-2
ルネサンス芸術の原理「空間の認識」の方法を具体的に表した本書は、西洋芸術の特質を正しく理解する上での必読の書。
①「白と黒」は色彩ではない等、マッチョすぎる理論に尻込みせずむしるぶづかつて読め!美を追求する姿勢を鍛え直してくる。(J池袋・松岡)

君の必要とするだけ増せ、白と黒を

知性の眼 イタリア美術史七講

小佐野重利著
中央公論美術出版●定価2,940円●2007年4月刊
●ISBN978-4-8055-0543-4

ルネサンス美術史研究を代表する著者による「視覚の時代」—15世紀イタリア美術を軸に、西洋美術を堪能する「扉」となる7つの思索。

①15世紀イタリア絵画に潜む、文学、政治、歴史の痕跡。一枚の絵画が一冊の本のごとく読み解かれる様に感嘆。(J池袋・鈴木)



絵画と世界のスリリングな関係

アレティーノまたは絵画問答 ヴェネツィア・ルネサンスの絵画論

ロドヴィーコ・ドルチェ著 森田義之・越川倫明訳・解説
中央公論美術出版●定価5,040円

●2006年5月刊

●ISBN978-4-8055-0521-2

ヴァザーリ『美術家列伝』に対抗して執筆された、16世紀ヴェネツィア芸術の特質を論争的対話形式で論じたルネサンス絵画論。

☞これが16世紀に書かれた絵画論とは思えない。問答形式は緊迫感があって、現代絵画にも通じていると思う。(J池袋・鈴木)



フィレンツェ VS ヴェネツィア

美術史学の歴史

ワード・クルターマン著 勝國興・高阪一治訳
中央公論美術出版●定価29,400円●1996年5月刊

●ISBN978-4-8055-0289-1

プラトンの古代から20世紀に至るまでの美術史学について通史的に辿った世界初の美術史家人名辞典。美術史研究者必携の書。

☞列伝史から様式論、イコノロジー、フェミニズムへ……総括して様々な概念がどうして制度化されていったのかについても学べる1冊。(J池袋・松岡)



美術史家は新たな問題を設定できる？

美術史「ウィーン学派」

J・v・シュロツァー著 細井雄介訳

中央公論美術出版●定価3,990円●2000年11月刊

●ISBN978-4-8055-0393-5

美術史の中の美術史とも呼ぶべき研究の中核を形成し、優れた人材を多数輩出したウィーン学派の学問的業績を詳細かつ客観的に論述。

☞専門家でないで存在すら知らないかも知れない「ウィーン学派」。芸術史研究の最先端を紹介してくれる。(J池袋・鈴木)



時間の前で

美術史とイメージのアナクロニズム

ジョルジュ・ディティ＝ユベルマン著

小野康男・三小田祥久訳

法政大学出版局●定価3,990円

●2012年6月刊

●ISBN978-4-588-00975-4

ベンヤミン、アインシュタイン、ヴァールブルク…。大文字の〈歴史〉の破局のなかで出現した知の星座は美術史に何をもたらしたか
☞アインシュタインの仕事を考える上でも貴重な1冊。ベンヤミンと図らずも似た生涯を辿った彼に、ユベルマンが迫る。(J池袋・松岡)



座標軸を持つ重要性を教えてくれる

影の歴史

ヴィクトル・L・ストイキツァ著 岡田温司・西田兼訳

平凡社●定価4,830円●2008年8月刊

●ISBN978-4-582-70270-5

絵画の歴史と不可分にも関わらず、断片的にしか扱われてこなかった影の歴史を、芸術表現との関連で初めて包括的にまとめた名著。

☞絵画の歴史とは切っても切れない「影」という領域を美術の分野にとどまらず様々な学問を通して言及している。(J大分・宮田)



影とはすなわち原初の絵画である

今後は複合的なポートフォリオの時代へ



はじめての編集

菅付雅信著

アルテスパブリッシング◎定価1,890円

◎2012年1月刊◎ISBN978-4-903951-48-5

各界から大絶賛のベストセラー！ 第一線の編集者が豊富な経験と事例から編集の仕組みと魅力を解き明かす21世紀の編集入門書。

◎編集するために、切ってゆくのではなく広げてゆくことの大事さ。ミニコミ製作者にも是非読んでほしい。(J池袋・松岡)

たのしい写真 よい子のための写真教室

ホンマタカシ著

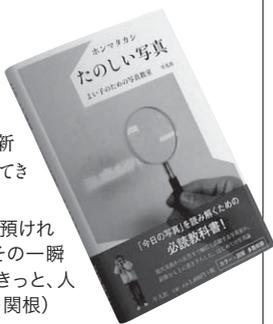
平凡社◎定価1,680円

◎2009年5月刊

◎ISBN978-4-582-23117-5

写真は真実を写すものではない、ポストカードから始めよう。新世代の写真表現を切り拓いてきた第一人者による写真教室。

◎「風景やその一瞬に体を預ければいい」カメラがなくてもその一瞬は感じられる。その一瞬がきっと、人生を豊かにする。(日本橋・関根)



写真を撮らない人も必読

海賊のジレンマ

ユースカルチャーがいかにして

資本主義を作ったか

マット・メイソン著

玉川千絵子・八田真行・鈴木杏子・鳴戸麻子訳

フィルムアート社◎定価2,730円◎2012年7月刊

◎ISBN 978-4-8459-1288-9

既成概念を揺さぶれ！アイデアを凝らした自由な精神で神出鬼没に跳梁する、イノベーションの主演＝“海賊”たちの物語。

◎愉快犯的にメディア環境を乗りこなし、いつのまにか社会を変えていく“海賊”たち。ポップな想像力は、如何に世界を塗り替えたのか。(J池袋・下田)

ポップ文化が世界を揺さぶる



映像作家サバイバル入門

自分で作る／広める／回収するために

松江哲明著

フィルムアート社◎定価1,890円

◎2011年11月刊

◎ISBN 978-4-8459-1182-0

映画制作過程、流通や販促、決算報告、そして自身の作品への想い。松江哲明が赤裸々に書下ろす。自主的に行動する全ての人へ。

◎いわゆる商業映画の対極にある自主映画。映画の作り方だけでなく、その先の伝え方までを監督自らが熱く語った一冊。

(MJ梅田・飯塚)



自主映画で生き残る為のバイブル

写真論

スーザン・ソントグ著

晶文社◎定価1,680円

◎1979年4月刊

◎ISBN978-4-7949-5866-2

写真がわれわれの意識を支配し、現代文化の隠れた構造を決定づけていることを分析する、最もラディカルな批評家の本格的写真文化論。

◎世界を映像の形で所有することの恐ろしさ。もういない彼女が3・11を見たら、どう思うか考えずにはいられない。(J池袋・松岡)



荒野に立った時も私たちは撮られる

すぐわかる楽しい江戸の浮世絵

辻惟雄・浅野秀剛監修

東京美術●定価1,890円●2008年9月刊

●ISBN978-4-8087-0856-6

パンフ、新聞、ゲーム、おもちゃ、お守り……。美術品というよりはメディアや実用品として活躍した浮世絵を、用途別に3人のナビがご案内!

江戸の人々にとって、浮世絵とは何だったのか。新たな視点から浮世絵を見るために、最適の一冊。
(J天満橋・照井)



見るだけじゃなかった!

日本美術史ハンドブック

辻惟雄・泉武夫編

新書館●定価2,100円

●2009年2月刊

●ISBN978-4-403-25098-9

日本美術の特徴を「かざり」「あそび」「アニミズム」と捉え、歴史上欠かすことのできない傑作263点をオールカラーで紹介。

大学受験にも出るような美術史の基礎知識に、一歩踏み込んだ詳細な解説が充実。中学・高校生にもオススメ。
(J三宮・小松)



「基本」の一步先を網羅

浮世絵の見方

松井英男著

誠文堂新光社●2,310円●2012年8月刊

●ISBN978-4-416-81177-1

豊富な浮世絵のビジュアルを通して理解する浮世絵の歴史を1冊にまとめたガイドブック。浮世絵鑑賞の前に知りたい知識を満載。

浮世絵師それぞれのおみやがりなどその表現から感じられ、ページをいったりきたりする楽しみがある。

(J京都・関)



豊富な資料で浮世絵師を紹介

新版 美／学

酒井紀幸・山本恵子編著

大学教育出版●定価2,100円

●2009年7月刊

●ISBN978-4-88730-908-1

簡単には捉え尽くすことはできない、文化という壮大な精神的ネットワークを解きほぐしながら、美と美学のあり方を捉え直す。

初心者にも読み易いつくり。古典文献の引用が多く、まさにこれから学びたい人にとっては1冊で何回もおいしい書籍。
(J池袋・松岡)



美学の思想体系を基礎から押さえる!



美術史と他者

島本浣・加須屋誠編

晃洋書房●定価3,045円●2000年1月刊

●ISBN978-4-7710-1068-0

日米豪の美術史、文化史の最高峰の研究者が「病草紙とまなざし」「日本人離れ」などを問題化し、美術史の新しい見方を提案する。

他者を意識することは自己を見つめ直すことである。多くの事例が浮かび上がらせる物語絵画テキストの読み方。(J池袋・松岡)

まなざしの反響が映し出す物語性

京の美学者たち

神林恒道 編著

晃洋書房●定価3,150円

●2006年10月刊

●ISBN978-4-7710-1777-1

美学により導かれた美意識の近代化、変革が京都の地でなされた過程を、「美の思索者」の眼差しを通じて重層的に浮き彫りにする。

◎日本発フルアニメの父、政岡憲三の項が面白い。映像と音楽のつながりにとめた彼の功績を、すかさず秋山邦晴が評価。(J池袋・松岡)



書 戦後六十年の軌跡

田宮文平監修

美術年鑑社●定価3,465円●2005年10月刊

●ISBN978-4-89210-164-9

戦後書壇を再興した巨匠から現代の新鋭まで、1800点の作品と論考で、書の60年の歩みとともに現代書の全貌を解き明かす。

◎長い長い書道史の中でも、今ほど表現が豊かな時代は無いだろう。書道の無限の可能性を感じることができる一冊。(J池袋・小林)



京都という地が生んだ放射光たち

水墨画II

辻惟雄監修

美術年鑑社●定価4,725円●2010年10月刊

●ISBN978-4-89210-185-4



雪舟、等伯、蕪村、大雅、大観、栖鳳、加山又造、平山郁夫、など国宝・重文含む、カラー・単色図版、充実の水墨画を紹介

◎水墨画は決して派手ではない。しかし、水墨画には洋画とはまた違った繊細さ、美しさがある。(J池袋・小林)

水墨画の可能性を感じる一冊

現代書道史まるわかり

世界の名画 1000の偉業

ヴィクトリア・チャールズ他著

二玄社●定価6,300円●2006年10月刊

●ISBN978-4-544-02098-4

13世紀から20世紀に至るまで、西欧を代表する千の名画を精細なカラー図版で再現し、一冊に収めた画期的な西洋絵画大全。



◎時代別になっているので時代の移り変わりを感じながら堪能できるガイドブック。(J池袋・富塚)

コンパクトな美術館

自宅に居ながら美術館鑑賞



世界の美術

アンドリュー・グラハム=ディクソン監修 樺山紘一日本語版監修

河出書房新社●13,650円●2009年10月刊●ISBN978-4-309-25523-1

世界の美術を1冊に凝縮。主要作品は、見開きで大きな図版を掲載し、技法・構成・意図などを詳述。美術ガイドの決定版。

◎ジャンル分けされていて、とても見易く見応えのあるヴィジュアルガイドです。(J池袋・富塚)

名画の言い分

木村泰司著

集英社●定価2,400円

●2007年7月刊

●ISBN978-4-08-781374-6

美術館や展覧会が、100倍楽しくなる!海外で正統派西洋美術史を学んだ、木村泰司の初の著書!独特の視点と魅力溢れる話術で名画を解説。

♡好きか嫌いか、感覚で判断するのも美術の見方としてはありだけど、描かれた時代背景がわかればもっと美術はおもしろい。(M丸の内・板橋)



イタリアルネサンス事典

J.R.ヘイル編 中森義宗監訳

東信堂●定価8,190円

●2003年11月刊

●ISBN978-4-88713-490-4

大小項目920と貴重な図版237を通じ生き生きと伝える、14-16世紀の美術・歴史・政治・宗教・哲学・文学・科学。

♡商人、数学者、修道士…この時代、彼らが「芸術家」でありえた背景を辿る。読むほどに「統一」という概念の大きさを感じる。(J池袋・松岡)



名画だって、知ってもらいたい!

世界をひとつにしようとした人々



西洋美学史

小田部胤久著

東京大学出版会●定価2,940円●2009年5月刊

●ISBN978-4-13-012058-6

古代ギリシアから20世紀まで、「芸術」の考え方が変化した歴史を描きます。アートや美について考えるための最適な一冊。

♡今日、芸術は単に美しいものであるとはいえな。古代から20世紀にいたる哲学を踏まえ、芸術を考える知恵を与えてくれる書である。

(M丸の内・工藤)

芸術の概念の変化の歴史を学ぶ

まなざしのレッスン

①西洋伝統絵画

三浦篤著

東京大学出版会●定価2,625円●2001年4月刊

●ISBN978-4-13-083030-0



西洋絵画を楽しみたい人のための画期的な入門書。18世紀までの絵画をジャンル別に取り上げ、実践的に読み解くコツを伝授する。

♡そこに描かれているものことと理由が分かると、絵画鑑賞は退屈ではなくなる。新たな世界への入口。(J池袋・鈴木)

私は、あなたは、何を見ている?

現代美術キュレーターという仕事

難波祐子著

青弓社●定価2,100円●2012年1月刊

●ISBN978-4-7872-7316-1

「学芸員」から今日的な「キュレーター」へとどう変遷を追い、時代の新たな価値観を創造するキュレーターの魅力を明らかにする。

♡展覧会を企画、運営して作り上げるプロであるキュレーター。時代の新たな価値観を創造するその仕事の魅力を紹介。

(M&J札幌・柏木)



「学芸員」から「キュレーター」の時代へ

お客様に本との思い出を 作っていただくために

ジュンク堂 福岡店

金子純子 Junko Kaneko

日々、棚整理をしていると一冊一冊の本に思い出があることに驚きます。お客様に聞かれてどうしても見つけれなかった本。お客様に手渡した瞬間とても喜ばれた本。どのお店より売ってやる！と決意して頑張っている本。驚くほど売れた本。売れなかった本。悲喜交々色々な思い出があります。その中で一冊「日本美術の歴史」を今回ご紹介させていただきます。この本を手にする時は五年前入社時まで遡ります。

店長から手渡された真新しい緑色のエプロン。名札には芸術書担当金子の文字が躍ります。意気込んでスタートした私の書店員人生でしたが、そう順調に進むわけがありません。次から次に刊行される新刊、すでに棚にある大量の書籍。追いつかない知識。ままならない接客。自己嫌悪が日々襲ってきます。自己流の勉強法にも限界が見えてきたそんな時、見かねて手を差し伸べてくれたのが当時、店で一番怖いと思っていたある先輩でした。眉間に皺を寄せつつ家から一冊の本を持って来てくれました。それが『日本美術の歴史』でした。

表紙が白かったので汚したら怒られるに違いないと思い手袋をして読んだのを覚えています。とても読みやすく、初めて日本美術史というもの面白く思えました。翌朝、先輩にその事を伝えると今度は紙袋いっぱいの本を抱えてきてくれました。書籍のラインナップは岩佐又兵衛勝以、狩野山雪、伊藤若冲、長沢芦雪……全て奇想の画家たちを扱ったものでした。先輩の熱い奇想の講義から話は仕事の進め方、書店員



書店員のオススメ

日本美術の歴史

辻惟雄著

東京大学出版会 ● 定価 2,940 円

● 2005 年 10 月刊

● ISBN978-4-13-082086-8

日本美術史家、辻惟雄が縄文美術からマンガ・アニメまで日本美術史を大胆に論じています。日本美術を一から勉強する際に教科書としてそばに置いておきたい一冊。厚くて最後まで読むのは無理だ！という方はばっと開いたページの図版の説明をまず読んでみて下さい。それだけでも充分美術の世界に興味を持てる内容になっています。

のあり方まで進み、本当に多くの事を学ばせていただきました。この本を手にするとき当時の事を思い出して胸がきゅんとなります。

そうして再スタートを切った書店員人生も五年経ち、自分で購入した『日本美術の歴史』の背表紙は何度も手に取り若干黒ずみました。次は、お客様に本との思い出を作っていただくため、風合いの出始めた緑エプロンに袖を通し売場に急ぎ戻ることになります。

7 未来

future

長い歴史の中で、美術はいつもその姿を変えてきました。
いろいろな時代の、いろいろな場所に、いろいろなかたちで、
世界の中に美術は現れてきたのです。
最後の章となるこの章でご紹介する書籍たちのなかに、
これから先の世界、「未来」の世界における
美術のかたちのヒントを感じとって頂けたら、と思います。
人間の歴史がつづく限り、美術の世界も終わることはありません。
ここでご紹介する書籍たちは、
一体どんな「未来の芸術の姿」を、あなたに想像させるでしょうか。

こんにちは美術 (全3巻)

福永信 文・構成

岩崎書店●定価9,450円●2012年2月刊

●ISBN978-4-265-10597-7

子どもたちの見る力・感じる力を養う、絵画、写真、彫刻など、現代アートを楽しむ紹介。全ページ2度めぐるしかけて迫力満点!

㊦かんのん・てんてん・おしびん・だんがん・びじゅつかん・もうじかん・ほん・いっしゅん・えいえん (J池袋・松岡)



「子供」の図像学

エリカ・ラングミュア著 高橋裕子訳

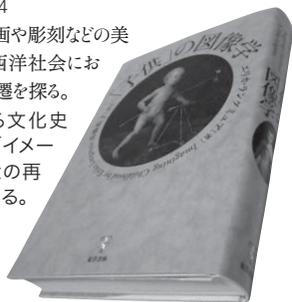
東洋書林●定価6,300円●2008年10月刊

●ISBN978-4-88721-745-4

「子供」とは何なのか? 絵画や彫刻などの美術作品の表現を通じて、西洋社会における「子供」という概念の変遷を探る。

㊦著者の志向は、単なる文化的な観点に留まらない。「イメージ」や「子供」という観念の再検討にまで踏み込んでいる。

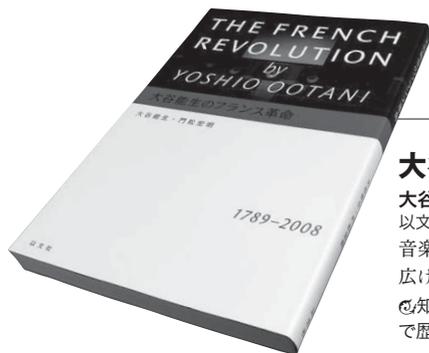
(J池袋・下田)



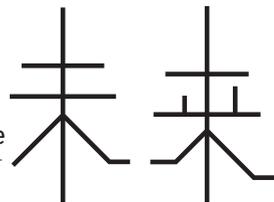
何を言いたいのか、早く捲り、察せ!

驚くべき、子どもたちの肖像の歴史

そこでしか得られぬ、にアタッチする



future



大谷能生のフランス革命

大谷能生・門松宏明共著

以文社●定価2,310円●2008年3月刊●ISBN978-4-7531-0258-7

音楽家で批評家の大谷能生が、現代の先端を駆け抜ける11組の表現者たちと繰り広げたイベント「フランス革命」の、完全ドキュメント。

㊦知覚が予感を呼び、大谷による時代のイベントは門松という視点を結びこぶで歴史となった。早く開け、そして奇跡の印を見よ! (J池袋・松岡)

フリーカルチャーをつくるためのガイドブック

ドミニク・チェン著

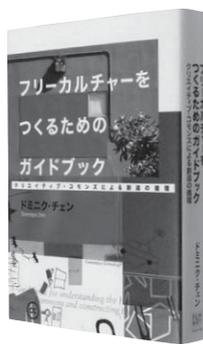
フィルムアート社●定価2,310円

●2012年5月刊

●ISBN978-4-8459-1174-5

〈継承〉と〈スペクトル〉による創造の共有こそが、新たな情報を切り開く。創造的活動における、自由な文化の本当の意義。

㊦インターネットの台頭は、人類の何度目かのパラダイムシフト。生まれ変わっていく世界の中で、文化は如何に「自由」に存在するのか。(J池袋・下田)



文化環境研究の最前線

アート・スピリット

ロバート・ヘンライ著 野中邦子訳 滝本誠解説

国書刊行会●定価2,625円●2011年8月刊

●ISBN978-4-336-05410-4

1923年初刊以来アメリカの若き芸術家のあいだで熱狂的に読み継がれてきた芸術指南書のロングセラーが、ついに邦訳。

㊦芸術家として生きる術をこの本が全部教えてくれる! 僕たちは僕たちの中にある才能を全部引っ張り出す!!!

(M&J梅田・都築)



さあ、少年よ、読みたまえ!

ピカソはぼくの親友なんだ

アントニー・ペンローズ著

六耀社●定価1,680円●2011年2月刊

●ISBN978-4-89737-668-4

本書は「小さな人たち」のためのピカソ入門であると同時に、トニー少年と大人のピカソが結んだ心温まる友情の物語である。

☞子どもの前では肩書きは意味をなしません。偉大な芸術家にとって、少年トニーも偉大な鑑賞者だったのかも。(J天満橋・木下)



ピカソが遊び相手って、いいな～!

右手と頭脳

キルヒナー 《兵士としての自画像》

ベーター・シュプリング著 前川久美子訳

三元社●定価2,940円●2010年10月刊

●ISBN978-4-88303-270-9

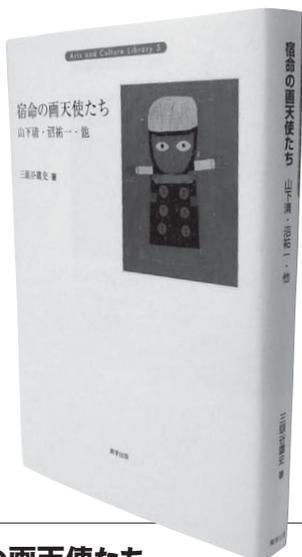
ドイツ表現主義の画家キルヒナーのあえて右手を切断した姿とした衝撃的自画像を芸術の想像力を手に託す伝統に鮮やかに接続する。

☞画家の死の陰には画家志望だったヒトラーの思念がある。掲げること人を追いやった芸術から、反対に学ぶ事はできないか。(J池袋・松岡)



皮肉は悲しみを生み、抵抗をも生む

永遠の遊びと建前が生んだ衝動



宿命の画天使たち 山下清・沼祐一・他

三頭谷鷹史著

美学出版●定価1,995円●2008年6月刊

●ISBN978-4-902078-12-1

知的障害児たちへの革新的な教育、美術界デビューが明らかに。国民的画家となった山下清を初めとする八幡学園の画天使たちに迫る。

☞障害児教育における創造力の育成、特に障害児達の「建前」と呼ばれた自治活動に心血を注いだ教育者たちの軌跡の物語。(J池袋・松岡)

アンリくん、パリへ行く

ソール・バス絵 松浦弥太郎訳

スペースシャワーネットワーク

●定価2,520円●2012年09月刊

●ISBN978-4-906700-46-2

伝説的グラフィック・デザイナー ソール・バスが遺した唯一の絵本が50年の歳月を経て本邦初訳。訳者は松浦弥太郎。☞パリの街も、アンリくんの町もとてもすてきな色合いで表現されています。結果はどうあれ、行動を起こすことが大切ですよ。(J天満橋・木下)



アンリくん、パリへ……?

シガリング・マイクの妄想レコードの世界

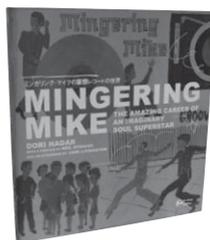
ドリ・ハダー著

スペースシャワーネットワーク●定価3,360円●2009年3月刊

●ISBN978-4-86200-332-0

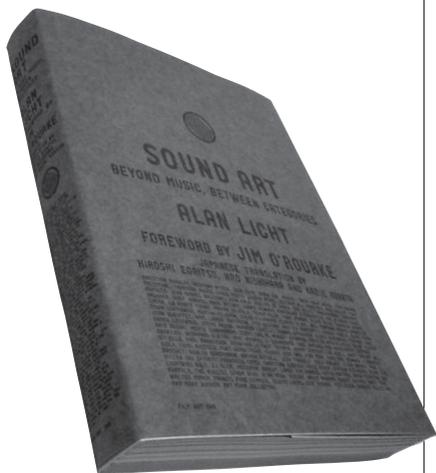
架空のレコードをリリースし続けたスーパースター。歌う代わりに描き続けたダンボールのLP ジャケットから音楽が聴こえてくる。

☞妄想は自由だ！一途な純粋さと情熱が、精いっぱい彼の中で形を造り出し、とうとう(段ボール製の)レコードを生み出した。このレコードを一目見れば、彼のまっすぐな心に胸を突かれる。(J渋谷・石田)



幻のソウルシンガー

「音」について考えてみる。



サウンドアート
音楽の向こう側、耳と目の間
アラン・リクト著 荻開津広・西原尚訳
木幡和枝監修

フィルムアート社●2,625円●2010年4月刊
●ISBN978-4-8459-0942-1
サウンドアートの歴史とその発展、新たな展望を示す、気鋭の音楽家アラン・リクトによる新しいサウンドアート研究の決定版。
◎音楽ではなく、「音」そのものに注目し、アートとして観賞するための様々な試み。「音」に溢れた日常に気付く。(J天満橋・照井)

プロ無職入門 高木壮太の活ける言葉

高木壮太著
スペースシャワーネットワーク●定価1,890円
●2012年03月刊

●ISBN978-4-906700-16-5
ミュージシャンにして、映像作家にしてプロ無職。今最も「けしからぬ者」高木壮太が贈るデビュー金言集。
◎兎に角タイトルのインパクトがすごい。中の文字数もすくなく多いヒマな時に最適!! 仕事が無い時とか……。
(J大阪・三浦)



なりたい・職業ナンバー1

JOHN LURIE

太田睦子・高城昭夫編
東京カレンダー●定価2,940円●2010年1月刊
●ISBN978-4-901976-78-7

ミュージシャン、俳優として80年代を駆け抜けた異才が難病と向き合うためすべてを捨てて選んだのが「絵を描くこと」だった。
◎独特の色彩と静かな雰囲気を持つ作品集。ページをめくると、少し落ち込むけれど、何度も見返したくなる力がある。
(J天満橋・照井)

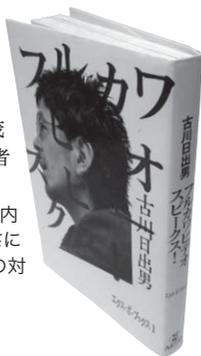


選んだのは描くこと。

フルカワビデオスピークス!

古川日出男著
アルテスパブリッシング
●定価1,995円●2009年11月刊
●ISBN978-4-903951-24-9

気鋭の作家・古川日出男(『聖家族』他)が大竹伸朗、後藤正文、茂木健一郎など異ジャンルの表現者11人と語り合う白熱の対談集。
◎古川さんに美術書をフェアで店内選書してもらったとき、決断の速さに驚愕しました。そのスピードはこの対談集からも随所に垣間見えます。
(J池袋・松岡)



直に見てはいけない太陽のような作家。

+/-

[the infinite between 0 and 1]

吉崎和彦・村田康祐・若林恵・近藤一弥編
東京カレンダー●定価3,360円●2009年4月刊
●ISBN978-4-901976-68-8

池田亮司の初の本格的個展として、2009年4月2日より東京都現代美術館にて開催された同名展覧会の【公式カタログ】
◎プラスとマイナスの音楽環境がもたらす、ブラックアウトとホワイトアウトの世界とは? 空間構成の参考書としても秀逸。
(J池袋・松岡)



プログラムとは作品にとってなにか?

トランスフォーメーション

中沢新一・長谷川祐子監修

東京カレンダー●定価2,625円●2010年10月刊

●ISBN978-4-901976-84-8



展覧会「トランスフォーメーション」公式カタログ。15カ国21組のアーティストが提示する「変身—変容」のイメージとは。

◎自分ではない何かになることへの憧れは尽きない。変化から与えられる逆説的なアイデンティティの確立。(J吉祥寺・大内)

人間が人間でなかった頃への憧憬

建築、アートがつくりだす新しい環境

妹島和世・西沢立衛・SANAA・長谷川祐子監修

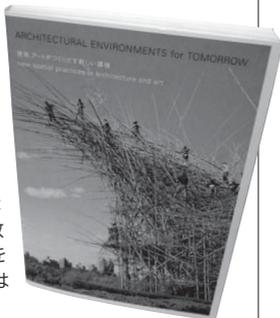
東京カレンダー●定価2,625円

●2011年11月刊

●ISBN978-4-905448-09-9

環境や人口問題など、私たちをとりまく状況の変化に対して、建築家はどのように応え、空間をつくるのか。実践・試みを紹介する。

◎機能的な建築物でありながら、まるでキノコの下を散歩しているかのような建物を撮ったヴェンダースの作品は必見！(J池袋・松岡)



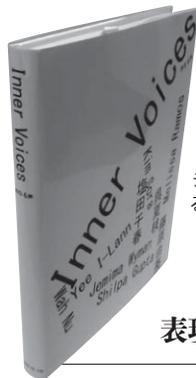
屋根の下に皆でいることの素晴らしさ

Inner Voices 内なる声

黒澤浩美・村田大輔・高城昭夫・友永文博・明石康正編

東京カレンダー●定価2,100円●2011年7月刊

●ISBN978-4-905448-01-3



2011年開催の「Inner Voices」展公式図録。独自の表現力で世界的にも注目を集める女性作家たちの合同作品集。

◎女性美術家は女性たりえるのか。性別を超えることに固執した過去の女性作家たちへの慰めともなる一冊。(J吉祥寺・大内)

表現をジェンダーから考える

メディア芸術アーカイブス
15years of media arts

古屋藏人・庄野祐輔・塚田有那編

ピー・エヌ・エヌ新社●定価3,150円●2012年2月刊

●ISBN978-4-86100-817-7

本書は、メディア芸術を巡り、メディア芸術が得た成果を総覧している。テクノロジー、社会、アートの関係を再検証し、15年を振り返る。

◎15年をしっかりと眺める事が出来る1冊。触れてこなかった、触れられなかったモノがあれば、ここから今すぐ戻れるよ。(M&J梅田・都築)



この15年を生きた自分たちラッキー!!

ヴァーチャル・ウィンドウ

アルベルティからマイクロソフトまで

アン・フリードバーグ著 井原慶一郎・宗洋訳

産業図書●定価3,990円●2012年7月刊

●ISBN978-4-7828-0173-4

ルネサンス期のアルベルティの遠近法から現代のコンピュータ・スクリーンまで、視覚とフレームの関係を縦横無尽に論じる。

◎単一性/複数性。連続性/同時性。世界認識の方法としての「ウィンドウ」の変遷を炙り出す本書は、あなたの認知感覚にも衝撃を与えることだろう。

(J池袋・下田)



「ウィンドウ」たちが、ポップアップする

現代日本画の発想

内田あぐり・重政啓治監修
武蔵野美術大学出版局

●定価3,990円●2004年4月刊行

●ISBN978-4-901631-58-7

現代美術の隆盛の時代において現代日本画の世界はひときわ光り輝いている。会田誠や岡村桂三郎など現在活躍する作家を紹介。

☞ミクストメディアの表現を辿り、スーパーフラットを経たのはなぜか？ 日本画技法の側面より、しかと読み解いてほしい(J池袋・松岡)



アイ・ウェイウェイ

森美術館監修

淡交社●定価2,800円●2009年8月刊

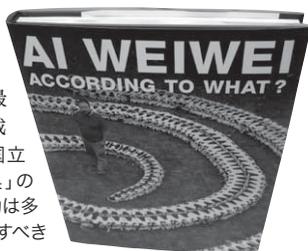
●ISBN978-4-473-03594-3

北京五輪スタジアム

「鳥の巣」の共同設計で注目をあびた中国人アーティストの全貌と最新作30点の作品を掲載

☞北京オリンピック国立競技場、通称「鳥の巣」の設計に携わるなど活動は多岐に渡る。今最も注目すべきアーティストの作品集。

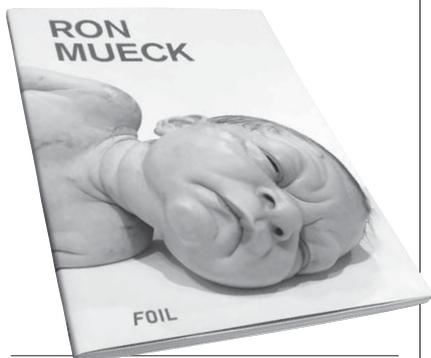
(M&J札幌・柏木)



しかるべくして日本画はそうなったか

現代中国を代表するアーティスト

リ
ア
ル
さ
と
非
現
実
さ



ロン・ミュエック作品集

フォイル●定価1890円●2008年4月刊

●ISBN978-4902943-31-3

世界的に注目される彫刻家、ロン・ミュエックの極限までリアルに再現された作品や制作風景写真、インタビューを収めた決定版。

☞第一印象のリアルさと、その後くる大きさの驚き。この大きさとここまでリアルな作品を作る技術の高さに目をみはる(M日本橋・石田)

空間演出家 池貝知子の仕事と意見

池貝知子著 倉持裕一編

東京カレンダー●定価1,575円●2011年12月刊

●ISBN978-4-905448-11-2

「代官山T-SITE」をディレクションした池貝知子が手掛けた代表的な空間造形事例に迫る至極の建築ガイド。

☞空間をデザインし演出することが、21世紀を生きるわれわれのコミュニケーションのための最重要課題であろう。(J池袋・鎌田)



コミュニケーションのための1冊

現代彫刻論 物質文明との対峙

中原佑介著

現代企画室●定価2,625円●2012年4月刊

●ISBN978-4-7738-1211-4

中原佑介美術批評選集第6巻。世界における「彫刻」の歴史を「物質」の観点から捉え直した名著「現代彫刻」他所収。

☞彫刻が「そのままなぞる」のではなく「置き換える」ことに重点を置いている事を、切ないほどに何度も訴えかけてくる1冊。

(J池袋・松岡)



不在と存在とを媒介する彫刻とは

デザインの裏側を読む



タイポさんぽ

藤本健太郎著

誠文堂新光社 ●定価1,050円 ●2012年8月刊

●ISBN978-4-416-21284-4

市井の人々が、レタリングや手描きによって生活のなかで生み出してきた力強く輝く文字。その豊かな可能性を現代へ橋渡しする。

◎タイポグラフィの中にある「おもしろさ」や「意味」を考察し、時代性だけではないデザインの流れを考える。(J盛岡・中川)

デザイン学

思索のコンステレーション

向井周太郎著

武蔵野美術大学出版局

●定価3,150円 ●2009年9月刊

●ISBN978-4-901631-90-7

デザインに関する重要なことばを星座のように散りばめ、そのことばとの出会いや意味世界を探る。デザイン哲学の集大成。

◎散らばったアルファベットたちから、思想が溢れ出す。デザインを巡る思索たちが、体系から解き放たれ、縦横無尽に接続されていく快感。(J池袋・下田)

めくるめく、デザイン思想の星座巡り。



女の子のための現代アート入門

長谷川祐子著

淡交社 ●定価2,100円 ●2010年2月刊

●ISBN978-4-473-03644-5

MOT (東京都現代美術館)コレクションを中心に約60点取り上げ国際派キュレーターが「顔」「物語」「宇宙」等の切り口で語る入門書。



◎作品の背景や物語をわかりやすく語るにより、内面を磨きたい女性(または男性)を美しい作品世界へ導いて心豊かにしてくれる。ゆったりと読める本。ピンクの表紙もかわいい。(J渋谷・石田)

心に咲かせようお花畑

ジョナス・メカス ノート、対話、映画

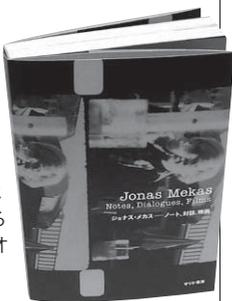
ジョナス・メカス著 木下哲夫訳 森岡次郎編

せりか書房 ●定価4,935円 ●2012年11月刊

●ISBN978-4-7967-0318-5

1960年代のニューヨークを拠点に様々な映像を撮り続けたインデペンデント・ムービーの創始者、詩人、批評家メカスの原点を示す

◎『リトアニアへの旅の追憶』があまりに有名でそれ以外の作品の印象が薄いですがまだまだメカスは楽しみながら最先端にいると、ホセ・ルイス・ゲリンとのビデオ往復書簡を観て思いました。(J大阪・三浦)



ヤン・シュヴァンクマイエル 創作術

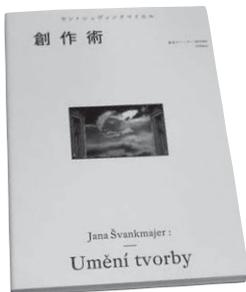
高城昭夫・友永文博・明石康正編

東京カレンダー ●定価2,100円 ●2011年7月刊

●ISBN978-4-901976-98-5

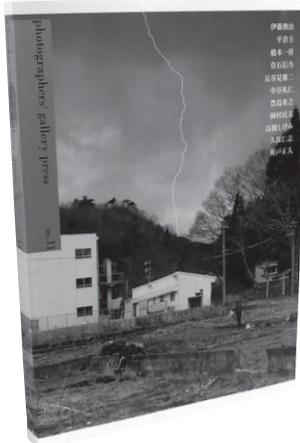
映画「サヴァイヴィングライフ」制作時の資料に、意図や技法の解説を施し、シュヴァンクマイエルの映像表現を徹底解剖した一冊。

◎映画「サヴァイヴィングライフ? 夢は第二の人生?」公式読本。チェコ・アニメーションの巨匠の映画作りに迫る。(M&J札幌・柏木)



90歳越えてもまだまだ最先端

映画の錬金術師、その創作の秘密



photographers' gallery press no.11

伊藤俊治・平倉圭・橋本一径・倉石信乃・長谷見雄二・中谷礼二・豊島重之・岡村民夫・高橋しげみ・久保仁志・瀬戸正人著

photographers' gallery●定価2,940円●2012年11月刊

●ISBN978-4-906839-16-2

関東大震災直後の鉄道、土砂災害、近代最大級のトンネル工事を記録した3つの写真帖を約200頁収録。災害表象をめぐる論考も掲載!

☞震災後、とにもかかわらずに進まなくてはならないという風潮に悪い意味でも侵されてしまった日本人へ、今読むべき1冊(J池袋・松岡)

過去だけでなく、これからを思い出すために

photographers' gallery press no.8

田本研造・大下智一・倉石信乃・土屋誠一・谷口雅春・田中里実・三井圭司・港千尋・足田豊治・クリストファー・フィリップス・甲斐義明・橋本一径著

photographers' gallery●定価3,990円

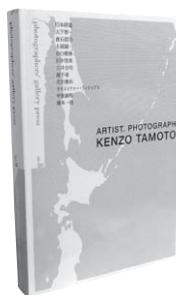
●2009年4月刊

●ISBN978-4-903295-72-5

北海道写真の先駆者、巨人・田本研造の全貌に迫る。開拓写真史、写真496点一挙掲載!日本写真史を更新する決定保存版。

☞写真の大きさ、レイアウトの美しさに脱帽!図書館蔵の貴重な写真が今日の前に!(J池袋・松岡)

数千点の写真を残すという事



photographers' gallery press no.9

マイケル・フリード・甲斐義明・林道郎・倉石信乃・北島敬三・前田恭二・前川修・エリック・ケッセルス・飯沢耕太郎・橋本一径・小原真史著

photographers' gallery●定価2,520円●2010年5月刊

●ISBN978-4-903295-73-2

美術批評家マイケル・フリードの

ロングインタビュー 42頁!

現代写真をめぐる言葉の数々、そしてなぜ、今、写真なのか?

☞ミニマルアート批判に使われた「演劇性」というキーワードで写真を論じた、美術と写真両界必読の評論。(J吉祥寺・大内)



世界が注視する評論家のインタビュー

ビデオ 再帰的メディアの美学

イヴォンヌ・シュピールマン著

海老根剛監修 柳橋大輔・遠藤浩介訳

三元社●定価6,300円●2011年11月刊

●ISBN978-4-88303-299-0

映画映像やコンピュータグラフィックスとも異なる構造とダイナミズムを持つビデオ映像の宇宙とそのポテンシャルを解明する。

☞ただのメディアではない。使い道はいくらでもある。現代美術を見てもうさうだろ? これからのツールを正しく理解するために。(M&J梅田・都築)

このツール、みんなどう思ってる?



イメージの修辞学 ことばと形象の交叉

西村清和著

三元社●定価5,775円●2009年11月刊

●ISBN978-4-88303-254-9

詩は語る絵、絵は沈黙せる詩か? ことばと形象の交叉がもたらす経験とその歴史の変遷を、多くの実例をひきながら問ひ直す。

☞私たちの世界認識の大きな割合を占める、言語と画像/映像の把握。それらの関連性を、具体的実例のもとに精緻に検証。

(J池袋・下田)

言語⇔イメージのシステム構造



パステルカラーの向こうに明日が見える



PLAY

菊地敦己著

誠文堂新光社●定価3,150円●2009年5月刊

●ISBN 978-4-416-60900-2

菊地敦己の十年間におよぶグラフィックデザイン作品から代表的な仕事を網羅。ブルーマーク設立以前の初期の仕事から最新作まで。

◎デザイナー菊地敦己の約十年間の代表的な仕事を網羅した作品集。巻末には二万字ロングインタビューを掲載。(J秋田・新野)

残存するイメージ アビ・ヴァールブルクによる 美術史と幽霊たちの時間

ジョルジュ・ディディ・ユベルマン著

竹内孝宏・水野千依訳

人文書院●定価10,290円

●2005年12月刊

●ISBN978-4-409-10020-2

多様な思想家との対比を通して、ヴァールブルクが、新しい歴史学が浮彫にされる人文諸学の基本文献。解説は田中純。

◎「持続的な時間性」という認識を突き崩す、「幽霊」のようなイメージたち。とうとう「悪魔祓い」されていた筈の歴史認識モデルが、刺激的に再検討される。(J池袋・下田)



「懐古」からの解放

映画を見に行く普通の男 映画の夜と戦争

ジャン・ルイ・シェフェール著 丹生谷貴志訳

現代思潮新社●定価3,990円●2012年6月刊

●ISBN978-4-329-01020-9

ある「特性のない男」がスクリーンのこちら側で語る、世界と光、経験とイメージと記憶、時間と身体をめぐる驚くべき証言！
◎目次を開くと目に飛び込んでくる「屍衣一聖骸布」「腸詰め」「悪魔の書」などのおどろおどろしい文字の乱舞に興味を持たれた方には必見必読の書です。(J大阪・三浦)



全然『普通の男』ではありません！

シュルレアリスムと絵画

アンドレ・ブルトン著 瀧口修造・巖谷國士監修

人文書院●定価10,500円●1997年5月刊

●ISBN978-4-409-10004-2

シュルレアリスムと芸術との関係についてはじめて問題提起した、二十世紀のもっとも美しい芸術批評の一書。

◎シュルレアリスム作家ごとに項を読み解いていくのが何とも面白い。理性的な認知を糾弾したブルトンの熱量が伝わってくる。(J池袋・松岡)



現場と肉体が与えるもの全てから

現代アートの哲学

西村清和著

産業図書●定価2,940円

●1995年10月刊

●ISBN978-4-7828-0202-1

アートのみならず大衆消費社会の多様な美的文化を哲学として論じるためのパラダイムを構築。アートを哲学の視点から捉え直す。

◎デュシャンの源流とウォーホルの精神が奏でる現代アートの側面とは？教科書的な側面もあり読み易い1冊。(J池袋・松岡)



大文字、小文字が混在の美術市場で



美術書をめぐる わくわく、 今、未来

谷合正城 [美術書出版会会長] ×

板橋晶子 [丸善書店丸の内本店] ×

下田裕之 [ジュンク堂書店池袋本店]

書店員は何を考え、どう美術書を買っているのか。

出版社はどのような思いで美術書を出しているのか。

そして今、美術書を書店で売る意味とは――

ジュンク堂池袋本店と丸善丸の内本店の美術書担当者が、

美術書出版会会長の谷合さんを迎えて語り合いました。

ポップスターが存在感を発揮

谷合◎最近の美術書の傾向はどうか？

下田◎『アート・スピリット』（国書刊行会）や『アーティストのためのハンドブック』（フィルムアート社）など、何十年も前に海外で刊行された芸術論的な本の邦訳が非常によく売れているのが印象的です。他にも『美術の物語』（ファイドン）のポケット版だとか。買ってくださるのがけっこう若い方だったりするんですね。まだ体系だった知識に対するニーズもきちんとあるんだなと感じました。

板橋◎『アート・スピリット』は、丸善丸の内本店でもよく売れました。最初は、美術系の学校に通っているような若者向けの書籍かなと思いましたが、当店でも購買層が広く、教科書的な読まれ方だけではなく、幅広い読者層に訴える良書だったと思います。

下田◎一方で、読みやすくてトリビア的なニュアンスで知識や物語を紹介する本も売れています。『名画の謎』（文藝春秋）の中野京子さんの著作だったり。アカデミックな感触とはまた少し違う視点から、こんな面白い見方もあるよと提案するような読み物も増えてきました。

板橋◎それと日本美術の読み物ですが、山口晃さんの『ヘンな日本美術史』（祥伝社）も売れていますね。

下田◎山口晃さんだったり会田誠さんだったり、現代美術の世界でポップスター的な存在になっている方々の著書は、画集も読み物もやはり非常に反応がよいです。

谷合◎他のジャンルはどうか？

下田◎写真では、『未来ちゃん』（ナナロク社）や『みさおとふくまる』（リトルモア）がヒット作になっていきますね。一見かわいらしくてとっつきやすいけれども、実は緻密に構築されている作家性の高い作品たちです。ただ、良くも悪くも、写真史の体系や文脈への関心やニーズはかなり減ってきている印象が個人的にはあります。

板橋◎確かに、丸の内店も可愛い動物写真や、綺麗な風景写真などのプレゼント向けの写真集の方がよく売れます。

下田◎逆にいうと、店頭で手にとって面白いものであれば、先入観なくどんなものでも人気が出る可能性があるということでもあるのかな、とも思います。

谷合◎若手作家の写真集はどうか？

下田◎出版点数自体があまり多くない印象があります。これも一長一短ですが、90年代頃までの様に、ポップカルチャーやサブカルチャーの中で若手写真家がアイコン化するような流れが減ってきていることが、その要因の一つであるような気がします。

谷合◎確かに大手出版社は出さない。リバイバル系が多いのかな。

下田◎そうですね。大御所のベスト盤が繰り返し出ているような状況が続いています。

板橋◎土門拳さんや、植田正治さんといった方の新刊は、やはり売れていますよね。回転も良いです。丸の内店も若手の写真家の写真集が、最近あまり動かないのですが、だからといって棚差しを極端に少なくしてしまっただけは、お客様がつか



なくて、新刊が本当に売れなくなる。棚作りは難しいなと感じています。

下田◎批評や雑誌のバックアップが少なくなってきた状況も関係しているのではないのでしょうか。

何これ!面白い!

板橋◎新聞雑誌の書評を含めても、今一番影響があるのは「日曜美術館」だと思います。以前は、その都度、関連書籍を置いていたんですが、売り場に「日曜美術館」の特集コーナーを作ってから動きもよく、以前よりお客様に認知されていると思います。

谷合◎どういう選書をしていますか?

板橋◎「日曜美術館」を見て、興味を持って本を見にくるお客様というのは、たいていはそこで初めて知ったとか、名前は知っていたけど今まで知らなかった方なので、メインで置くのは、「すぐわかるシリーズ」(東京美術)や「別冊太陽」(平凡社)のような入門書になります。それだけでいいのか、というのはこれからの課題ですね。

谷合◎「日曜美術館」の視聴者って、その画家が好きで、あの人の特集だから見ようっていう人が大半だと思っていたんです。もちろんそういう人も多い。ただ、あの時間帯ってあんまり美術に興味のない人もたまたま見ることが多いです。そういう人からすると、あれは画家というひとりの人間に対してのドキュメンタリー番組なんです。人間の生きざまに感動する。その作品に今まで興味なかった人が、その人物に惚れて画集を買ったり、評伝を買ったりという動きがあるん

です。だから美術番組でありながら、人間の魂の部分照射して、その人物に対して接してみたいという読者の欲求が本を買うという行為につながっているんですね。

下田◎そうですね。作家のパーソナリティの面白さを楽しめる書籍を上手くお客様にご提案するのも、重要な部分だと思っています。会田誠さんや山口晃さんのように、ポップスター化している美術家は、さまざまなメディアから情報が伝わってきます。ただ、現役じゃない美術家の中にも、人間として非常にユニークだったり、そのキャリアそのものを物語のように楽しめる作家はたくさんいると思うんです。体系や知識へのニーズが全体としては薄れてきている中で、そういう美術家もいたんだと知るきっかけも減ってきていると思うんですね。テレビメディアは、それを知る良いきっかけの一つだと思います。

谷合◎美術作品集はどうですか?

下田◎写真集と比べると、比較的若手の現代美術系作家の作品集もある程度きちんと動いている印象があります。

板橋◎そうですね。あとは写真系のブームはしばらくあって、求龍堂さんから出た、諏訪敦さんと島村信之さん、森本草介さんの作品集は売れましたね。

下田◎例えば、諏訪敦さんの作品集を店頭で購入された方は、諏訪さんのこれまでのキャリアを知らなかった方も多いと思うんですよ。リアリズム的なものが持っている美術史的な文脈上の意味を把握して購入するというより、何これ!面白



その人物に惚れて、接したいという読者の欲求が
本を買うという行為につながっている——谷合

い!っていう直感的な惹かれ方で買っていく。

板橋◎出版社側から見て、本当はこんなふうには展開してもらいたいというのはあるんですか?

谷合◎いや、それは書店員さんの考える文脈によるので。ただ少なくとも自社本が集中しない方がむしろ私はいいなと思っているんですよ。

板橋◎競合する本と一緒にあった方がいいということですか?

谷合◎賑やかにになりますからね(笑)。レストランのウィンドディスプレイを見ながら、今日は何を食べようかなってワクワクする感じがいいんですよ。

下田◎なるほど。

谷合◎だから売り場面積のご事情は十分わかりませんが、基本的に僕は美術書は面出ししかないと考えています。背表紙では勝負できないんですよ。絵が見せられないんで。

下田◎それを聞くと、どんな仕器を使うか、どんな見せ方をするか、というのはやはり丁寧に考えるべき作業だな、と改めて感じますね。

板橋◎下田さんの話を聞いていて、圧倒的に違うなと思ったのは、下田さんは棚差しをどうやって売っていかをまず考えてから面陳に行くことです。私はまず面陳を考えてから、これが売れて、棚差しがいっしょに売れていけばいいと考える。なんだか考え方が逆みたいいな感じで棚を作って

いる感じがしますね。

下田◎最新の状況の提案・フォローに特化していくか、幅広い年代の情報レファレンスとしての機能をあげていくか、という違いかもしれませんね。差し在庫をたくさん持っている、やはり面で派手に見せる展開が多少しづらいのですが、ジュンク堂に行けば希少本でも見つかる、と認知していただいている部分を延ばしていきたいので、できる限り店頭で数を見られる状態にしておきたいというのはありますね。美術書は、即数字に結びつけるだけでなく、ロングランできちんと売っていくこともとても重要だと思いますし。

人生を豊かにしたいという切実さ

谷合◎書店から見て、売りづらいとされる美術書ですが、今後、どういうものを積極的に売っていきたいですか?

下田◎文化的な価値としての側面だけでなく、美術書を買う、ということの快樂や快感を味わえるような書籍をお客様にご紹介したいですし、自分でもそれをもっと体験したいですね。美術書の



人生を豊かにしたいという切実さで、
美術書を求めている人たちがいるから、
私はその気持ちに応えられるような棚作りをしたい——板橋



文化的な価値だけでなく、美術書を買う、 ということの快樂や快感を 味わえるような書籍を紹介したい——下田

ようにモノとして存在感のあるアイテムを、お金を出して家まで持ち帰って、触感や重量まで含めて味わう快樂や快感というのは、データやネット販売では置き換えがきかないものだと思うので。

谷合◎いつの間にか、書籍というのは媒体という役割を終えて、“モノ”になってきているという感じはしますね。前の時代は情報を売っていたと思うんだけど。

下田◎それを考えたら、快樂みたいなものをすく上げていくっていう発想をポジティブに取り入れていくことが、撤退戦ではない形で積極的に書籍、特に美術書を販売していく可能性としてあるんじゃないかな、と思っています。

板橋◎あとは出版社さんがどういふ本を作るかにかかっていると思います。そういう良書を見つけておすすめできるようにするという書店側の努力も必要です。書店と出版社さんの連携が今までより重要になってくるのかな。

下田◎そうですね。書店は八百屋さんやCDショップと同じように、「この品物はいいですよ」と紹介・販売するのが仕事です。生産者ではなく小売業なので、実際にどういふ野菜やCDが生み出されてくるかということそのものについては、いかんともしがたい。そのあたり美術書を作られている出版社は、どういふ方向に舵を切ろうとされているのでしょうか？

谷合◎私が代表して言う内容ではないんですけど、私の気持ちの中では玩具を作っているニュアンスを強めたいです。なぜかというと、書籍全体のカテゴリーの中で、美術というのは、人間が

最低限営まないといけない衣食住とは違う部分にある。これがないと生きていけないわけではない。でも玩具というのは、プリミティブな興奮を生活に与えてくれるものなので、そういう直接的な刺激を美術書に求めています。

板橋◎美術書は確かに、生活に必要なといえれば必要ないですね。それでも、人生を豊かにしたいという切実さで、美術書を求めている人たちがいるから、私はその気持ちに答えられるような棚作りをしたいと思っています。

下田◎確かに、それぞれ切実な気持ちで買っていると思うんですね。自分のライフスタイルそのものに直結しているというか。そういうものに囲まれて生きるのが好きだから買わざるを得ない。だからこそ、切実に買いたいと思うものじゃないと、美術書の通常の価格設定では買う気にならないかもしれない。

板橋◎私は、本がすごくよく作られていれば、今より高くなっても売れるんじゃないかなと思うんですね。ほしい人は本当に買う。

下田◎本を買う理由がどこにあるのか、っていうことですね。いろんな出版社さんに、美術書はゆくゆくどういふものになっていくと考えていらっしゃるのか聞いてみたいところはありますよね。

先ほども申し上げましたが、我々書店員はいかに良い裏方になれるかを益々問われている気がします。いかに小売の現場の環境設計をきっちりとやることができるか、お客様と書籍との出会いをどれだけバックアップすることができるか。書店員の自己満足的な自己実現なんかじゃなく、お客様



と書籍のための環境づくり、場づくりに丁寧に取り組んでいく意欲が必要だと感じています。

谷合◎おっしゃっているように、あくまでも書籍とお客様が主役。なぜその店に足繁く通うかという、料理がうまいから。それはその主役の料理と客を、引き合わせてくれるからということ。だからご主人なり女将さんである書店員さんに期待したい。

板橋◎美術書は売りづらいといわれますが、私は新刊を見るのがすごく楽しみだし、他のジャンル担当者からもうらやましがられたりする。判型がいろいろだから、それを組み合わせてぴったりハマったときがうれしい（笑）。

谷合◎なるほど。仕事として面白いということですよ。

板橋◎ふふふ。そうですね。

下田◎楽しみながら棚作りをして、そしてその結果としての場、つまり書店そのものをお客様に楽しんでいただきたい、というのは書店員共通の気持ちではないでしょうか。今後も美術書を取りまく状況は更に変化していくと思いますが、中身も外見も魅力あるアイテムとしての美術書を、皆さんと協力し合いながらどんどんと提案していきたいな、と感じています。

（ジュンク堂書店池袋本店にて収録）



全国書店お問い合わせ先一覧

【ジュンク堂書店】

旭川店	☎0166-26-1120
弘前中三店	☎0172-34-3131
秋田店	☎018-884-1370
盛岡店	☎019-601-6161
仙台TR店	☎022-265-5656
仙台北口店	☎022-726-5660
仙台本店	☎022-716-4511
郡山店	☎024-927-0440
高崎店	☎027-330-6611
COMICS JUNKUDO 津田沼店(コミック専門店)	☎047-403-1911
プレスセンター店	☎03-3502-2600
池袋本店	☎03-5956-6111
吉祥寺店	☎0422-28-5333
藤沢店	☎0466-52-1211
新潟店	☎025-374-4411
岡島甲府店	☎055-231-0606
名古屋店	☎052-589-6321
ロフト名古屋店	☎052-249-5592
京都店	☎075-252-0101
京都朝日会館店	☎075-253-6460
大阪本店	☎06-4799-1090
梅田ヒルトンプラザ店	☎06-6343-8444
上本町店	☎06-6771-1005
難波店	☎06-4396-4771
COMICS JUNKUDO 難波店(コミック専門店)	☎06-4396-8060
千日前店	☎06-6635-5330
天満橋店	☎06-6920-3730
西宮店	☎0798-68-6300
芦屋店	☎0797-31-7440
神戸住吉店	☎078-854-5551
三宮店	☎078-392-1001
三宮駅前店	☎078-252-0777
三宮駅前店漫画館	☎078-262-6767
舞子店	☎078-787-1250
明石店	☎078-913-8201
姫路店	☎079-221-8280
岡山店	☎086-236-1877
広島駅前店	☎082-568-3000
松山店	☎089-915-0075
福岡店	☎092-738-3322
大分店	☎097-536-8181
鹿児島店	☎099-216-8838
那覇店	☎098-860-7175

台北天母店	☎02-2833-0930
台北忠孝店	☎02-2731-5930
日本からは	☎010-886-2-2731-5932
	(日本語専用回線)
パリ・ジュンク堂書店	☎01 42 60 89 12

【丸善書店】

札幌北一条店	☎011-232-0222
仙台アエル店	☎022-264-0151
水戸京成店	☎029-302-5071
そごう川口店	☎048-259-5258
津田沼店	☎047-470-8311
舞浜イクスピアリ店	☎047-305-5808
丸の内本店	☎03-5288-8881
日本橋店	☎03-6214-2001
お茶の水店	☎03-3295-5581(書籍売場)
	☎03-3295-5528(文具売場)
アークヒルズ店	☎03-3589-1772
メトロ・エム後楽園店	☎03-5684-5130
有明ワンザ店	☎03-5530-5701
多摩センター店	☎042-355-3220
ラゾーナ川崎店	☎044-520-1869
横浜ポルタ店	☎045-453-6811
松本店	☎0263-31-8171
名古屋栄店	☎052-261-2251
名古屋セントラルパーク店	☎052-971-1231
名古屋松坂屋店	☎052-264-2730
四日市店	☎059-359-2340
関西国際空港店	☎072-456-6486
八尾アリオ店	☎072-990-0291
岡山シンフォニービル店	☎086-233-4640
広島店	☎082-504-6210
博多店	☎092-413-5401
天文館店	☎099-239-1221

【MARUZEN&ジュンク堂書店】

札幌店	☎011-223-1911
渋谷店	☎03-5456-2111
新静岡店	☎054-275-2777
梅田店	☎06-6292-7383



協力出版社一覧

美術書出版会 会員社

芸艸堂	淡交社
求龍堂	中央公論美術出版
クレオ	東京美術
芸術新聞社	西村書店
秀作社出版	武蔵野美術大学出版局
青幻舎	六耀社

アспект	せりか書房
アルテス/パブリッシング	創元社
以文社	大学教育出版
岩崎書店	中央公論新社
NTT出版	東京カレンダー
太田出版	東京大学出版会
偕成社	東信堂
河出書房新社	東洋書林
グラフィック社	徳間書店
勁草書房	二玄社
現代企画室	日本文教出版
現代思潮新社	バイインターナショナル
晃洋書房	羽鳥書店
国書刊行会	美学出版
作品社	美術年鑑社
産業図書	ビー・エヌ・エヌ新社
三元社	ファイン
視覚デザイン研究所	フィルムアート社
集英社	フォイル
彰国社	フォトグラフィーズギャラリー
晶文社	文遊社
新紀元社	平凡社
新書館	勉誠出版
人文書院	法政大学出版局
新曜社	ミシマ社
水声社	みすず書房
スペースシャワーネットワーク	未来社
生活の友社	メディア総合研究所
青弓社	リトルモア
誠文堂新光社	論創社
世界思想社	

ジュンク堂×丸善 美術書カタログ 2013 defrag (デフラグ)

2013年4月1日発行

発行	株式会社ジュンク堂書店 丸善書店株式会社
協力	美術書出版会

お問い合わせ ジュンク堂書店池袋本店
〒171-0022
東京都豊島区南池袋 2-15-5
☎03-5956-6111

デザイン MIKAN-DESIGN
印刷製本 シナノ印刷株式会社

丸善&ジュンク堂書店公式サイト ネットストア HON
www.junkudo.co.jp/

© ジュンク堂書店・丸善書店 2013
本誌の内容を無断で複製・転載することは
著作権法上の例外を除き、禁じられています。

